

# Printia

# ≡LASER

FUJITSU PERSONAL COMPUTER PRINTER

**XL-2200**

ページプリンタ

ネットワークガイド

FUJITSU

# はじめに

このたびは、弊社のページプリンタXL-2200をお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。

本書は、本プリンタをネットワークプリンタとして使用する場合の設定や操作方法について説明しています。また、『XL-2200取扱説明書』「第3章 外部との接続 ネットワーク経由で接続する」には、ネットワークにつなげる前の注意事項が説明されています。これらをよくお読みになり、オプションのプリンタLANカードを取り付けたうえで、本プリンタをご利用ください。

なお、本プリンタの取り扱いについては、『XL-2200取扱説明書』「製品を安全に使用していただくために」をかならずお読みください。

2003年6月

## 本文中の略語について

Microsoft® Windows® 95 operating system/Microsoft® Windows® 98 operating systemは、本文中ではWindows 95/Windows 98と表記しています。Microsoft® Windows® Millennium Editionは、本文中ではWindows Meと表記しています。

Microsoft® Windows NT® Workstation operating system Version 4.0およびMicrosoft® Windows NT® Server operating system Version 4.0は、本文中ではWindows NT4.0と表記しています。

Microsoft® Windows® 2000 ProfessionalおよびMicrosoft® Windows® 2000 Serverは、本文中ではWindows 2000と表記しています。

Microsoft® Windows® XP ProfessionalおよびMicrosoft® Windows® XP Home Editionは、本文中ではWindows XPと表記しています。

Windowsに関する表記は、次のように略記しています。

「Windows 95、Windows 98およびWindows Me」は「Windows 95/98/Me」 / 「Windows 98およびWindows Me」は「Windows 98/Me」 / 「Windows 2000およびWindows Me」は「Windows 2000/Me」 / 「Windows 95、Windows 98およびWindows Me」は「Windows 95/98/Me」 / 「Windows 98、Windows MeおよびWindows 2000」は「Windows 98/Me/2000」 / 「Windows 2000およびWindows NT4.0」は「Windows 2000/NT4.0」 / 「Windows 2000およびWindows XP」は「Windows 2000/XP」 / 「Windows NT4.0、Windows 2000およびWindows XP」は「Windows NT4.0/2000/XP」 / 「Windows Me、Windows 2000およびWindows XP」は「Windows Me/2000/XP」 / 「Windows 95、Windows 98、Windows Me、Windows 2000およびWindows NT4.0」は「Windows 95/98/Me/2000/NT4.0」 / 「Windows 95、Windows 98、Windows Me、Windows NT4.0、Windows 2000およびWindows XP」は「Windows 95/98/Me/NT4.0/2000/XP」

# 本書の構成

本書は、取扱説明書にしたがってプリンタを使用可能な状態にし、オプション品のプリンタLANカードを取り付けた後、ネットワークプリンタとして使用する場合の設定や機能を説明しています。

本書には、次の内容が記載されています。

目 次	内 容
第1章 ネットワークプリンタの設定	プリンタをネットワークプリンタとして設定するために管理者が行う操作について説明します。
第2章 プリンタドライバ（ローカル接続）のインストール	パソコンとのローカル接続でプリンタドライバをインストールする手順について説明します。
第3章 ネットワークソフトウェアの使用	ネットワークソフトウェアのインストール方法や使用方法について説明します。
第4章 プリンタ共有の設定	プリンタをサーバ上で共有し、他のパソコンから印刷するために必要な設定について説明します。
第5章 インターネット印刷の設定	IPPを使ってインターネット印刷するための設定について説明します。
第6章 Printia LASER Internet Service	Printia LASER Internet Serviceの使用環境や利用方法について説明します。
第7章 ネットワーク利用時のトラブル対処方法	本プリンタをネットワークプリンタとして使用している時に発生するトラブルとその対処方法を説明しています。

# 本書の表記

本書では、説明する内容により、以下の用語を使用しています。



本プリンタを正しく使っていただくための依頼事項を説明しています。

操作する前に必ずお読みください。



本プリンタを使う際に参考にしていただきたい内容を説明しています。

必要に応じてお読みください。



参照するマニュアルの種類と参照先を記載しています。



本プリンタ添付のCD-ROMに収められているネットワークガイド内の参照先を示します。

# ネットワーク接続の設定手順の概要

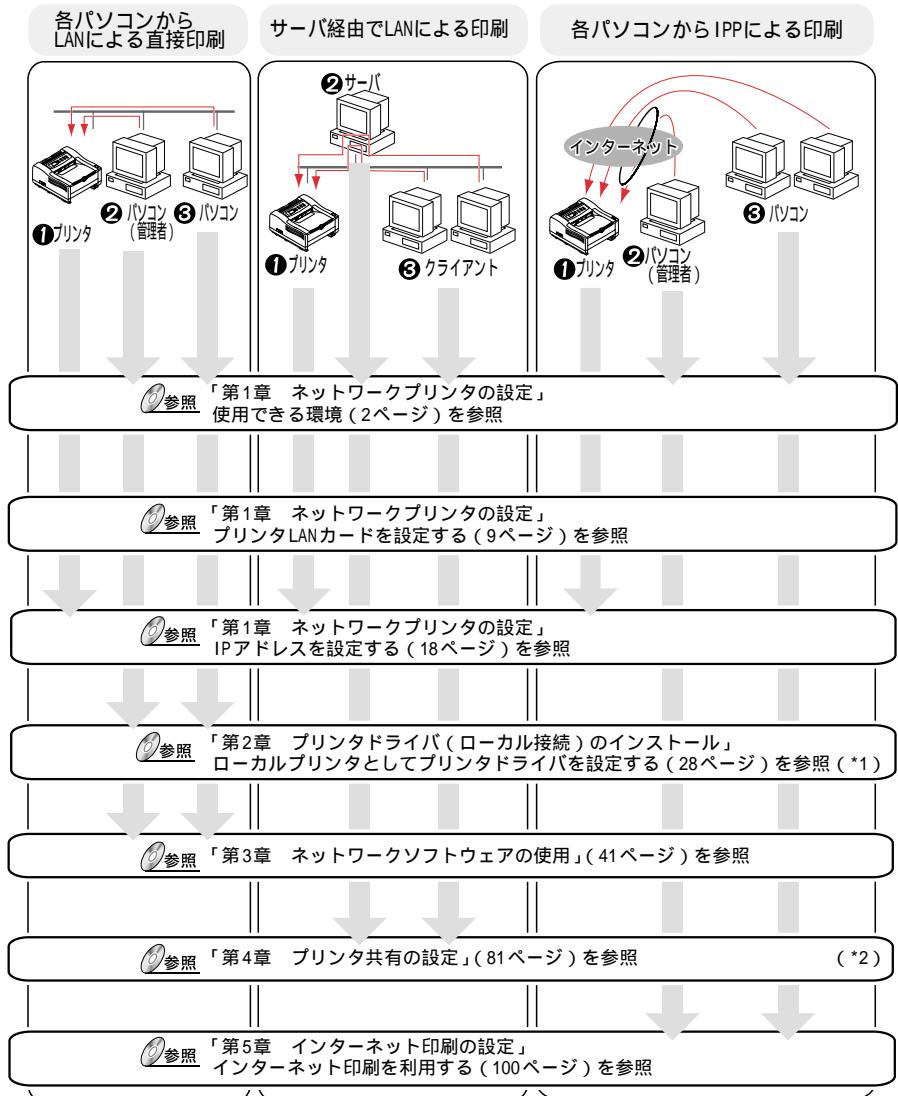
プリンタの設置が終わったら、パソコンまたはLANと接続し、印刷するために必要な設定を行います。

本書では、XL-2200をLAN経由でパソコンと接続し、印刷するために必要な設定の手順について説明します。

プリンタの接続・運用形態によって手順が異なりますので、次の図を参考し、必要な設定を行ってください。

設定は❶プリンタ❷サーバまたはパソコン(管理者)❸クライアントまたはパソコンの順に行ってください。

## ▷ プリンタ LANケーブルで接続するとき( プリンタ LANカード搭載時 )



\*1 Windows XP環境でのインストール方法はローカル接続時と異なります。  
他のOS環境でのインストール方法は、『XL-2200取扱説明書』「第4章 プリントドライバのインストール」を参照してください。

\*2 『XL-2200取扱説明書』に記載されている手順と同じ内容です。

# 目 次

はじめに .....	i
本文中の略語について .....	i
本書の構成 .....	ii
本書の表記 .....	iii
ネットワーク接続の設定手順の概要 .....	iv
<b>第1章 ネットワークプリンタの設定 .....</b>	<b>1</b>
使用できる環境 .....	2
ネットワークに接続するときの注意事項 .....	3
ネットワーク環境と接続例について .....	6
プリンタLANカードを設定する .....	9
プリンタLANカードの特長 .....	9
プリンタLANカード各部の名称 .....	10
プリンタLANカードを取り付ける .....	11
ネットワークに接続する .....	15
プリンタLANカードを初期化する .....	16
設定内容の一覧を印刷する .....	17
IPアドレスを設定する .....	18
設定の流れ .....	18
アドレスを設定する .....	20
設定内容の一覧を印刷する .....	24
アドレス以外を設定する .....	25
<b>第2章 プリンタドライバ(ローカル接続) のインストール .....</b>	<b>27</b>
ローカルプリンタとしてプリンタドライバを設定する .....	28
Windows 95/98/Me .....	28
Windows NT4.0の場合 .....	31
Windows 2000の場合 .....	34
Windows XPの場合 .....	37

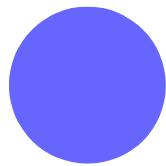
---

<b>第3章 ネットワークソフトウェアの使用</b> ....	41
ネットワーク環境で使用する .....	42
プリンタ側の設定を行う .....	43
IP アドレスの設定を行う .....	44
プリンタの設定を確認する(設定内容一覧の印刷) .....	45
パソコン側の設定を行う .....	46
TCP/IP プロトコルを設定する .....	46
プリンタポートを設定する .....	56
FUJITSU LPR ユーティリティを使用する場合 .....	57
FUJITSU LPR ユーティリティを使用しない場合 .....	71
ネットワーク用語の解説 .....	79
<b>第4章 プリンタ共有の設定</b> .....	81
Windows 95/98/Me のとき .....	82
サーバ側の設定 .....	82
クライアント側の設定 .....	84
Windows NT4.0 のとき .....	86
サーバ側の設定 .....	86
クライアント側の設定 .....	89
Windows 2000/XP のとき .....	91
サーバ側の設定 .....	91
クライアント側の設定 .....	95
<b>第5章 インターネット印刷の設定</b> .....	99
インターネット印刷を利用する .....	100
システム構成について .....	100
設定の流れ .....	101
IP アドレス、サブネットマスク、 ゲートウェイアドレスを設定する .....	101
その他の設定項目について .....	101
印刷先の設定とプリンタドライバのインストールを行う ...	102
プリンタドライバインストール前の設定について .....	102
Windows Me のインターネット印刷について .....	102
インストールを行う .....	103

<b>第6章 Printia LASER Internet Service...</b>	<b>111</b>
Printia LASER Internet Serviceの概要 .....	112
Printia LASER Internet Serviceの画面構成 .....	114
Printia LASER Internet Serviceを利用する .....	115
ブラウザを設定する .....	115
プロキシサーバを設定する .....	117
プリンタ側の設定を行う .....	119
Printia LASER Internet Serviceについて設定できる項目 ..	119
Printia LASER Internet Serviceを使用する .....	121
Printia LASER Internet Serviceの機能一覧 .....	123
設定を変更する .....	140
<b>第7章 ネットワーク利用時の トラブル対処方法 .....</b>	<b>153</b>
プリンタ設置時のトラブル .....	154
プリンタ使用時のトラブル .....	158
共通のトラブル .....	158
FUJITSU LPRユーティリティ使用時のトラブル .....	162
LPR、IPPポート使用時のトラブル .....	164
Printia LASER Internet Service使用時のトラブル ..	165
メールの受信時のトラブル .....	167
エラー情報 .....	168
メッセージ表 .....	168
<b>索 引 .....</b>	<b>170</b>

# 第1章

## ネットワークプリンタの設定



この章では、プリンタをネットワークプリンタとして設定するために管理者が行う操作について説明します。

使用できる環境	2
ネットワークに接続するときの注意事項	3
ネットワーク環境と接続例について	6
プリンタLANカードを設定する	9
プリンタLANカードの特長	9
プリンタLANカード各部の名称	10
プリンタLANカードを取り付ける	11
ネットワークに接続する	15
プリンタLANカードを初期化する	16
設定内容の一覧を印刷する	17
IPアドレスを設定する	18
設定の流れ	18
アドレスを設定する	20
設定内容の一覧を印刷する	24
アドレス以外を設定する	25

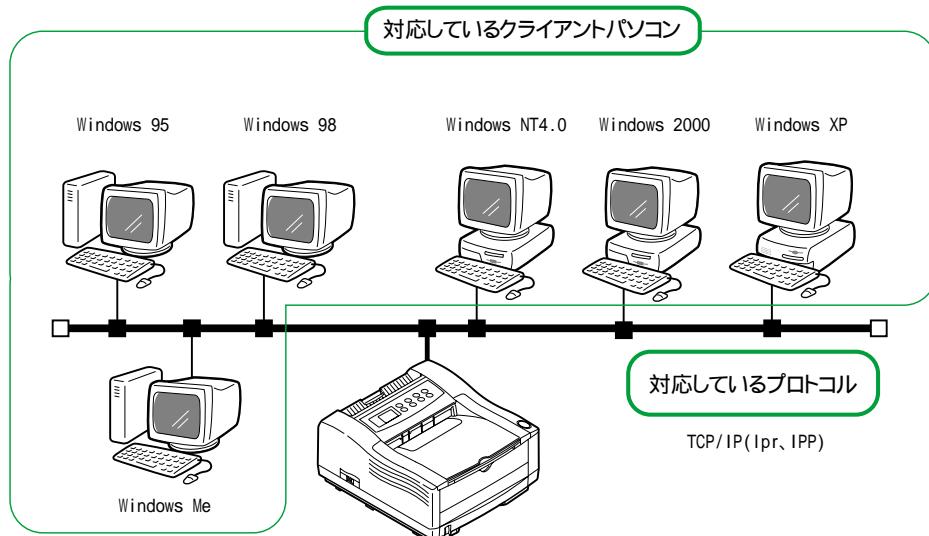
# 使用できる環境

本プリンタにオプションのプリンタLANカードを取り付けることで、ネットワークプリンタとして使用できるようになります。

本プリンタはマルチプロトコルに対応しており、異なったネットワーク環境でも1台のプリンタを共有できます。



オプションのプリンタLANカードを取り付けていない場合は、ネットワークで使用できません。



また、インターネットを使用して、Web画面からプリンタの状態を確認したり、プリンタの各種設定を行うことができます。この機能を「Printia LASER Internet Service( プリンティアレーザインターネットサービス )」と呼びます。



「第6章 Printia LASER Internet Service(111 ページ)」を参照



TCP/IP環境プリンタのIPアドレスをDHCPサーバで管理できます。



DHCPで運用する場合には、IPアドレスが変更されることがあります。定期的にIPアドレスを確認して使用してください。

## ネットワークに接続するときの注意事項

プリンタ LAN ケーブルはツイストペアケーブルを使用してください。100BASE-TX 対応のハブユニットに接続して 100Mbps でご使用になる場合には、必ずカテゴリー 5 のツイストペアケーブルを使用してください。

プリンタ LAN ケーブルを接続するときは、必ず本プリンタの電源を切ってください。電源を切らずに接続すると誤動作の原因となります。

通常は、オペレータパネルの共通メニューの「NETWORK」-「HUB LINK」を〔AUTO〕にしてプリンタ LAN ケーブルとハブユニットを接続してください。工場出荷時は、「NETWORK」-「HUB LINK」は〔AUTO〕なので、変更は不要です。

ただし、ハブユニット側のリンクランプが点灯せず、ネットワークのサーバなどに接続できないときがあります。このときは、プリンタとハブユニット双方の Ethernet タイプを同じ規格に設定してください。

本プリンタは以下の Ethernet タイプを選ぶことができます。

- ・自動検出 :「AUTO」
- ・100Mbps FULL :「100FULL」
- ・100Mbps HALF :「100HALF」
- ・10Mbps FULL :「10FULL」
- ・10Mbps HALF :「10HALF」



設定方法については、『XL-2200取扱説明書』「第8章 オペレータパネルの操作」を参照してください。



「HUB LINK」の設定変更した場合は、オペレータパネルに「ネットワークショキカチュウ」が表示されシステムの再立ち上げが完了したことを確認してください。その後、必ずプリンタの電源を一旦切り、再び投入してください。

ハブユニット側の設定については、ご使用のハブユニットの取扱説明書をお読みください。

10Mbps(10BASE) のハブユニットと接続する場合は、次の点にご注意ください。

ハブユニットの規格を取扱説明書にて確認し、本プリンタのEthernetタイプを「自動(=AUTO)」、「10Mbps Full」または「10Mbps Half」に設定してください。

「100Mbps Full」または「100Mbps Half」にすると、ファイルサーバのファイルが参照できない等のネットワーク障害の原因となります。ネットワーク障害が発生した際には、下記手順にしたがってネットワーク障害を解消してください。

プリンタLANケーブルを抜いてください。

(ネットワーク障害は解消されます。)

本プリンタのEthernetタイプを正しく設定してください。

プリンタの電源スイッチを〔○〕側に倒して、電源を切ってください。

プリンタLANケーブルを接続してください。

プリンタの電源スイッチを〔1〕側に倒して、電源を入れてください。

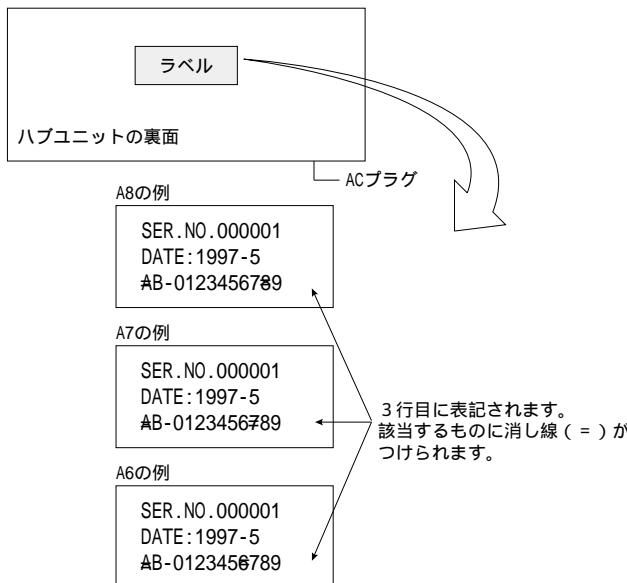
(ネットワーク障害は解消され、本プリンタも使用できます。)

ハブユニットLH1100と接続する場合は、次の点にご注意ください。

- ・ケーブル長 100m のツイストペアケーブルは使用しないでください。100mのツイストペアケーブルでは、ネットワークのサーバなどに接続できないことがあります。
- ・ハブユニットのラベルに「A8」以降の表記がある必要があります。「A7」や「A6」の表記がある場合は、『XL-2200取扱説明書』に記載されている「ハードウェア修理相談センター」にご相談ください。

ラベルの見かたを次の図に示します。

ラベルの位置...ハブユニットの裏面の次に示す場所にあります。



本プリンタは、LAN 経由でサーバプリンタとして動作するとともに、もう1台のパソコンをパラレルポートまたはUSBポートに接続することができます。パラレルポートまたはUSBポートとLANポートの両方にプリンタを接続した場合は、次の点にご注意ください。

- ・ポートは自動で切り替えることができます。ただし、プリンタの状態によっては、ポートの切り替えに時間がかかる場合があります。
- ・片方のポートを使用している場合、もう一方のポートは使用できません。2つのポートを同時に使用し、パソコンの画面にエラー画面などが表示された場合は、もう一方のパソコンからの印刷が完了してから印刷を再開してください。



ポートの切り替え時間は、『XL-2200取扱説明書』「第8章 オペレータパネルの操作」「共通メニュー画面の設定一覧」から「システムコウセイメニュー」-「ウェイト タイム」を参照してください。

## ネットワーク環境と接続例について

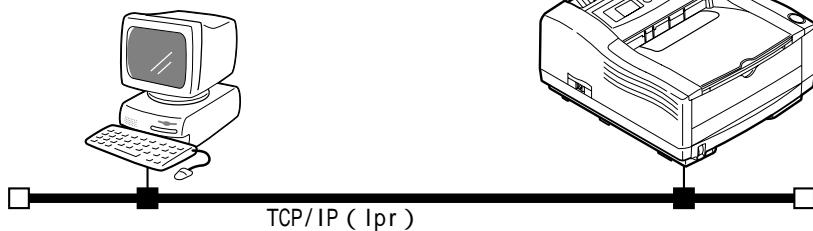
本プリンタを使用できるネットワーク環境をプロトコル別に紹介します。

### FUJITSU LPRユーティリティ

FUJITSU LPRユーティリティとは、パソコンからネットワーク上のプリンタに、サーバなどを経由しないで印刷データを直接送信して印刷するためのソフトウェアです。

この場合、プリンタと使用するパソコンにIPアドレスを設定する必要があります。

FUJITSU LPRユーティリティを  
インストールしたパソコン

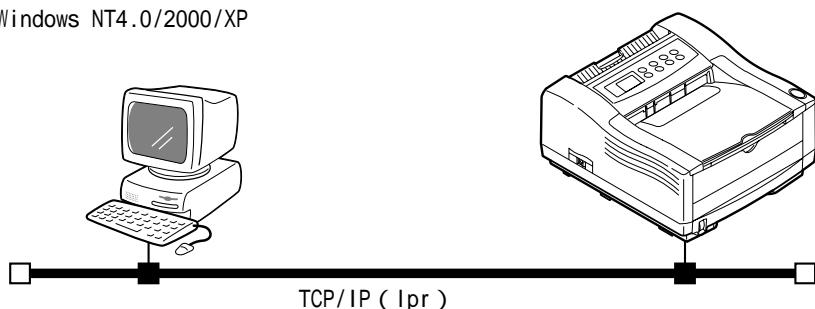


設置手順は、「第3章 ネットワークソフトウェアの使用」  
(41 ページ) を参照してください。

## TCP/IP (Windows NT4.0/2000/XP)

プリンタは、TCP/IP(Ipr)プロトコルをサポートしているため、Windows NT4.0/2000/XPで動作するパソコンから、Iprで印刷データを直接送信して、印刷できます。この場合は、プリンタとWindows NT4.0/2000/XPで動作するパソコンに、IPアドレスを設定する必要があります。

Windows NT4.0/2000/XP



Windows 2000/XPはIPPをサポートしているため、プリンタのポートにプリンタのURLを指定してインターネット印刷ができます。



設置手順は、「第3章 ネットワークソフトウェアの使用」(41 ページ)を参照してください。

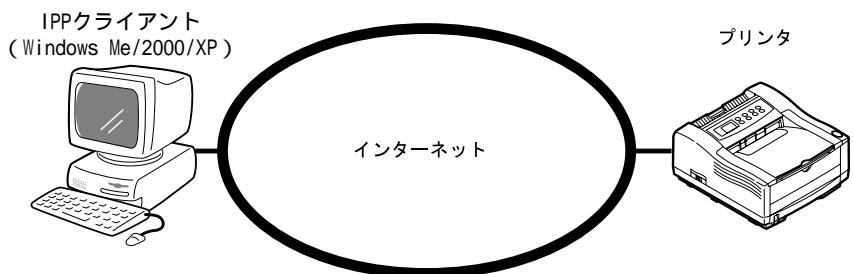
インターネット印刷については、「インターネット印刷」(8 ページ)および「第5章 インターネット印刷の設定」(99 ページ)を参照してください。

## インターネット印刷

本プリンタは、IPP ( Internet Printing Protocol ) をサポートしています。

IPPを利用すると、インターネット、またはイントラネットを経由して遠隔地のプリンタへ印刷できます。

Windows 2000/XPは、IPP対応プリンタに出力するためのホストソフト (IPPポートモニタ) を装備しているので、コントロールパネルの [プリンタの追加] ウィザードから、IPP対応プリンタを指定できます。また、Windows Meは、IPPポートモニタをインストールすることによりインターネット印刷ができます。



IPPを利用する場合は、「第5章 インターネット印刷の設定」(99 ページ) を参照してください。

# プリンタLANカードを設定する

プリンタLANカードをXL-2200に取り付けることによって、ネットワーク環境での印刷が可能になります。

ここではプリンタLANカードの取り付けからネットワーク環境で使用するため必要な設定までを説明しています。

1

## プリンタLANカードの特長

### 1 Webブラウザによる管理

Microsoft Internet ExplorerやNetscape NavigatorなどのWebブラウザを利用して、ネットワークの設定やプリンタのステータスなどを表示できます。

### 2 SNMPに対応

SNMPエージェントを実装しています。

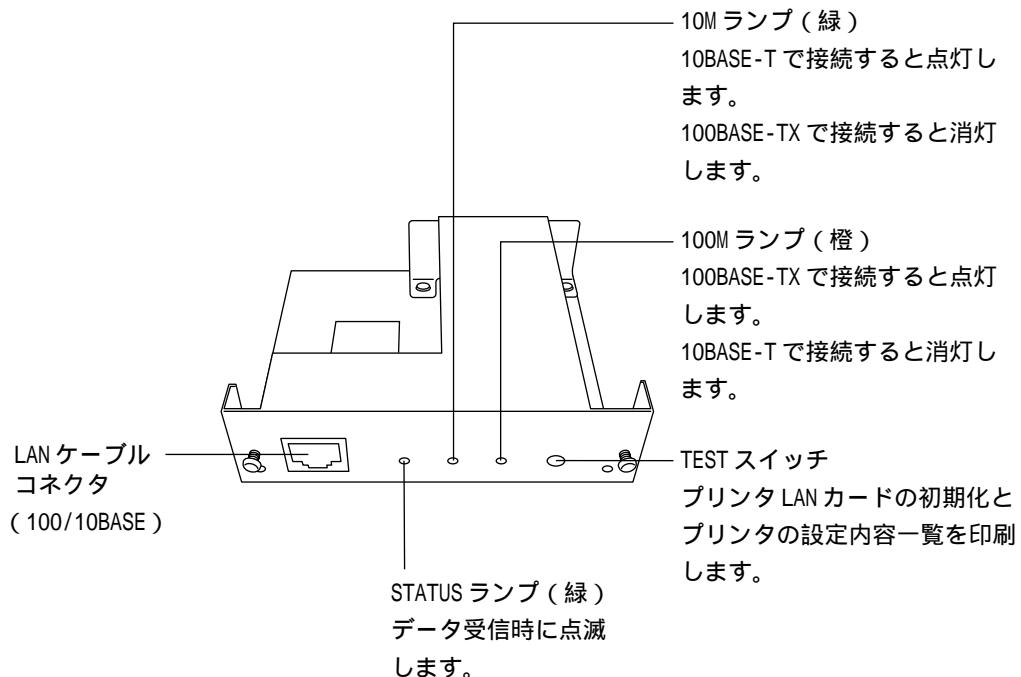
### 3 電子メールを使用した情報通知

電子メールを使用してエラー情報や消耗品の交換時期を通知します。

### 4 100BASE-TX/10BASE-Tに対応

100BASE-TXと10BASE-Tを自動的に切り替えます。

## プリンタ LAN カード各部の名称

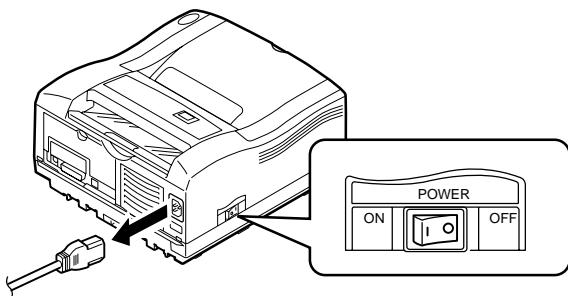


## プリンタLANカードを取り付ける

### △ 注意

け が 作業を始める前に必ず電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。感電の原因となることがあります。

次の手順にしたがって、プリンタLANカードを取り付けてください。



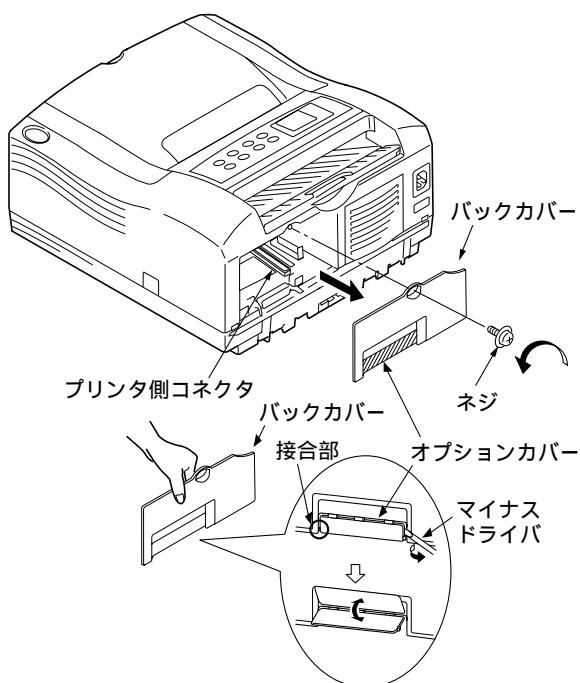
1 プリンタの電源が切れていることを確認する

電源スイッチが〔 〕側に倒れていることを確認します。

2 電源コードを電源コネクタから引き抜く

### ガイド

電源が入っている状態でプリンタLANカードを取り付けると、故障の原因となることがあります。



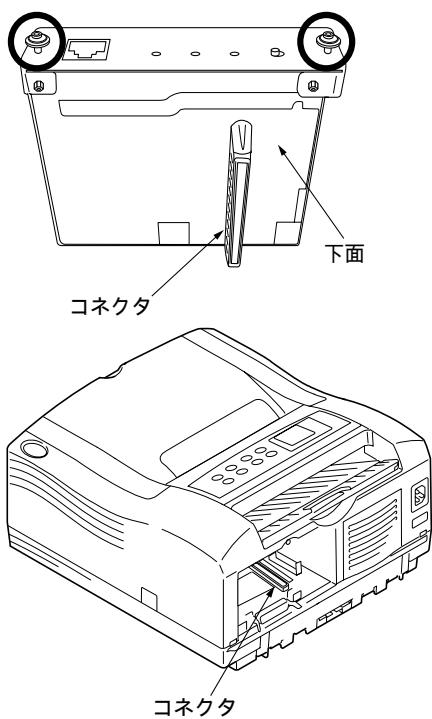
3 ネジをゆるめて、プリンタのバックカバーを外す

4 外したバックカバーを手で持ち、バックカバーとオプションカバーの間にマイナスドライバを差し込む。そのまま矢印(外側)方向にマイナスドライバを倒し、左右の接合部を外す

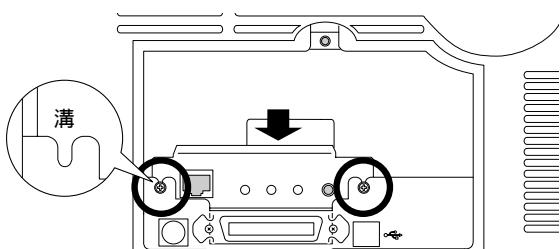
5 オプションカバーを前後に手で折り曲げて外す

▶お願い

マイナスドライバをねじらないでください。ねじるとバックカバーに傷がつきます。



6 プリンタ LAN カード取り付け用ネジ(2個)を途中まで締める

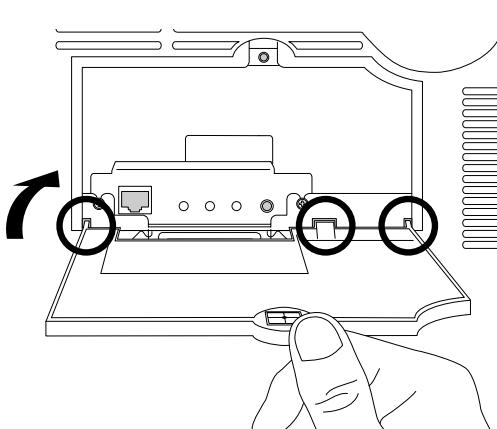


7 プリンタ LAN カードの左右のネジとプリンタ背面の溝の位置を合わせると、プリンタ LAN カード側のコネクタとプリンタ側のコネクタの位置が合う。上から押してしっかりと差し込む

## 8 プリンタ LAN カードの左右(2箇所)のネジをしめて固定する

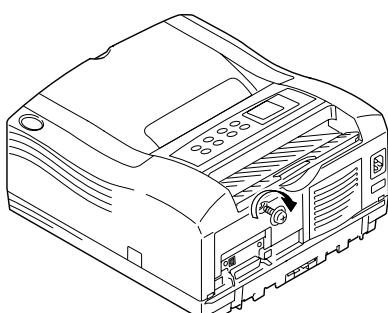
### △ 注意

やけど 基板の一部が高温になっていることがあるので注意してください。また、故障の原因になるので、基板には手を触れないでください。

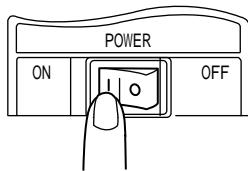


9 バックカバーの3箇所のツメとプリンタ背面の穴とを合わせる

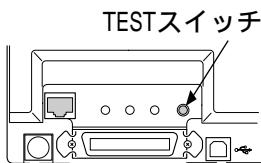
10 図のようにバックカバー中央を指で持ち上げながら閉じる



11 ネジ(1箇所)をしめて固定する



12 電源コードを接続し、  
プリンタの電源を入れる  
電源スイッチを〔1〕側に倒しま  
す。



13 TESTスイッチを1秒以上  
押し続けてから指を離す  
プリンタの設定内容が一覧で印  
刷されます。

*Network Information*

**System Information**

Asset Number  
System Contact  
System Name  
System Location

**General Information**

XL-2200

CU version : F1.10 [ 100.84 S2.2 4f B01.29f 000 0000000 000000000 F32 ]  
WIN version : 00.01.10 [ P102.08 T200.00.04 F600.00.03 ]  
WIN Program version : 01.40  
Total Memory Size : 16 MB Flash Memory : 2 MB [ F32 ]

**設定内容**

**NETWORK MENU**

IP ADDRESS SET	AUTO
IP ADDRESS	192.168.100.100
SUBNET MASK	255.255.255.0
GATEWAY ADDRESS	192.168.100.254
WEB/IPP	ENABLE
SNMP	ENABLE
HUB LINK SETTING	AUTO NEGOTIATE

**メモリメニュー**

受信バッファサイズ	自動
X 補正	0.00 ミリメートル
Y 補正	0.00 ミリメートル

**メンテナンスマニュ**

セーフモード機能	有効
セーフモード	0
印刷速度	0

**寿命メニュー**

総印数枚数	12454 枚
ドラムニット	残り 100 %
トナー残量	あり

**システム構成メニュー**

15 分 WIN モード

エミューーション ショット

アラーム音消除 オフ

エコモード切替 40 秒

タイムアウト印刷 繼続

トナー不足印刷継続 オン

**テキストモードメニュー**

漢字モード	自動
ANK コード	無効
ANK ゼロ書体	カタカナ
読み出し位置	二重
横オフセット	0 ミリメートル
縦オフセット	0 ミリメートル
右アライジング	無効
CR 機能	CR のみ
自動復元機能	CR + LF

**セントロメニュー**

セントロ 有効  
双方向 有効  
ACK / BUSY タイミング 無効  
I-PRIME 無効

**USB メニュー**

USB ソフトリセット 有効  
無効

1ページ目に、  
「NETWORK MENU」が  
記載されていること  
と、合計2ページ印  
刷されていることを  
確認してください。

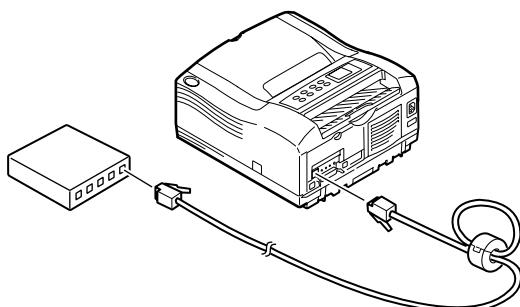
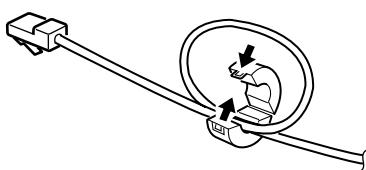
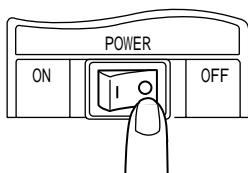
## ネットワークに接続する

プリンタ LAN カードの取り付けが終わったら、使用するネットワークに接続します。



参照

ネットワークに接続する時には、「ネットワークに接続するときの注意事項」(3 ページ) を参照してください。



- 1 プリンタ本体左側面にある電源スイッチの〔 〕側を押す  
電源が切れます。

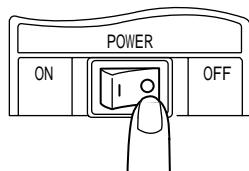
- 2 添付品の LAN ケーブル用コアを、LAN ケーブルのプリンタに差し込むコネクタから約 150mm の所に左図のように 1 重の輪を作って取り付ける

- 3 LAN ケーブルをプリンタの LAN ケーブルコネクタに差し込む

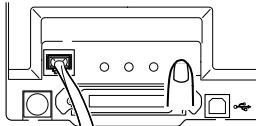
- 4 LAN ケーブルをネットワークに接続されているハブに差し込む

## プリンタ LAN カードを初期化する

プリンタ LAN カードを初期化します。



プリンタ後側面



プリンタ左側面

1 プリンタの電源が切れていることを確認する  
電源スイッチが〔 〕側に倒れていることを確認します。

2 TESTスイッチを押したままプリンタの電源を入れ、〔オンライン〕と表示されたらTESTスイッチから指を離す

約30秒間、自動的にプリンタは初期化のための準備をします。

### ガイド

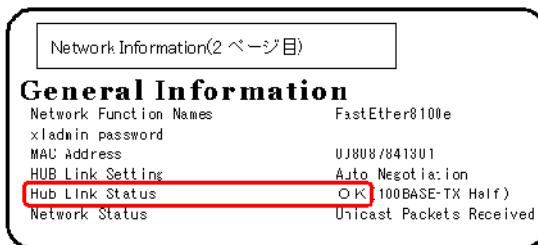
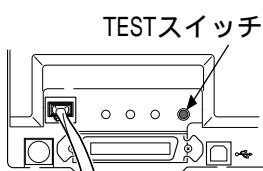
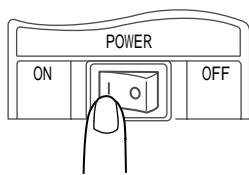
プリンタ LAN カードの初期化やネットワーク情報の設定変更後の約30秒間、オペレータパネルには〔オンライン〕と表示されます。また、ネットワーク環境等の状況によっても2~3分間オペレータパネルに〔オンライン〕と表示される場合があります。この間、プリンタは初期化のための準備を行っています。

準備が完了するとオペレータパネルの表示は〔ネットワーク ショキカチュウ〕に変わり、初期化、設定変更、システムの再立ち上げを行います。

システムの再立ち上げが完了するまでは、オペレータパネルの操作や電源の投入/切断などは行わないでください。システムの再立ち上げが完了しないと、初期化前の設定や設定内容の印刷を行っても、Network Information(2ページ目)が印刷されない場合があります。このようなときには、再度、プリンタ LAN カードを初期化してください。プリンタは問題なく復旧します。

## 設定内容の一覧を印刷する

プリンタに取り付けたオプション品の情報など現在のプリンタに設定されている内容を一覧で印刷します。



1 プリンタ本体左側面にある電源スイッチが入っていることを確認する

電源スイッチが [ ] 側に倒れていることを確認します。

2 TESTスイッチを1秒以上押し続けてから指を離す  
プリンタの設定内容が一覧で印刷されます。

Network Information (2ページ目)  
General Information  
Network Function Names: FastEther8100e  
xadmin password: UJ8U8/8413U1  
MAU Address: UJ8U8/8413U1  
HUB Link Setting: Auto Negotiation  
Hub Link Status: OK (100BASE-TX Half)  
Network Status: Unicast Packets Received

### ○ 参照

「General Information」-「Hub Link Status」が[Link Fail]の場合は、ネットワーク接続に失敗しています。「第7章 ネットワーク利用時のトラブル対処方法」-「プリンタ設置時のトラブル」(154 ページ)を参照し、ネットワークの接続を完了してください。

### ○ 参照

オペレータパネルの操作により設定内容の一覧を印刷する場合は、『XL-2200取扱説明書』「第7章 日常のメンテナンス」「設定内容を印刷する」を参照してください。

# IPアドレスを設定する

ここでは、IPアドレスの設定方法について説明します。

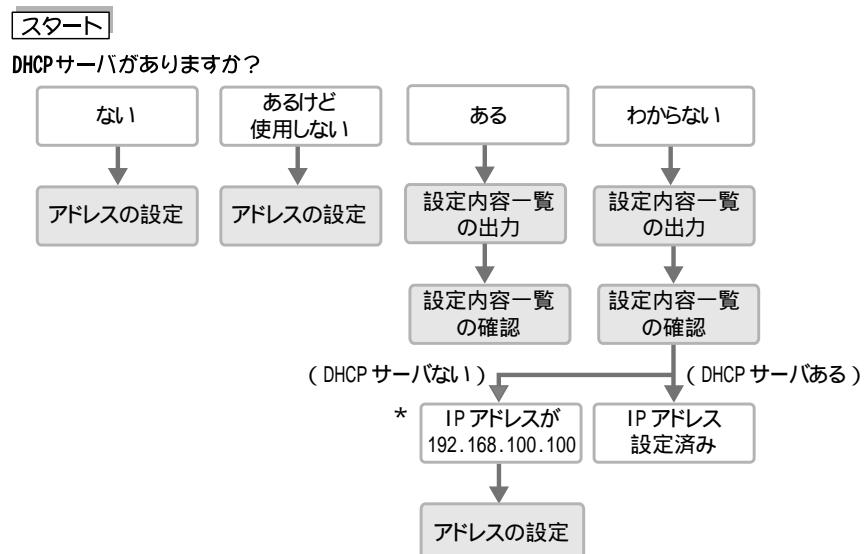
ネットワーク環境によっては、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスの設定が必要な場合があります。ネットワーク上にDHCP(Dynamic Host Configuration Protocol)を起動しているWindows NT4.0/2000/XPホストがある場合、本プリンタはこれらのアドレス情報をDHCPサーバから取得できます。

なお、工場出荷時の設定では、これらのアドレスをDHCPサーバから自動的に取得するようになっています。

## 設定の流れ

DHCPサーバがあるかどうかわからないときは、ここで説明する手順にしたがって、DHCPサーバの有無を確認してください。DHCPサーバがあった場合は、IPアドレスは自動的に設定されるのでIPアドレスの入力は不要です。なかった場合は、「アドレスを設定する」(20 ページ)を参照し、IPアドレスを設定してください。

### DHCPサーバの確認



## ▶お願い

\*でIPアドレスが〔192.168.100.100〕になった場合は、DHCPサーバがない状態を示しています。設定可能なIPアドレスを確認し、設定し直してください。  
また、ネットワーク接続に失敗した場合もIPアドレスが〔192.168.100.100〕になります。このようなときは、「第7章 ネットワーク利用時のトラブル対処方法」-「プリンタ設置時のトラブル」(154 ページ)を参照し、ネットワークに接続してください。

## •ガイド

DHCP環境やIPアドレスについて不明な点は、ネットワーク管理者に問い合わせてください。

## 設定内容一覧の出力

## 1 設定内容の一覧を印刷する

## 参照

「設定内容の一覧を印刷する」(17 ページ)を参照

## 2 設定内容一覧1枚目の〔NETWORK MENU〕項目にある「IP ADDRESS」、「SUBNET MASK」、「GATEWAY ADDRESS」のアドレスを確認する

## 参照

設定内容一覧の確認方法については、次の「設定内容一覧の確認」を参照してください。

## 設定内容一覧の確認

## ▶ TCP/IPアドレスが取得されていない場合

DHCPサーバは存在しません。「アドレスを設定する」(20 ページ)を参照し、IPアドレスを設定してください。

## ▶ TCP/IPにアドレスが取得されている場合

DHCPサーバが稼動しているので、DHCP環境を使用することをお勧めします。本プリンタのIPアドレスは、DHCPサーバが設定します。

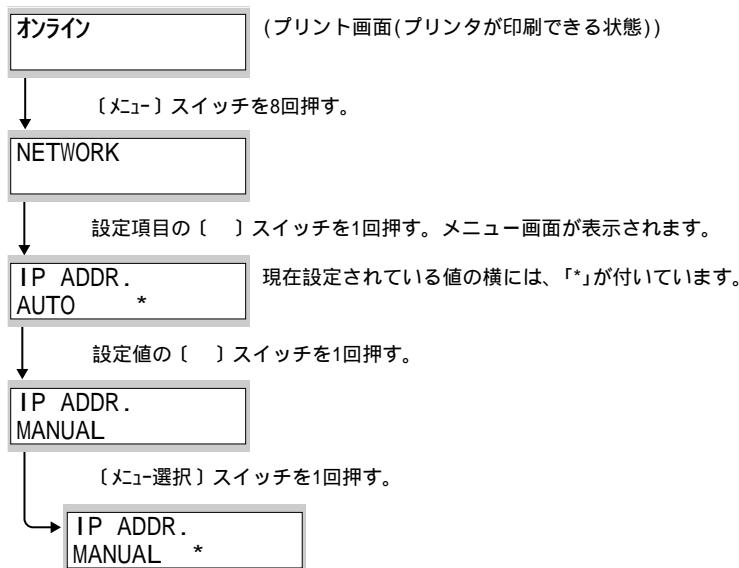
## アドレスを設定する

ここでは、オペレータパネルでIPアドレスを設定する手順について説明します。使用するネットワーク環境によって、サブネットマスクやゲートウェイアドレスの設定も必要です。ネットワーク管理者にご相談のうえ、必要な項目を設定してください。



オペレータパネルの操作方法については、『XL-2200取扱説明書』第8章「オペレータパネルの操作」を参照してください。

### IPアドレスの取得方法を【MANUAL】に設定

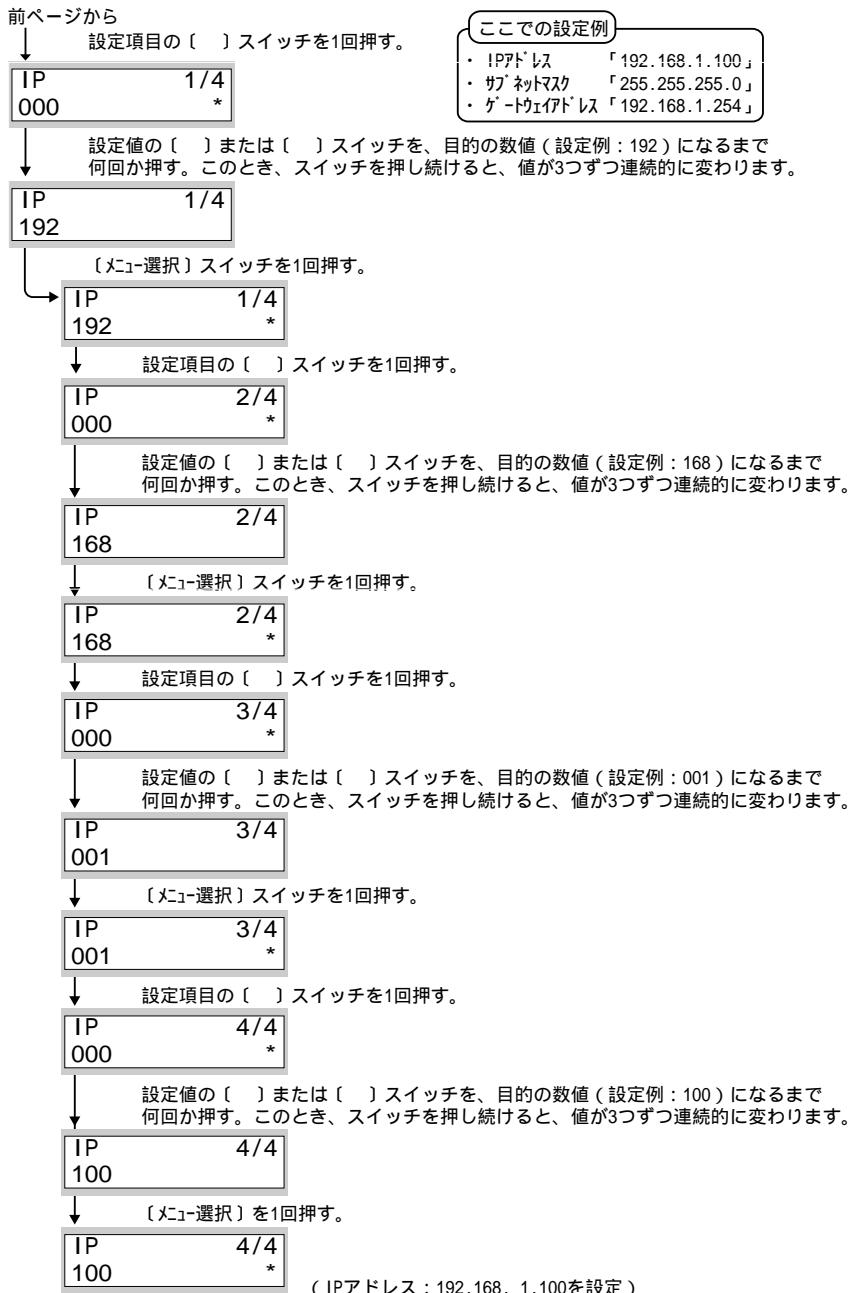


続いてIPアドレスの設定を行います。

## IPアドレスの設定



IPアドレスは、小数点で区切られた4つの数値(10進数)を設定します。それぞれの10進数は、0~255までの値で設定します。

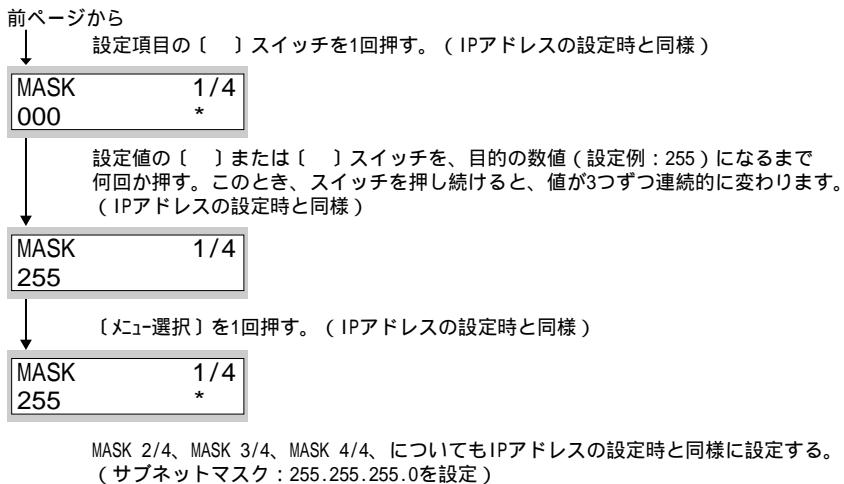


続いてサブネットマスクの設定を行います。



途中で、どの階層のメニューが表示されているのかわからなくなったりした場合は、『XL-2200取扱説明書』「第8章 オペレータパネルの操作」の「共通メニュー画面の設定一覧」を参照して、メニュー全体の構成を確認してください。

## サブネットマスクの設定



続いてゲートウェイアドレスの設定を行います。

## ゲートウェイアドレスの設定

前ページから

② 設定項目の [ ] スイッチを1回押す。（IPアドレスの設定時と同様）

GATE 000	1/4
-------------	-----

② 設定値の [ ] または [ ] スイッチを、目的の数値（設定例：192）になるまで何回か押す。このとき、スイッチを押し続けると、値が3つずつ連続的に変わります。（IPアドレスの設定時と同様）

GATE 192	1/4
-------------	-----

③ [メニュー選択] スイッチを1回押す。（IPアドレスの設定時と同様）

GATE 192	1/4
-------------	-----

④ GATE 2/4、GATE 3/4、GATE 4/4、についてもIPアドレスの設定時と同様に設定する。（ゲートウェイアドレス：192.168.1.254を設定）

⑤ ここまで設定ができたら、[オンライン] スイッチを押し、共通メニュー画面を終了させる。パネルは「オンライン」を表示します。

オンライン
-------

⑥ 約30秒間、自動的にプリンタは初期化のための準備を行います。

ネットワーク ショキカチュウ
-------------------

⑦ 約1分間、自動的にプリンタは初期化、設定変更およびシステムの再立ち上げを行います。

オンライン
-------



プリント LAN カードの初期化やネットワーク情報の設定変更後の約30秒間、オペレータパネルには〔オンライン〕と表示されます。また、ネットワーク環境等の状況によっても2~3分間オペレータパネルに〔オンライン〕と表示される場合があります。この間、プリンタは初期化のための準備を行っています。

準備が完了するとオペレータパネルの表示は〔ネットワーク ショキカチュウ〕に変わり、初期化、設定変更、システムの再立ち上げを行います。

システムの再立ち上げが完了するまでは、オペレータパネルの操作や電源の投入/切断などは行わないでください。システムの再立ち上げが完了しないと、初期化前の設定や設定内容の印刷を行っても、Network Information(2ページ目)が印刷されない場合があります。このようなときには、再度、プリンタ LAN カードを初期化してください。

## 設定内容の一覧を印刷する

設定内容の一覧を印刷し、IPアドレスが正しく設定されていることを確認してください。



確認方法については「設定内容の一覧を印刷する」(17 ページ)を参照してください。

# アドレス以外を設定する

オペレータパネルの操作によりIPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレス以外に下記3項目のネットワークプリンタの設定が行えます。必要な項目を設定してください。



オペレータパネルの操作方法については、『XL-2200取扱説明書』第8章「オペレータパネルの操作」を参照してください。

カテゴリ	オペレータパネルの表示		内容	備考
	設定項目 (上段)	設定項目 (下段)		
NETWORK	WEB/IPP	ENABLE (工場出荷時) DISABLE	Printia LASER Internet Service /インターネット印刷の有効 /無効を設定します。 Printia LASER Internet Service とインターネット印刷を使用されないときに[DISABLE]にしてください。	参照 「第6章 Printia LASER Internet Service」(111 ページ)「第5章 インターネット印刷の設定」(99 ページ) 参照
	SNMP	ENABLE (工場出荷時) DISABLE	SNMPエージェントの有効 /無効を設定します。SNMPエージェント (SNMP トラブル発行等) を使用されないときに[DISABLE]にしてください。	ガイド [DISABLE]にすると、FUJITSU LPRユーティリティのIPアドレスの検索 / 設定ができません。
	HUB LINK	AUTO (工場出荷時) 100FULL 100HALF 10FULL 10HALF	ハブとの接続タイプ (規格) を設定します。通常は [AUTO(工場出荷時設定)] にしてください。[AUTO]で接続できない場合に、ハブユニットと同じタイプ (規格) にしてください。	お願い 「HUB LINK」の設定変更後に、プリンタの電源を再投入しない場合、ネットワークに接続できないことがあります。 「HUB LINK」の設定変更後は、かならず電源を再投入してください。



ネットワーク情報の設定変更後の約30秒間、オペレータパネルには〔オンライン〕と表示されます。また、ネットワーク環境等の状況によっても2~3分間オペレータパネルに〔オンライン〕と表示される場合があります。この間、プリンタは初期化のための準備をしています。準備が完了するとオペレータパネルの表示は〔ネットワーク ショキカチュウ〕に変わり、初期化、設定変更、システムの再立ち上げを行います。システムの再立ち上げが完了するまでは、オペレータパネルの操作や電源の投入/切断などは行わないでください。システムの再立ち上げが完了しないと、初期化前の設定や設定内容の印刷を行っても、Network Information (2ページ目) が印刷されない場合があります。このようなときには、再度、プリンタLANカードを初期化してください。プリンタは問題なく復旧します。

# 第2章

## プリンタドライバ(ローカル接続)の インストール



この章では、パソコンとのローカル接続でプリンタドライバをインストールする手順について説明します。

### ローカルプリンタとしてプリンタドライバを設定する .... 28

Windows 95/98/Me .....	28
Windows NT4.0の場合 .....	31
Windows 2000の場合 .....	34
Windows XPの場合 .....	37

# ローカルプリンタとしてプリンタドライバを設定する

ここではローカルプリンタとしてプリンタドライバを設定する方法を説明します。

本プリンタとパソコンの接続方法およびご使用になるOSからインストール方法を選択してください。

- Windows 95/98/Me ..... 28ページ
- Windows NT4.0 ..... 31ページ
- Windows 2000 ..... 34ページ
- Windows XP ..... 37ページ

## Windows 95/98/Me

プリンタドライバのインストールは、次の手順で行います。

ここでは、Windows 98を例に説明します。

添付のプリンタソフトウェアCD-ROMを準備してください。



ご使用のパソコンにインストールされているWindows 95/98/Meのバージョンによっては、インストール手順や表示内容が異なる場合があります。このときは、表示内容にしたがってインストールしてください。



インストールの前に、メモ帳などによりCD-ROM内の「README.TXT」をお読みください。(CD-ROMドライブがFの場合、「F:\XL2200\Readme.txt」を参照してください。)

1 プリンタとパソコンを接続し、Windowsを起動する

2 プリンタの電源を入れる

3 [マイコンピュータ]の[プリンタ]アイコンをダブルクリックし、[プリンタの追加]アイコンをダブルクリックする

- 4 [プリンタの追加ウィザード] が表示されたら、[次へ] をクリックする
- 5 表示された画面で [ローカルプリンタ] を選択し、[次へ] をクリックする
- 6 プリンタの製造元とモデルを選択してください。と表示されたら、[ディスク使用] をクリックする
- 7 添付のプリンタソフトウェア CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットする
- 8 配布ファイルのコピー元 を指定する画面が表示されたら、CD-ROM ドライブ名と Windows 95/98/Me 用ドライバのフォルダ名を入力し、[OK] をクリックする (CD-ROM ドライブが F の場合、「F:\XL2200\WIN9X\_ME」と入力してください。)
- 9 FUJITSU XL-2200 を選択し、[次へ] をクリックする



このプリンタにはドライバが既にインストールされています と表示されたら、[新しいドライバに置き換える] を選択し、[次へ] をクリックしてください。

- 10 [LPT1: プリンタポート] を選択し、[次へ] をクリックする
- 11 プリンタ名および通常使うプリンタにするかどうかを設定し、[次へ] をクリックする

**12** テストページを印刷するか、しないかを選択し、〔完了〕をクリックする

ファイルのコピーが開始されます。コピーが終了すると、〔プリンタ〕フォルダにプリンタ名が表示され、ドライバが有効になります。  
テストページを選択した場合は、テストページ完了のダイアログが表示されます。次の操作を行います。

**13** テストページが正しく印刷されたら〔はい〕をクリックし、インストールを完了する



手順12でテストページを印刷しないとした場合、この画面は表示されません。インストールが完了すると〔プリンタ〕フォルダにプリンタ名が表示され、プリンタの使用が可能となります。

## Windows NT4.0の場合

ここでは、Windows NT4.0が動作するパソコンをご使用になっている場合の、プリンタドライバのインストール方法について説明します。

プリンタドライバのインストールは、次の手順で行います。

添付のプリンタソフトウェアCD-ROMを準備してください。

### ● ガイド

ご使用のパソコンにインストールされているWindows NT4.0のバージョンによっては、インストール手順や表示内容が異なる場合があります。このときは、表示内容にしたがってインストールしてください。

### ▶お願い

- ・インストールの前に、メモ帳などによりCD-ROMの「README.TXT」をお読みください。(CD-ROMドライブがFの場合、F:\XL2200\Readme.txtを参照してください。)
- ・プリンタドライバを再インストールする場合は、前のプリンタドライバを削除してからインストールしてください。

- 1 Windows NT4.0を起動し、管理者権限でログオンする
- 2 [スタート] - [設定] - [プリンタ] の順に選択し、[プリンタの追加]アイコンをダブルクリックする
- 3 表示された画面で このコンピュータ を選択し、[次へ]をクリックする
- 4 [利用可能なポート]から [LPT1 :Local Port]を選択し、[次へ]をクリックする
- 5 プリンタの製造元とモデルをクリックしてください。と表示されたら、[ディスク使用]をクリックする

6 添付のプリンタソフトウェア CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットする

7 配布ファイルのコピー元 を指定する画面が表示されたら、CD-ROM ドライブ名と Windows NT4.0 用ドライバのフォルダ名を入力し、[OK] をクリックする (CD-ROM ドライブが F の場合、「F:¥XL2200¥WINNT40」と入力してください。)

8 FUJITSU XL-2200 と表示されていることを確認し、[次へ] をクリックする

 **ガイド** このプリンタにはドライバが既にインストールされています と表示されたら、[新しいドライバに置き換える] を選択し、[次へ] をクリックしてください。

9 プリンタ名および通常使うプリンタにするかどうかを設定し、[次へ] をクリックする

10 プリンタを共有するかどうか聞かれたら [共有しない] を選択し、[次へ] をクリックする  
プリンタを共有するかしないかの設定は、プリンタドライバをインストールした後で変更できます。ここでは、共有しない を選択します。

11 テストページを印刷するか、しないかを選択し、[完了] をクリックする

ファイルのコピーが開始されます。コピーが終了すると、[プリンタ] フォルダにプリンタ名が表示され、ドライバが有効になります。  
テストページを選択した場合は、テストページ完了のダイアログが表示されます。次の操作を行います。

**12** テストページが正しく印刷されたら〔はい〕をクリックし、  
インストールを完了する



手順11でテストページを印刷しないとした場合、この画面は表示されません。

インストールが完了すると〔プリンタ〕フォルダにプリンタ名が表示され、プリンタの使用が可能となります。

## Windows 2000の場合

ここでは、Windows 2000が動作するパソコンをご使用になっている場合の、プリンタドライバのインストール方法について説明します。

プリンタドライバのインストールは、次の手順で行います。

添付のプリンタソフトウェアCD-ROMを準備してください。



ご使用のパソコンにインストールされているWindows 2000のバージョンによっては、インストール手順や表示内容が異なる場合があります。このときは、表示内容にしたがってインストールしてください。



- ・インストールの前に、メモ帳などによりCD-ROMの「README.TXT」をお読みください。(CD-ROMドライブがFの場合、「F:\XL2200\Readme.txt」を参照してください。)
- ・プリンタドライバを再インストールする場合は、前のプリンタドライバを削除してからインストールしてください。

1

Windows 2000を起動し、管理者権限でログオンする

2

[スタート] - [設定] - [プリンタ] の順に選択する

3

[プリンタの追加] をダブルクリックする

4

[プリンタの追加ウィザード] が起動したら、[次へ] をクリックする

5

[ローカルプリンタ] を選択し、[プラグアンドプレイプリンタを自動的に検出してインストールする] のチェックを外して、[次へ] をクリックする

6 [次のポートを使用]を選択し、「LPT1：プリンタポート」を選択し、[次へ]をクリックする

7 [ディスク使用]をクリックする

8 [フロッピーディスクからインストール]が表示されたら、添付のプリンタソフトウェアCD-ROMをセットし、[製造元のファイルのコピー元]に「F:¥XL2200¥WIN2000」(CD-ROMドライブがFの場合)と入力し、[OK]をクリックする

9 [FUJITSU XL-2200]を選択し、[次へ]をクリックする



既に他のプリンタドライバがインストールされている場合は、既存のドライバを使うと表示されます。「新しいドライバに置き換える」を選択し、[次へ]をクリックしてください。

10 プリンタ名および通常使うプリンタにするかどうかを設定し、[次へ]をクリックする

11 [このプリンタを共有しない]を選択し、[次へ]をクリックする

12 テストページを印刷するかどうかを指定し、[次へ]をクリックする

13 プリンタの追加ウィザードを完了していますと表示されたら、[完了]をクリックする

**14** デジタル署名が見つかりませんでした と表示されたら、〔はい〕をクリックする  
ファイルのコピーが開始されます。

**15** テストページが正しく印刷されたら〔OK〕をクリックし、インストールを完了する



手順12でテストページを印刷しないとした場合、この画面は表示されません。

インストールが完了すると〔プリンタ〕フォルダにプリンタ名が表示され、プリンタの使用が可能となります。

## Windows XPの場合

ここでは、Windows XPが動作するパソコンをご使用になっている場合の、プリンタドライバのインストール方法について説明します。  
プリンタドライバのインストールは、次の手順で行います。  
添付のプリンタソフトウェアCD-ROMを準備してください。



ご使用のパソコンにインストールされているWindows XPのバージョンによっては、インストール手順や表示内容が異なる場合があります。このときは、表示内容にしたがってインストールしてください。



- ・インストールの前に、メモ帳などによりCD-ROMの「README.TXT」をお読みください。（CD-ROMドライブがFの場合、「F:\XL2200\Readme.txt」を参照してください。）
- ・プリンタドライバを再インストールする場合は、前のプリンタドライバを削除してからインストールしてください。

- 1 Windows XPを起動し、管理者権限でログオンする
- 2 [スタート] - [設定] - [プリンタとFAX] の順に選択する
- 3 [プリンタのインストール] をクリックする
- 4 [プリンタの追加ウィザード] が起動したら、[次へ]をクリックする
- 5 [このコンピュータに接続されているローカルプリンタ]を選択し、[プラグアンドプレイ対応プリンタを自動的に検出してインストールする]のチェックを外して、[次へ]をクリックする

6 [次のポートを使用]を選択し、「LPT1:(推奨プリンタポート)」を選択し、[次へ]をクリックする

7 [ディスク使用]をクリックする

8 [フロッピーディスクからインストール]が表示されたら、添付のプリンタソフトウェアCD-ROMをセットし、[製造元のファイルのコピー元]に「F:¥XL2200¥WINXP」(CD-ROMドライブがFの場合)と入力し、[OK]をクリックする

9 [FUJITSU XL-2200]を選択し、[次へ]をクリックする



既に他のドライバがインストールされている場合は、既存のドライバを使うと表示されたら、「新しいドライバに置き換える」を選択し、[次へ]をクリックしてください。

10 プリンタ名および通常使うプリンタにするかどうかを設定し、[次へ]をクリックする

11 [このプリンタを共有しない]を選択し、[次へ]をクリックする

12 テストページを印刷するかどうかを指定し、[次へ]をクリックする

13 プリンタの追加ウィザードの完了と表示されたら、[完了]をクリックする

**14** 「ハードウェアのインストール」画面が表示されたら、〔続行〕をクリックする  
ファイルのコピーが開始されます。

**15** テストページが正しく印刷されたら〔OK〕をクリックし、インストールを完了する



手順12でテストページを印刷しないとした場合、この画面は表示されません。

インストールが完了すると〔プリンタとFAX〕フォルダにプリンタ名が表示され、プリンタの使用が可能となります。



# 第3章

## ネットワークソフトウェアの使用



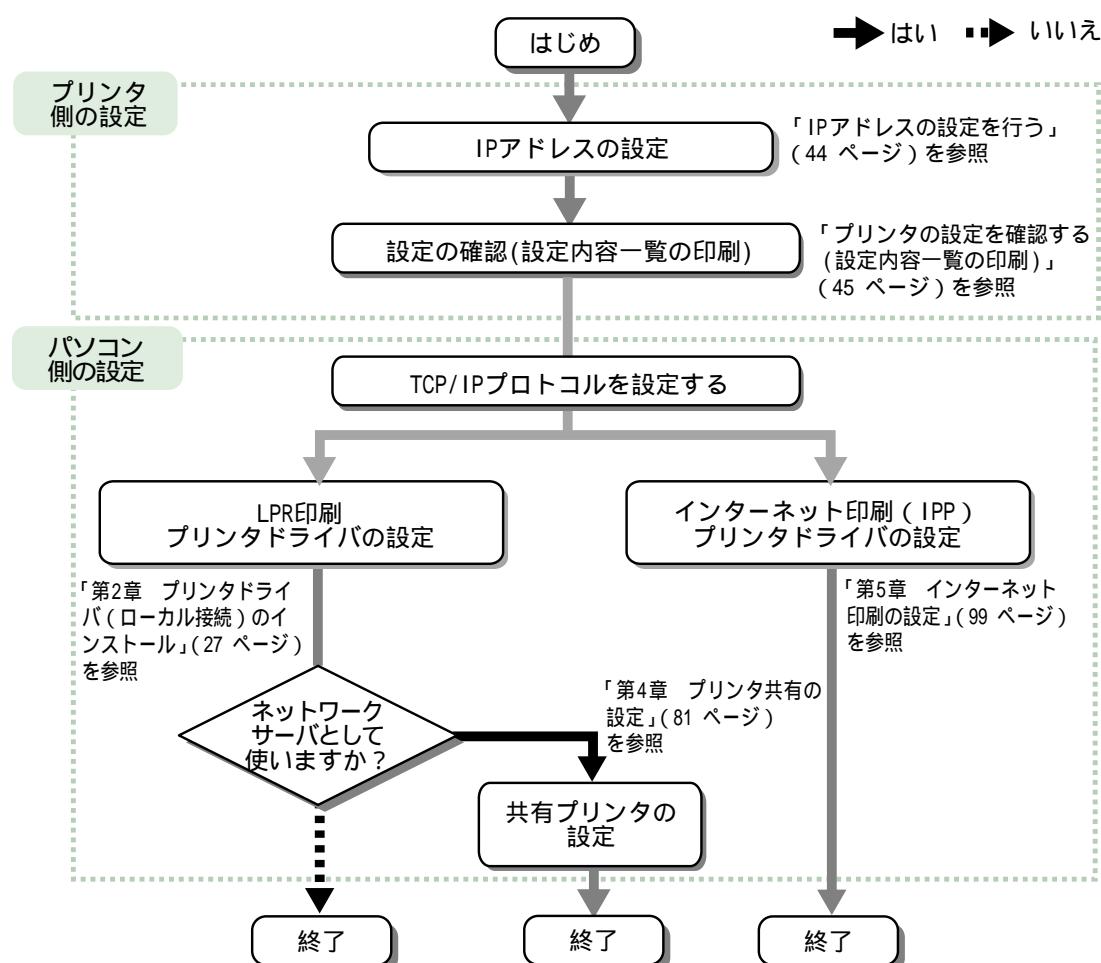
この章では、ネットワークソフトウェアのインストール方法や使用方法について説明します。

ネットワーク環境で使用する .....	42
プリンタ側の設定を行う .....	43
IPアドレスの設定を行う .....	44
プリンタの設定を確認する(設定内容一覧の印刷) .....	45
パソコン側の設定を行う .....	46
TCP/IPプロトコルを設定する .....	46
プリンタポートを設定する .....	56
FUJITSU LPRユーティリティを使用する場合 ..	57
FUJITSU LPRユーティリティを使用しない場合 ..	71
ネットワーク用語の解説 .....	79

# ネットワーク環境で使用する

ここでは、本プリンタをネットワーク環境に直結して使用する方法について説明します。以降の操作は、プリンタとパソコンがネットワークに接続されていることを前提としています。プリンタとパソコンがネットワークに接続されていない場合は、接続してから次の操作を行ってください。

全体のながれは次のようになります。



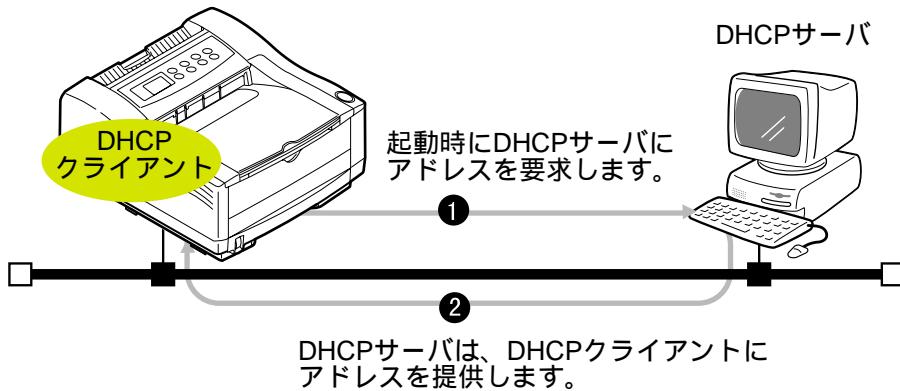
# プリンタ側の設定を行う

ここでは、ネットワーク環境で使用するためのプリンタ側の設定について説明します。

ネットワーク環境で使用するためには、プリンタに次の項目を設定する必要があります。

- ・IPアドレス
- ・サブネットマスク
- ・ゲートウェイアドレス

プリンタを接続するネットワークにDHCPサーバがある場合は、プリンタの電源を入れたときに、これらの項目をDHCPサーバから自動的に取得することもできます。



DHCPサーバがない場合には、管理者が割り当てた固定のアドレスをオペレータパネルで設定します。

## ガイド

- ・DHCPで運用する場合には、IPアドレスが変更されることがあります。このときは、定期的にIPアドレスを確認して使用してください。
- ・DHCP(Dynamic Host Configuration Protocol)は、DHCPサーバからDHCPクライアントにIPアドレスを自動的に割り当てるプロトコルです。プリンタを接続するネットワークにDHCP環境があるかどうかは、ネットワーク管理者に確認してください。

## IP アドレスの設定を行う

ここでは、IP アドレスの設定について説明します。

### DHCP サーバから IP アドレスを取得する場合

ネットワーク上に DHCP サーバが存在し、プリンタ側の「NETWORK」-「IP ADDR.」が〔AUTO〕に設定されている場合は、IP アドレスは自動的に取得されるためプリンタ側の設定は不要です。

工場出荷時の「IP ADDR.」は〔AUTO〕に設定されています。

「IP ADDR.」の設定を変更している場合は、〔AUTO〕に設定し直してください。



設定方法については、「アドレスを設定する」(20 ページ)を参照してください。

### オペレータパネルで IP アドレスを設定する場合

オペレータパネルを使用して、「IP ADDR.」を〔MANUAL〕に設定したあと、IP アドレスやサブネットマスク、ゲートウェイアドレスを設定します。



IP アドレスは、ネットワークシステム全体で管理されています。誤った IP アドレスを設定すると、ネットワーク全体に悪影響を及ぼすことがあります。割り当てる IP アドレスは、ネットワーク管理者に確認してから設定してください。



設定方法については、「アドレスを設定する」(20 ページ)を参照してください。

## プリンタの設定を確認する(設定内容一覧の印刷)

設定内容の一覧を印刷して、設定内容を確認します。



印刷される項目は、プリンタの機種やオプション品の取り付け状態によって異なります。印刷方法については、「設定内容の一覧を印刷する」(17 ページ) を参照してください。

### Network Information

**System Information**

Asset Number  
System Contact  
System Name  
System Location

**General Information**

**設定内容** XL-2200

CU version : F1.10 [ 100.84 S2.2.4f B01.29f 000 0000000 0000000 0000000 F32 ]  
PU version : 00.01.10 [ P102.08 T200.00.04 F00.00.03 ]  
WIN Program version : 01.40  
Total Memory Size : 16 MB Flash Memory : 2 MB [ F32 ]

印刷メニュー		NETWORK MENU	
コピー枚数	1	IP ADDRESS SET	AUTO
手差し印刷	オフ	IP ADDRESS	192.168.100.100
給紙トレイ	トレイ 1	SUBNET MASK	255.255.255.0
自走式切り替え	オフ	DEFAULT ADDRESS	192.168.100.254
トレイ選択範囲	両方向	WEB/PP	ENABLE
用紙サイズチェック	無効	SNMP	ENABLE
解像度	600 DPI	HUB LINK SETTING	AUTO NEGOTIATE
トーナーセーブモード	無効	メモリメニュー	受信バッファサイズ
印刷方向	縦	システム補正メニュー	自動
メディアメニュー		X 補正	0.00 ミリメートル
トレイ 1 用紙サイズ	A4 サイズ	Y 補正	0.00 ミリメートル
トレイ 1 用紙厚	普通紙	メンテナンスマニュー	
トレイ 1 用紙タイプ	普通紙	パワーセーフ機能	有効
トレイ 2 用紙厚	A4 サイズ	セーディング	0
トレイ 2 用紙タイプ	普通紙	印刷速度	0
MP (複合機トレイ) 用紙サイズ	A4 サイズ	寿命メニュー	
MP (複合機トレイ) 用紙厚	普通紙	純正カセット数	12464 枚
MP (複合機トレイ) 用紙庫	普通紙	純正カセットニット	あり
手差し用紙サイズ	A4 サイズ	トナー残量	耗り 100 %
手差し用紙厚	普通紙		
カスクームサイズ設定単位	ミリメートル		
カスクーム用紙厚	210 ミリメートル		
カスクーム用紙庫			
システム構成メニュー			
エミッセージ表示時間	15 分		
エミッセージ音	WIFI ノード		
エラーム解除	ジョブ		
エラーム自動解除	オフ		
トライオート印刷	40 秒		
トライオート足印刷	標準		
ジョムリカバー	オフ		
キヤストモードメニュー			
漢字フォント	自動		
ANSI フォント	自動		
ANSI ゼロ書体	カタカナ		
縦小行刷	一文字		
頭出し位置	等倍		
脚出し位置	8.5 ミリメートル		
脚出しマージン	0 ミリメートル		
縦オフセット	0 ミリメートル		
右マージン	用紙幅		
右側面	0 のみ		
自動改善機能	CR + LF		
セントロメニュー			
双方印刷	有効		
ACK 稼	有効		
ACK / BUSY タイミング	接続		
I-FRAME	ACK IN BUSY		
USB メニュー			
ソフトリセット	無効		

# パソコン側の設定を行う

ネットワーク環境で使用するためのパソコン側の設定について説明します。

## TCP/IPプロトコルを設定する

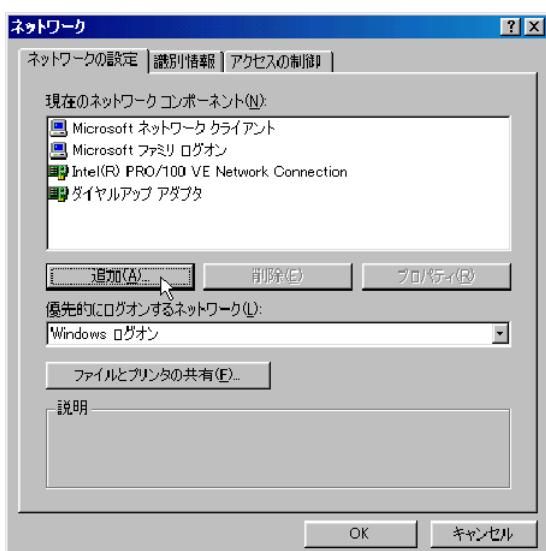
TCP/IPプロトコルの設定方法をOSごとに説明します。ご使用になるOSを確認し、該当するページを参照してください。

- Windows 95/98/Me ... 46ページ
- Windows NT4.0 ..... 50ページ
- Windows 2000 ..... 52ページ
- Windows XP ..... 54ページ

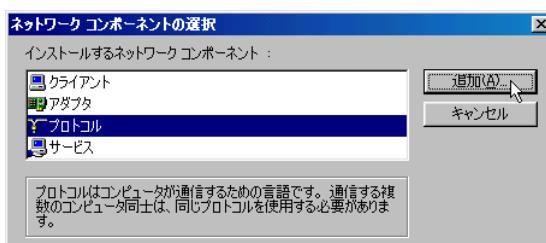
### Windows 95/98/Meの場合

Windows 95/98/Meが動作するパソコンをご使用になっている場合のTCP/IPプロトコルの設定方法について説明します。ここでは、Windows 98を例に説明します。

- 1 [スタート] - [設定] - [コントロールパネル] の順に選択し、[ネットワーク] アイコンをダブルクリックする  
Windows Meで[ネットワーク]が表示されない場合は、[すべてのコントロールパネルのオプションを表示する]をクリックします。  
[現在のネットワークコンポーネント]に[TCP/IP -> \*\*\* (\*\*\*はアダプタ名)]が表示されている場合は、5へ進んでください。



2 [追加] をクリックする



3 [ネットワークコンポーネントの選択] ダイアログで [プロトコル] を選択し、[追加] をクリックする

ご使用になるOSによって、次のダイアログが表示されます。

Windows 95の場合：

[ネットワークコンポーネントの追加]

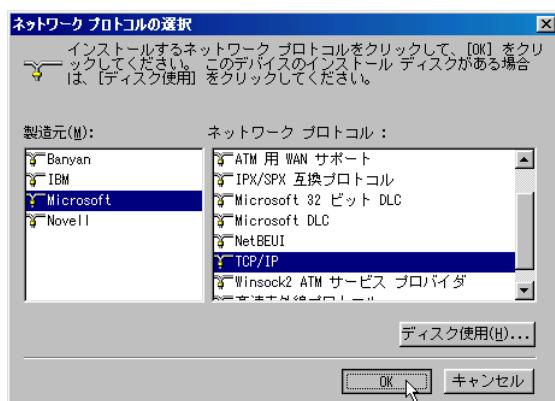
Windows 98の場合：

[ネットワークコンポーネントの選択]

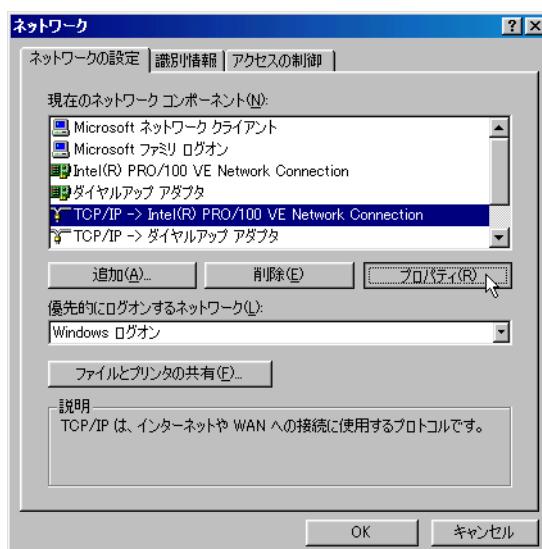
Windows Meの場合：

[ネットワークコンポーネントの種類の選択]

3



4 製造元で [Microsoft] を、ネットワークプロトコルで [TCP/IP] を選択し、[OK] をクリックする



5 [TCP/IP -> \*\*\*] (\*\*\*はアダプタ名)を選択し、[プロパティ]をクリックする



6 ネットワーク上に DHCP サーバが存在する場合は、[IP アドレスを自動的に取得] に設定する。DHCP サーバが存在しない場合は、IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、DNS を設定し、最後に [OK] をクリックする。

### 3 ガイド

IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、DNS について不明な点は、ネットワーク管理者に確認してください。

7 Windows を再起動する

## Windows NT4.0の場合

Windows NT4.0が動作するパソコンをご使用になっている場合のTCP/IPプロトコルの設定方法について説明します。

1 [スタート] - [設定] - [コントロールパネル] の順に選択し、[ネットワーク] アイコンをダブルクリックする

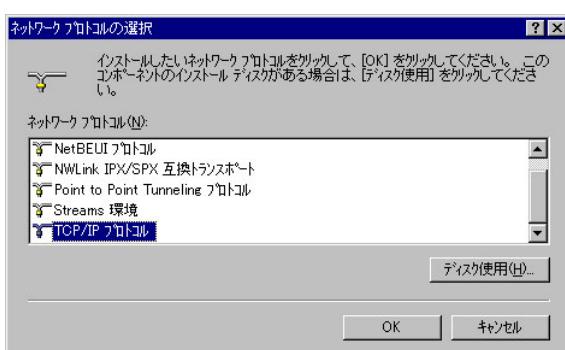
2 [プロトコル] タブをクリックする

ネットワークプロトコル に [TCP/IPプロトコル] が表示されている場合は、5へ進んでください。

3 [追加] をクリックする



4 [TCP/IP プロトコル] を選択し、[OK] をクリックする





5 [TCP/IP プロトコル] を選択し、[プロパティ] をクリックする



6 ネットワーク上に DHCP サーバが存在する場合は、[DHCP サーバーから IP アドレスを取得する] に設定する  
DHCP サーバが存在しない場合は、IP アドレス、サブネットマスク、デフォルト ゲートウェイ、DNS を設定し、最後に [OK] をクリックする

### ガイド

デフォルトゲートウェイや DNS サーバを使用しない場合は、設定する必要はありません。IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、DNS について不明な点は、ネットワーク管理者に確認してください。

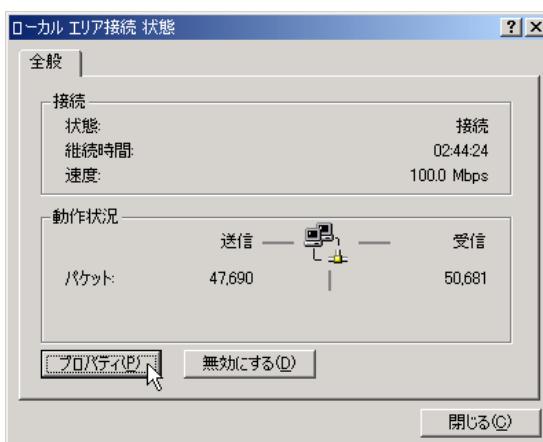
7 Windows を再起動する

## Windows 2000の場合

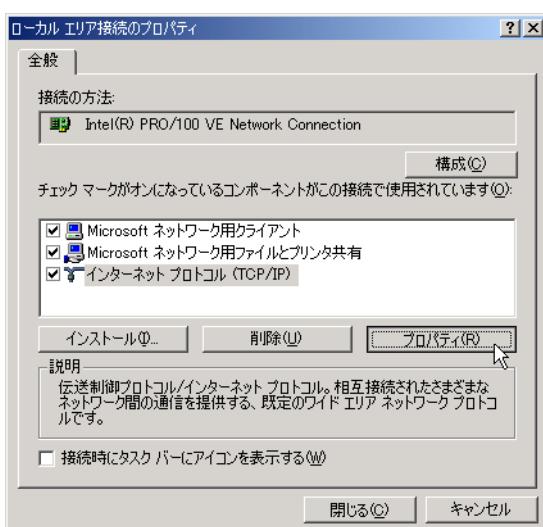
Windows 2000が動作するパソコンをご使用になっている場合のTCP/IPプロトコルの設定方法について説明します。

1 [スタート] - [設定] - [ネットワークとダイアルアップ接続] の順にクリックする

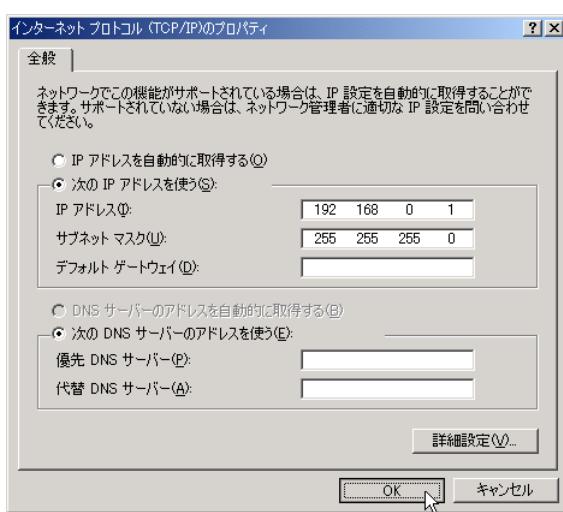
2 [ローカルエリア接続] をダブルクリックする



3 [プロパティ] をクリックする



4 [インターネットプロトコル (TCP/IP)] を選択し、[プロパティ] をクリックする



5 ネットワーク上に DHCP サーバが存在する場合は、[IPアドレスを自動的に取得する] に設定する DHCP サーバが存在しない場合は、IPアドレス、サブネットマスク、デフォルト ゲートウェイ、DNS を設定し、最後に[OK]をクリックする

3

• ガイド

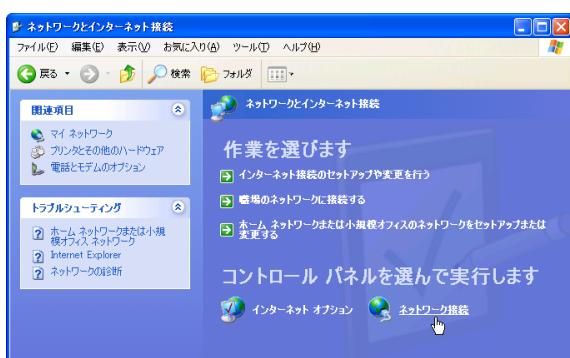
デフォルトゲートウェイや DNS サーバを使用しない場合は、設定する必要はありません。IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、DNS サーバについて不明な点はネットワーク管理者に確認してください。

6 [ローカルエリア接続]を閉じる

## Windows XPの場合

Windows XPが動作するパソコンをご使用になっている場合のTCP/IPプロトコルの設定方法について説明します。

- 1 [スタート] - [コントロールパネル] の順に選択し、[ネットワークとインターネット接続] をクリックする



- 2 [コントロールパネルを選んで実行します] の [ネットワーク接続] をクリックする



- 3 [ローカルエリア接続] をダブルクリックし、[プロパティ] をクリックする

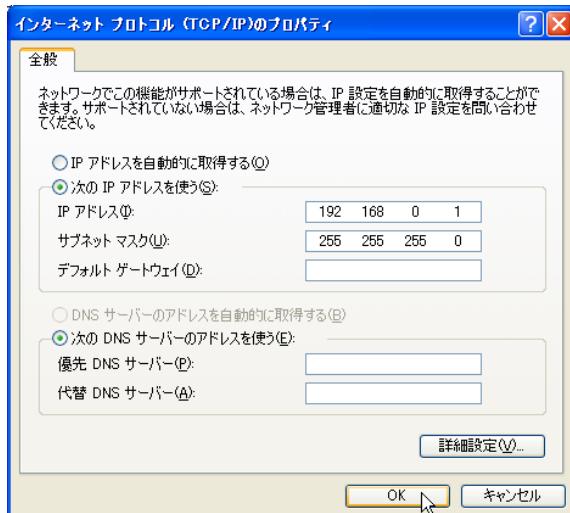
4 [インターネットプロトコル (TCP/IP)] を選択し、[プロパティ] をクリックする



3

5 ネットワーク上に DHCP サーバが存在する場合は、[IP アドレスを自動的に取得する] に設定する  
DHCP サーバが存在しない場合は、IP アドレス、サブネットマスク、デフォルト ゲートウェイ、DNS を設定し、最後に [OK] をクリックする

[ローカルエリア接続] を閉じます。



### ● ガイド

デフォルトゲートウェイや DNS サーバを使用しない場合は、設定する必要はありません。  
IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、DNS サーバについて不明な点はネットワーク管理者に確認してください。

## プリンタポートを設定する

サーバ等を経由しないで直接プリンタにネットワーク印刷する場合、プリンタポートの設定方法にはFUJITSU LPRユーティリティを使用する場合と使用しない場合とがあります。該当するページを参照してください。

- FUJITSU LPRユーティリティを使用する場合（通常の場合）.... 57ページ
- FUJITSU LPRユーティリティを使用しない場合 ..... 71ページ



### ガイド

- FUJITSU LPRユーティリティを使用する場合は、Windows 95/98/Me/NT4.0/2000/XPにてプリンタポートの設定ができます。  
FUJITSU LPRユーティリティを使用しない場合は、OSのサービスを組み込むことでWindows NT4.0/2000/XPにてプリンタポートの設定ができます。
- FUJITSU LPRユーティリティをインストールされた場合には、プリンタポートの設定以外に下記の機能を使用できます。
  - 印刷データファイルをプリンタに送信することができます。（60ページ）
  - 印刷ジョブの表示、削除、他のプリンタへの転送ができます。（61ページ）
  - プリンタのステータスが表示できます。（62ページ）
  - IPアドレスの自動再設定ができます。（68ページ）

## FUJITSU LPRユーティリティを使用する場合

LPR印刷を行うには、FUJITSU LPRユーティリティを使用します。ここでは、FUJITSU LPRユーティリティのインストール方法、機能、アンインストール方法について説明します。

### FUJITSU LPRユーティリティをインストールする

FUJITSU LPRユーティリティをインストールし、プリンタポートを設定することによりLPR印刷ができます。次の手順にしたがって、FUJITSU LPRユーティリティのインストールおよび、プリンタポートを設定してください。

3

#### 1 XL-2200 を通常使うローカルプリンタとしてプリンタドライバを設定する



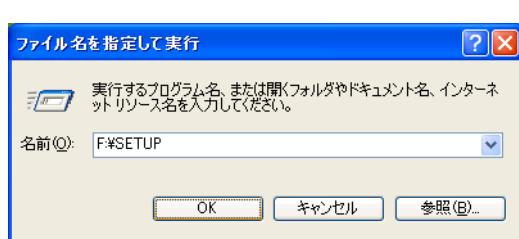
プリンタドライバのインストール方法は「第2章 プリンタドライバ(ローカル接続)のインストール」(27 ページ)を参照してください。



プリンタの名称を変更する場合には、手順 2 の前に変更を完了してください。FUJITSU LPR ユーティリティの設定後にプリンタの名称を変更した場合は、名称を変更したプリンタから印刷が行えません。

#### 2 添付のプリンタソフトウェアCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブにセットする

#### 3 [スタート] - [ファイル名を指定して実行] の順に選択する



#### 4 名前に CD-ROM ドライブ名と「SETUP」を入力し、[OK] をクリックする (CD-ROM ドライブが F の場合、「F:\\$SETUP」と入力してください。)

- 5 [FUJITSU LPRユーティリティ] をクリックする
  - 6 セットアッププログラムが起動したら、[次へ] をクリックする
  - 7 製品ライセンス契約の内容を確認し、[はい] をクリックする
  - 8 インストール先とスプール先のフォルダを確認し、[次へ] をクリックする
  - 9 [スタートアップに登録する] にチェックが入っていることを確認し、[次へ] をクリックする
  - 10 プログラムフォルダ名を確認し、[次へ] をクリックする
  - 11 [完了] をクリックする  
FUJITSU LPRユーティリティが起動します。
  - 12 [リモートプリント] メニューの [プリンタの追加] を選択する
  - 13 [プリンタ] でXL-2200を選択し、[IPアドレス] にプリンタのIPアドレスを入力する
-  **ガイド** 「検索」をクリックして、ネットワーク上のプリンタを選択することもできます。
- 14 [詳細設定] をクリックする
  - 15 LPRバイトカウントを有効にする にチェックを付け、[OK] をクリックする
  - 16 さらに [OK] をクリックする  
メインウィンドウにXL-2200が追加されます。

これで設定は完了です。

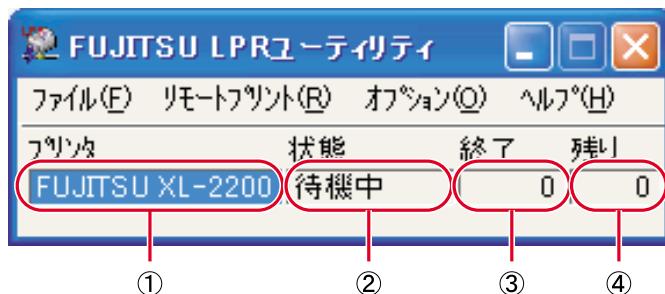
FUJITSU LPRユーティリティを起動した状態で、アプリケーションから印刷します。

## FUJITSU LPRユーティリティの機能

FUJITSU LPRユーティリティの機能について説明します。

### ▶ メインウィンドウ

メインウィンドウでは、FUJITSU LPRユーティリティのステータスを表示できます。



プリンタ	登録されているプリンタ名を表示する。
状態	FUJITSU LPRユーティリティのプリンタポートの状態を表示する。
状態	内容
待機中	プリンタポートが待機中の状態
接続中	プリンタに接続を試みている状態
送信中 - ***%	プリンタにデータを送信している状態 %表示は送信済みの割合
停止中	〔リモートプリント〕メニューで一時停止された、もしくはエラーが発生して送信を停止している状態
問合せ中	プリンタのステータスの問合せをしている状態
未接続	〔スタート〕-〔設定〕-〔プリンタ〕(Windows XPでは、〔プリンタとFAX〕) フォルダからプリンタが削除された、もしくは、プリンタのIPアドレスが正しく設定されていない状態 印刷できない状態
終了	送信が終了したジョブ数を表示する。
残り	送信が終了していないジョブ数を表示する。

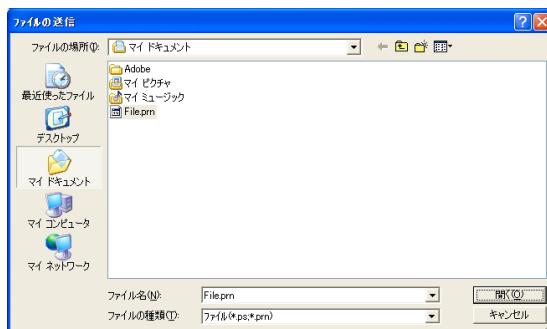
## ▷ ファイルのダウンロード

印刷データファイルをプリンタに送信することができます。

### 1 プリンタを選択する



### 2 [リモートプリント]メニューの[ダウンロード]を選択する



### 3 ダウンロードするファイルを選択し、[開く]をクリックする ファイルがダウンロードされ、印刷が開始されます。



XL-2200以外の印刷データファイルをファイルのダウンロードにて印刷はできません。他のプリンタの印刷データファイルを選択し、[開く]をクリックすると、プリンタ本体の故障の原因となります。

## ▷ ジョブの表示、削除、転送

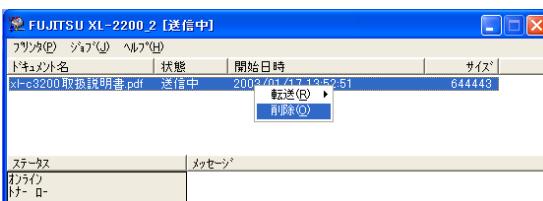
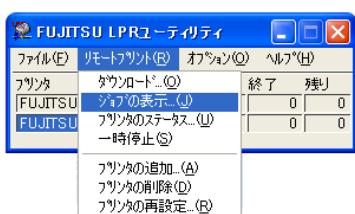
印刷ジョブを表示したり、削除したりすることができます。

また、プリンタが使用中やオフライン、用紙切れ等で印刷ができない場合、印刷ジョブを他のプリンタへ転送することができます。



- 他社製のプリンタへは転送できません。
- 利用しているプリンタの機種名（ここではXL-2200）を選択し、転送してください。

### 1 プリンタを選択する



### 2 [リモートプリント]メニューの[ジョブの表示]を選択する

ジョブが表示されます。

### 3 印刷ジョブを削除する場合は、削除したい印刷ジョブを選択し、[ジョブ]メニューの[削除]を選択する

ジョブが削除されます。

### 4 印刷ジョブを転送する場合は、転送したい印刷ジョブを選択し、[ジョブ]メニューの[転送]をクリックし転送先のプリンタを選択する

転送先のプリンタにジョブが送られます。



- 転送できるプリンタは、あらかじめFUJITSU LPRユーティリティに設定されている必要があります。
- ジョブの自動転送の設定については、「ジョブの自動転送」（67 ページ）を参照してください。

## ▷ プリンタのステータス

プリンタのステータスを表示できます。

### 1 プリンタを選択する



### 2 [リモートプリント]メニューの[プリンタのステータス]を選択する



プリンタのステータスが表示されます。



[ジョブ表示]ダイアログの[ステータス]でも確認できます。

## ▷ 一時停止

印刷データの送信を停止したり、停止状態を解除することができます。

### 1 プリンタを選択する



### 2 [リモートプリント]メニューの[一時停止]を選択する

状態欄は「停止中」になり、メニューにはチェックがつきます。

一時停止中に選択すると、一時停止状態を解除します。

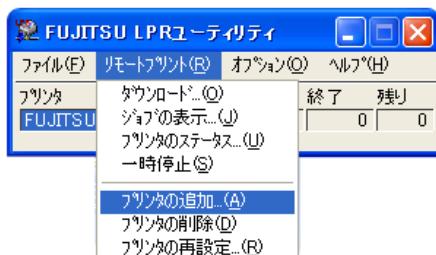
送信中のジョブを一時停止すると、「現在送信中のジョブが再送信になりますがよろしいですか?」というメッセージが表示されます。「はい」をクリックするとジョブの送信をいったん中止します(一時停止解除後再送信)。「いいえ」がクリックされたら一時停止を解除し、送信を続けます。

## ▷ プリンタの追加

印刷先のポートをFUJITSU LPRポートに変更することができます。



すでにFUJITSU LPRユーティリティに登録されているプリンタは追加できません。ポートを変更したい場合は、「プリンタの再設定」(69ページ)を選択してください。また、FUJITSU LPRユーティリティにはプリンタを30台まで登録することができます。



1 [リモートプリント]メニューの[プリンタの追加]を選択する



2 [プリンタ]を選択し、[IPアドレス]にプリンタのIPアドレスを入力し、[詳細設定]をクリックする



[検索]をクリックし、ネットワーク上のプリンタを選択するとIPアドレスを設定できます。



3 LPRポートカウントを有効にするにチェックを付け、[OK]をクリックする

 ガイド

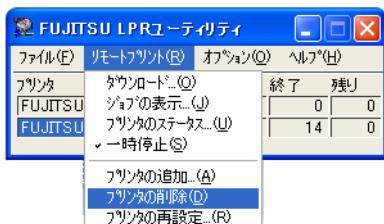
- ・ LPRバイトカウントを有効にする をチェックをしないと、データ数をチェックしない信頼性の低い通信になります。必ずチェックを付けてください。
- ・ [プリンタ]には、[プリンタ](Windows XPの場合は「プリンタとFAX」) フォルダにプリンタドライバが追加されている場合のみ表示されます。Windows XP/2000/NT4.0でネットワークプリンタに設定している場合は表示されません。
- ・ [検索]をクリックしてネットワーク上のプリンタを検索することもできます。



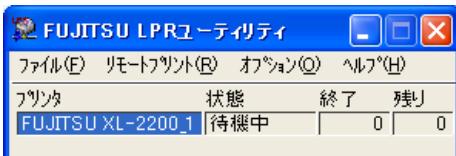
メインウィンドウにプリンタが追加されます。

## ▷ プリンタの削除

## 1 プリンタを選択する



## 2 [リモートプリント]メニューの[プリンタの削除]を選択する

3 削除のメッセージが表示され、「はい」をクリックする  
メインウィンドウからプリンタが削除されます。

## ▷ ジョブの自動転送

プリンタが使用中やオフライン、用紙切れ等で印刷ができない場合、自動的に印刷ジョブを他のプリンタへ転送することができます。



- 他社製のプリンタへは転送できません。
- 利用しているプリンタの機種名（ここではXL-2200）を選択し、転送してください。

### 1 プリンタを選択する



### 2 [リモートプリント]メニューの[プリンタの再設定]を選択する

3



### 3 [詳細設定]ボタンをクリックする



### 4 [ジョブの自動転送を行う]にチェックをつけ、転送先となるプリンタのIPアドレスを設定する



[検索]をクリックして、ネットワーク上のプリンタを検索することもできます。

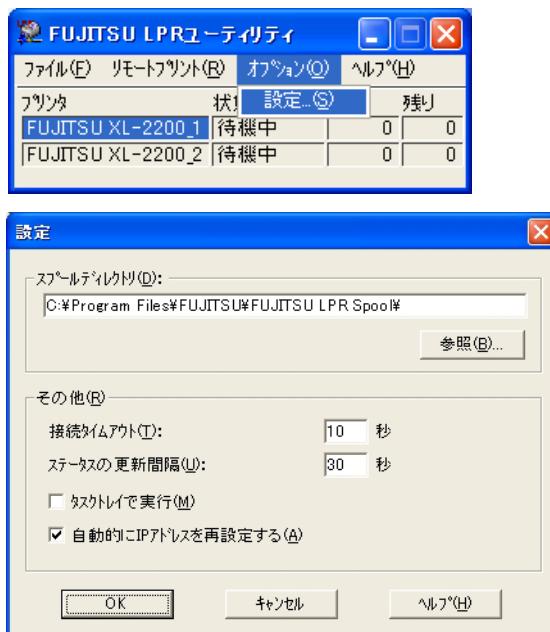
### 5 [OK]をクリックする

## ▷ IPアドレスの自動再設定

DHCPサーバに接続しプリンタの電源を入れるたびにプリンタのIPアドレスが変更になる場合、変更されたIPアドレスを検索し自動的に再設定することができます。



検索対象は、FUJITSU LPRユーティリティの検索範囲設定にしたがいます。



1 [オプション]メニューの  
[設定]を選択する

2 [自動的にIPアドレスを  
再設定する]にチェック  
を付ける

3 [OK]をクリックする

## ▷ プリンタの再設定

すでにFUJITSU LPRユーティリティに登録されているプリンタの設定ができます。



1 プリンタを選択する

2 [リモートプリント]メニューの[プリンタの再設定]を選択する

3 必要な項目を再度設定する

「プリンタの追加」(64 ページ)、  
「ジョブの自動転送」(67 ページ)  
で設定できる項目が再設定の対象となります。

3

## FUJITSU LPRユーティリティをアンインストールする

- 1 タスクバーにあるFUJITSU LPRユーティリティアイコンを右クリックする  
アイコンが表示されていない場合は、手順3へ進んでください。
- 2 表示されるメニューの〔終了〕を選択する
- 3 〔スタート〕 - 〔プログラム〕 - 〔Fujitsu〕 - 〔FUJITSU LPRユーティリティ〕の順に選択し、〔FUJITSU LPRユーティリティの削除〕をクリックする  
(Windows XPでは〔スタート〕 - 〔すべてのプログラム〕 - 〔Fujitsu〕 - 〔FUJITSU LPRユーティリティ〕 - 〔FUJITSU LPRユーティリティの削除〕)
- 4 削除を確認する画面が表示されたら、〔はい〕をクリックする  
FUJITSU LPRユーティリティのアンインストールが行われます。



FUJITSU LPRユーティリティのインストール先のフォルダやスプール先のフォルダに、インストール後に追加したファイルが存在すると、フォルダを削除できません。あらかじめ、余分なファイルを削除してから〔FUJITSU LPRユーティリティの削除〕を行ってください。

## FUJITSU LPRユーティリティを使用しない場合

### ▶ Windows NT4.0の場合

1 [スタート]-[設定]-[コントロール]の順に選択し、[ネットワーク]アイコンをダブルクリックする



2 [サービス]タブをクリックする

3 [追加]をクリックする  
[ネットワークサービス]に [Microsoft TCP/IP印刷] と [簡易TCP/IPサービス] が表示されている場合は、手順7へ進んでください。

3



4 [Microsoft TCP/IP印刷] を選択し、[OK]をクリックする

5 [簡易TCP/IPサービス]を選択する  
手順は、[Microsoft TCP/IP印刷]の場合と同じです。

6 Windowsを再起動する

7

XL-2200を通常使うローカルプリンタとしてプリンタドライバをインストールする



プリンタドライバのインストール方法は、「第2章 プリンタドライバ(ローカル接続)のインストール」(27 ページ)を参照してください。

8

〔スタート〕 - 〔設定〕 - 〔プリンタ〕の順に選択する

9

手順 7 で追加した XL-2200 のアイコンを右クリックし、〔プロパティ〕を選択する

10

〔ポート〕タブをクリックする

11

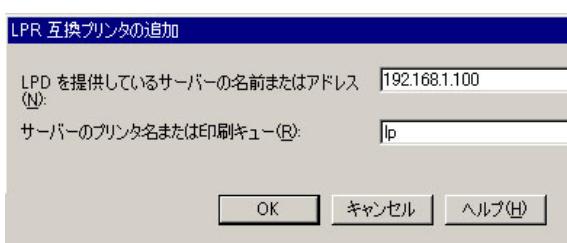
〔ポートの追加〕をクリックする



12 〔LPR Port〕を選択し、  
〔新しいポート〕をクリックする



〔LPR Port〕以外は、選択しないでください。



13 〔プリンタの IP アドレス〕と〔プリンタキューネーム〕を設定する

プリンタキューネームは、任意の名前を付けてください。

14

〔OK〕、〔閉じる〕の順にクリックする  
プロパティを閉じます。

これで設定は完了です。

## ▶ Windows 2000の場合

- 1 XL-2200 を通常使うローカルプリンタとしてプリンタドライバをインストールする



プリンタドライバのインストール方法は、「第2章 プリンタドライバ(ローカル接続)のインストール」(27 ページ)を参照してください。

- 2 [スタート] - [設定] - [プリンタ] の順に選択する
- 3 手順1で追加したXL-2200のアイコンを右クリックし、[プロパティ]を選択する
- 4 [ポート] タブをクリックする
- 5 [ポートの追加] をクリックする



- 6 [Standard TCP/IP Port] を選択し、[新しいポート] をクリックする

▶ お願い

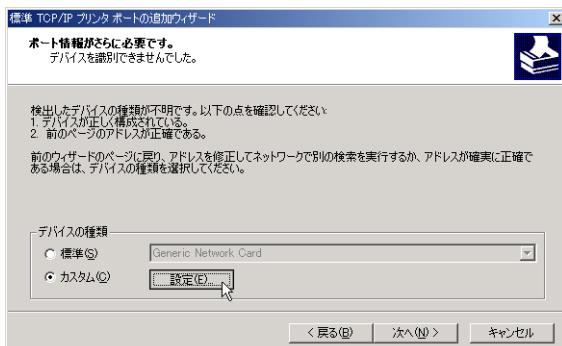
[Standard TCP/IP Port] 以外は、選択しないでください。

- 7 標準TCP/IPプリンタポートの追加ウィザードが表示されたら、[次へ] をクリックする



8 [プリンタ名または IP アドレス]と[ポート名]を設定し、[次へ]をクリックする

[ポート名]は任意の名前を付けてください。デフォルトはIP\_(IP アドレス)です。



9 デバイスの種類で[カスタム]を選択し、[設定]をクリックする



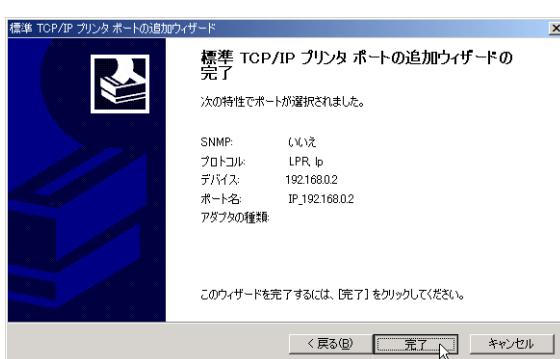
10 [ポートの設定]タブの各項目を設定し、[OK]をクリックする

プロトコルで[LPR]を選択します。

LPR設定の[キューネーム]を入力します。キューネームは任意の名前を付けてください。

[LPR バイトカウントを有効にする]と[SNMPステータスを有効にする]のチェックが外れていることを確認します。

11 [次へ]をクリックする



12 [完了] をクリックする  
プロパティを閉じます。

これで設定は完了です。

## ▶ Windows XPの場合

1 XL-2200 を通常使うローカルプリンタとしてプリンタドライバをインストールする



プリンタドライバのインストール方法は、「第2章 プリンタドライバ(ローカル接続)のインストール」(27 ページ)を参照してください。

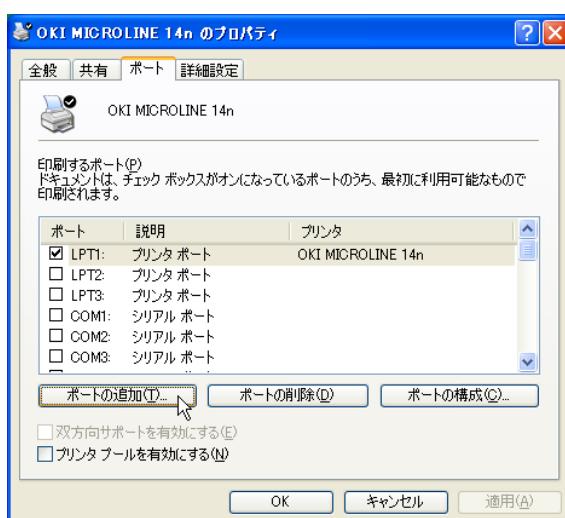
2 [スタート] - [コントロールパネル] の順に選択し、[プリンタとその他のハードウェア] をクリックする



3 [コントロールパネルを選んで実行します] の [プリンタとFAX] をクリックする

4 手順 1 で追加した XL-2200 のアイコンを右クリックし、[プロパティ] を選択する

5 [ポート] タブをクリックする



6 [ポートの追加]をクリックする

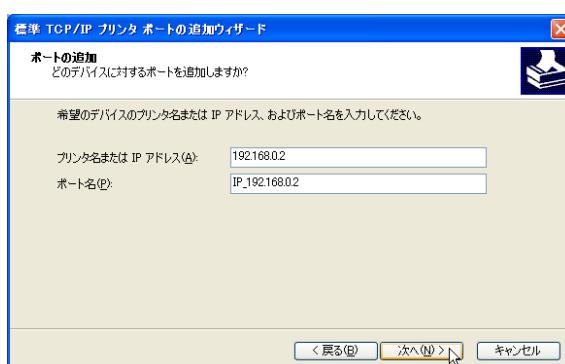


7 [Standard TCP/IP Port]を選択し、[新しいポート]をクリックする

▶お願い

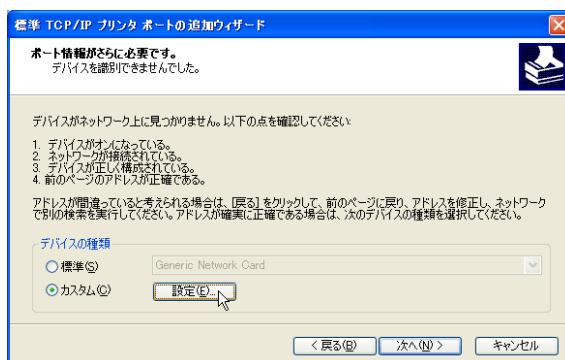
[Standard TCP/IP Port]以外は、選択しないでください。

8 標準 TCP/IP プリンタポートの追加ウィザードが表示されたら、[次へ]をクリックする



9 [プリンタ名または IP アドレス]と[ポート名]を設定し、[次へ]をクリックする

[ポート名]は任意の名前を付けてください。デフォルトはIP\_(IP アドレス)です。



10 デバイスの種類 で [カスタム] を選択し、[設定] をクリックする



11 [ポートの設定] タブの各項目を設定し、[OK] をクリックする

プロトコル で [LPR] を選択します。

LPR 設定 の [キューネーム] を入力します。キューネームは任意の名前を付けてください。

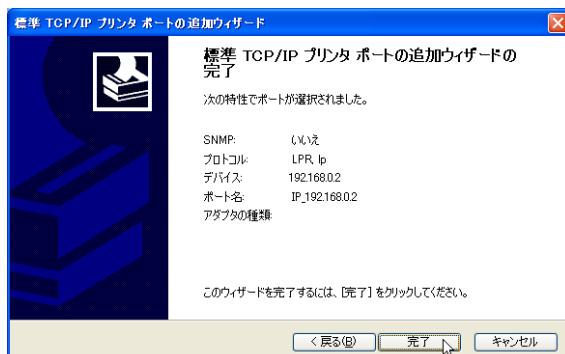
[LPR バイトカウントを有効にする] と [SNMPステータスを有効にする] のチェックが外れていることを確認します。

12 [次へ] をクリックする

13 [完了] をクリックする

プロパティを閉じます。

これで設定は完了です。



## ネットワーク用語の解説

本プリンタをネットワークで利用するときに使用される用語について説明します。

### DHCP ( Dynamic Host Configuration Protocol )

IPアドレスの自動割り付けシステムです。クライアントがTCP/IP通信を行うときに、必要に応じてサーバからIPアドレスをもらい、通信終了後はサーバにIPアドレスを戻します。

### DNS ( Domain Name System )

ホスト名からIPアドレスを取得できるようにするサービスを提供するシステムです。

### HTTP ( HyperText Transfer Protocol )

インターネット上のWebサーバからデータを送受信するために使用される通信プロトコルです。HTML ( HyperText Markup Language ) 文書や、文書に関連付けされた画像や音声ファイルなどをやり取りすることができます。

IETF ( Internet Engineering Task Force ) によってRFCとして規格化されています。XLシリーズのIPP対応機種では、HTTP/1.1をサポートしています。

### IPP ( Internet Printing Protocol )

RFCとして規格化されたインターネット経由での印刷をサポートした印刷制御プロトコルです。ファイル転送のプロトコルHTTP ( HyperText Transfer Protocol ) を使用しており、LANを超えた環境でもアクセスできることが特徴です。

### LPR ( Line Printer Remote )

TCP/IP標準の印刷制御プロトコルです。Windows NT4.0/2000/XPでは、UNIX用印刷サービスまたはTCP/IP印刷サービスとして標準添付されています。

## MIB

SNMPでは、ネットワーク上の各種接続機器の動作状況を監視・管理するための動作状況に関するデータをMIB(Management Information Base : 管理情報ベース)といいます。

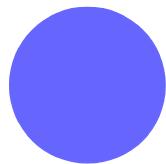
本プリンタはMIB- およびPrinterMIBをサポートしています。

## SNMP

SNMP(Simple Network Management Protocol)とは、ネットワーク上の各種接続機器を管理するためのインターネット標準のプロトコルです。ネットワーク上の各種接続機器がSNMPをサポートしていれば、ワークステーションで動作している汎用のSNMP管理マネージャソフトから、SNMPメッセージを使用することでその接続機器の設定情報であるMIB(Management Information Base : 管理情報ベース)を読み込んだり、逆にそれを設定することで接続機器の集中管理や、接続機器の非同期に起こるエラー発生とその内容を監視することが可能となります。

# 第4章

## プリンタ共有の設定



この章では、プリンタをサーバ上で共有し、他のパソコンから印刷するために必要な設定について説明します。

<b>Windows 95/98/Meのとき</b> .....	<b>82</b>
サーバ側の設定 .....	82
クライアント側の設定 .....	84
<b>Windows NT4.0のとき</b> .....	<b>86</b>
サーバ側の設定 .....	86
クライアント側の設定 .....	89
<b>Windows 2000/XPのとき</b> .....	<b>91</b>
サーバ側の設定 .....	91
クライアント側の設定 .....	95

# Windows 95/98/Meのとき

ここでは、OSがWindows 95/98/Meのパソコンをサーバとして運用する場合と、クライアントとして運用する場合に必要となる設定について説明します。

## サーバ側の設定

サーバとして運用する場合に必要な設定について説明します。

### 準備

ネットワークの設定で、プリンタの共有ができるように設定します。

#### 1 [ネットワーク] プロパティを開く

[スタート]から[設定]-[コントロールパネル]の順に選択し、[ネットワーク]をダブルクリックします。



#### 2 [ファイルとプリンタの共有] をクリックする



#### 3 「プリンタを共有できるようにする」を選択し、[OK] をクリックする

#### 4 [ネットワーク] プロパティの[OK] をクリックして閉じ、OSを再起動する

## 設 定

共有プリンタの設定手順は次のとおりです。

### 1 XL-2200のプリンタドライバ、プリンタポートを設定する



プリンタドライバ、プリンタポートの設定方法は「第3章 ネットワークソフトウェアの使用」(41 ページ)を参照してください。

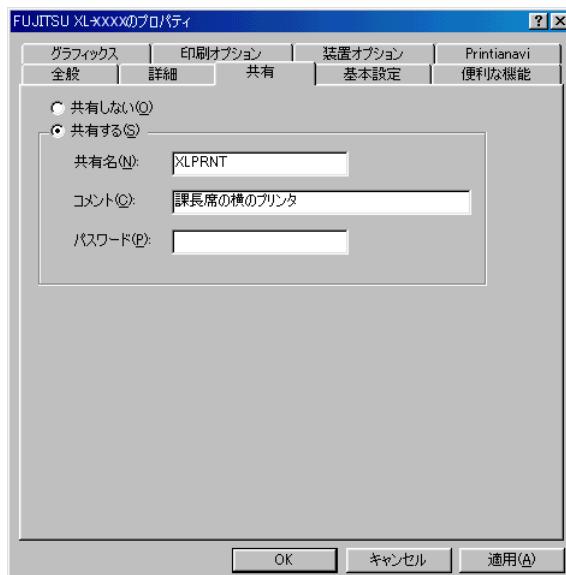
### 2 [スタート] から [設定] - [プリンタ] の順に選択し、共有するプリンタをクリックする

### 3 [ファイル] メニューから [共有] を選択する

### 4 「共有する」を選択し、共有名を入力する

必要に応じてコメント、パスワードを入力してください。

4



共有名 ..... 共有プリンタの名前を入力します。他のユーザがネットワークで情報を見るときに、ここに指定した名前が表示されます。

コメント ..... プリンタの種類や設置場所などの共有プリンタに関するコメントを入力できます。

パスワード ..... 他のユーザがこの共有プリンタに接続するときに使うパスワードを指定します。  
パスワードを使わないときは、空白のままにします。

入力が終わったら、[OK] をクリックしてください。

## クライアント側の設定

Windows 95/98/Meをクライアントとして使用し、共有プリンタに印刷するときの設定について説明します。

Windows 95/98/MeのクライアントからWindows 95/98/Me/NT4.0/2000/XPのサーバ共有プリンタを使用する場合、ネットワークを経由してサーバから簡単にプリンタドライバをインストールできます。

サーバがWindows NT4.0/2000/XPの場合は、代替インストールが必要となります。



代替インストールについては、「サーバ側の設定」Windows 2000/XPのとき(91ページ)、Windows NT4.0のとき(86ページ)を参照

### 準 備

設定の前に、サーバおよびクライアントが以下の条件を満たしていることを確認してください。

サーバ ..... Windows 95/98/Me/NT4.0/2000/XPが動作するパソコンです。あらかじめ共有プリンタの設定を行っておいてください。

クライアント ... Windows 95/98/Meが動作するパソコンです。

## 設 定

### 1 エクスプローラを起動する

〔スタート〕から〔プログラム〕-〔エクスプローラ〕(Windows Meは〔スタート〕から〔プログラム〕-〔アクセサリ〕-〔エクスプローラ〕)の順に選択します。

### 2 サーバで利用可能な共有プリンタを表示する

〔ネットワーク コンピュータ〕(Windows Meは〔マイネットワーク〕)をダブルクリックし、ネットワーク上のコンピュータを表示します。一覧から共有プリンタのサーバをダブルクリックすると、利用可能な共有プリンタが表示されます。

### 3 設定を行う共有プリンタをダブルクリックし、画面の指示にしたがってインストールする

ファイルがコピーされ、〔プリンタ〕フォルダに新しくプリンタが追加されたらプリンタドライバのインストールは完了です。

# Windows NT4.0のとき

ここでは、OSがWindows NT4.0のパソコンをサーバとして運用する場合と、クライアントとして運用する場合に必要となる設定について説明します。



プリンタドライバ、プリンタポートの設定方法は「第3章 ネットワークソフトウェアの使用」(41 ページ)を参照してください。

## サーバ側の設定

サーバとして運用する場合に必要な設定について説明します。

### 設定

共有プリンタの設定手順は次のとおりです。

1 XL-2200のプリンタドライバ、プリンタポートを設定する



プリンタドライバ、プリンタポートの設定方法は「第3章 ネットワークソフトウェアの使用」(41 ページ)を参照してください。

2 Windows NT4.0を起動し、管理者権限でログオンする

3 [スタート]から[設定] - [プリンタ]の順に選択し、共有するプリンタをクリックする

4 [ファイル]メニューから[共有]を選択する

## 5 「共有する」を選択し、共有名を入力する



4

共有名 ..... 共有プリンタの名前を入力します。他のユーザがネットワークで情報を見るときに、ここに指定した名前が表示されます。

ただし、全角7文字以上、半角13文字以上の名前を設定すると、Windows 95/98/Meのパソコン（クライアント）からプリンタのネットワークパスを参照できなくなりますのでご注意ください。

クライアントのOSがWindows 95/98/Meの場合は、引き続き手順6以降の操作で代替ドライバのインストールを行ってください。



代替ドライバをインストールしないときは、[OK] をクリックして設定を終了します。

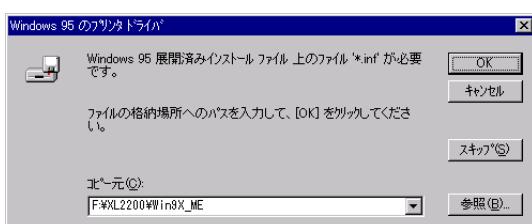


6 「代替ドライバ」リストからクライアントのOSを選択し、[OK]をクリックする

### ガイド

Windows 98/Meの代替ドライバをインストールするときも、「Windows 95」を選択してください。なお、代替ドライバがすでにインストールされている場合は、「(インストール済)」と表示されます。

## 7 添付のプリンタソフトウェアCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブにセットする



8 「コピー元」に「F:\XL2200\Win9X\_ME」と入力する、または[参照]をクリックして「F:\XL2200\Win9X\_ME」を選択する (CD-ROM ドライブがF:のとき)

入力が終わったら[OK]をクリックします。

ファイルのコピーが開始されます。コピーが終了したら、代替ドライバのインストールは終了です。

## クライアント側の設定

Windows NT4.0をクライアントとして使用し、共有プリンタに印刷するときの設定について説明します。

Windows NT4.0のクライアントからWindows NT4.0/2000/XPのサーバー共有プリンタを使用する場合、ネットワークを経由して、サーバーから簡単にプリンタドライバをインストールできます。



サーバがWindows 95/98/Meの場合は、クライアント側のプリンタドライバのインストールはCD-ROMから行う必要があります。

### 準備

クライアント側の設定には、本プリンタ添付のプリンタソフトウェアCD-ROMが必要です。(サーバがWindows 95/98/Meのとき)

また、設定の前に、サーバおよびクライアントが以下の条件を満たしていることを確認してください。

サーバ.....Windows 95/98/Me/NT4.0/2000/XPが動作するパソコンです。あらかじめ共有プリンタの設定を行っておいてください。

クライアント ...Windows NT4.0が動作するパソコンです。

## 設 定

- 1 [スタート]から[プログラム]-[Windows NTエクスプローラ]の順に選択する
- 2 [ネットワークコンピュータ]をクリックし、一覧から共有プリンタのサーバをクリックする
- 3 [プリンタ]をクリックする  
利用可能な共有プリンタが表示されます。
- 4 設定を行う共有プリンタを右クリックし、[インストール]をクリックする  
ファイルがコピーされ、[プリンタ]フォルダに新しくプリンタが追加されたらプリンタドライバのインストールは完了です。

# Windows 2000/XPのとき

ここでは、OSがWindows 2000/XPのパソコンをサーバとして運用する場合と、クライアントとして運用する場合に必要となる設定について説明します。



プリンタドライバ、プリンタポートの設定方法は「第3章 ネットワークソフトウェアの使用」(41 ページ)を参照してください。

## サーバ側の設定

サーバとして運用する場合に必要な設定について説明します。

### 1 Windows 2000/XPを起動し、管理者権限でログオンする



プリンタドライバ、プリンタポートの設定方法は「第3章 ネットワークソフトウェアの使用」(41 ページ)を参照してください。

### 2 [ファイル]メニューから[共有]を選択する

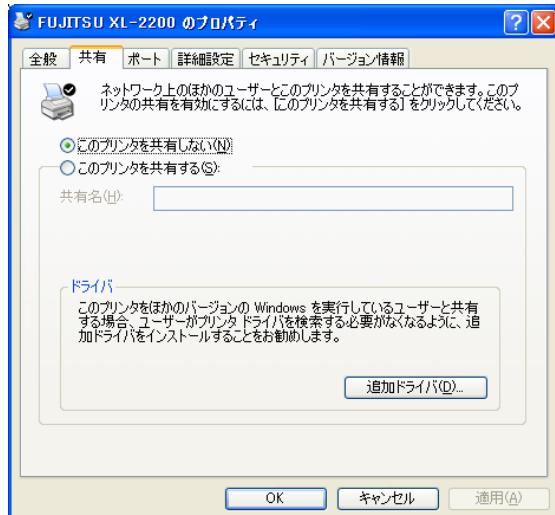
Windows 2000の場合：

[スタート]から[設定] - [プリンタ]の順に選択し、共有するプリンタをクリックする

Windows XPの場合：

[スタート]から[プリンタとFAX]を選択し、共有するプリンタをクリックします。

### 3 「共有する」を選択し、共有名を入力する



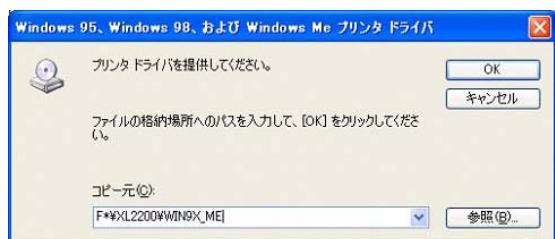
共有名 ..... 共有プリンタの名前を入力します。他のユーザがネットワークで情報を見るときに、ここで指定した名前が表示されます。

ただし、全角7文字以上、半角13文字以上の名前を設定すると、Windows 95/98/Meのパソコン（クライアント）からプリンタのネットワークパスを参照できなくなりますのでご注意ください。

クライアントのOSがWindows 95/98/Me/NT4.0の場合は、引き続き手順4以降の操作で追加ドライバのインストールを行ってください。



- ・追加ドライバをインストールしないときは、[OK]をクリックして設定を終了します。
- ・共有するプリンタドライバの名称と、追加ドライバのリストに表示されているプリンタドライバの名称が異なる場合、追加ドライバをインストールすることはできません。



## 4 「追加ドライバ」をクリックする

## 5 「追加ドライバ」リストからクライアントのOSをチェックし、[OK]をクリックする

(画面はクライアントがWindows 95/98/Me用のとき)

## 6 添付のプリンタソフトウェアCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブにセットして、[OK]をクリックする

## 7 「コピー元」にクライアントのOS用のプリンタドライバのフォルダ名を直接入力する、または[参照]をクリックしてプリンタドライバのフォルダ名を選択し、[開く]をクリックする

入力が終わったら[OK]をクリックします。



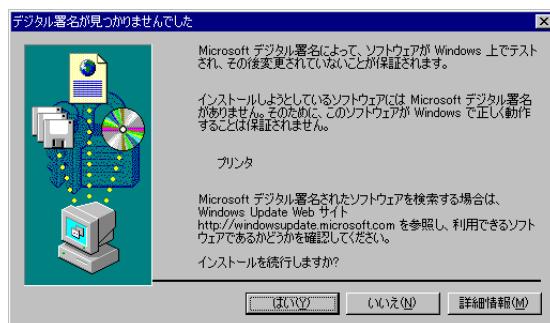
プリンタドライバのフォルダ名は、次のように指定します。  
(CD-ROM ドライブがF:の場合)

クライアントのOS	フォルダ名
Windows 95/98/Me	F:\XL2200\WIN9X_ME
Windows NT4.0	F:\XL2200\WINNT40
Windows 2000	F:\XL2200\WIN2000
Windows XP	F:\XL2200\WINXP

ファイルのコピーが開始されます。コピーが終了したら、追加ドライバのインストールは終了です。

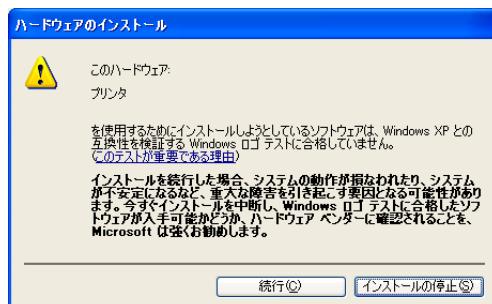
### ▶ Windows 2000 の場合

[デジタル署名が見つかりませんでした] ダイアログが表示されたときは、[はい] を選択してください。



### ▶ Windows XP の場合

[ハードウェアのインストール] ダイアログが表示されたときは、[続行] を選択してください。



## クライアント側の設定

Windows 2000/XPをクライアントとして使用し、共有プリンタに印刷するときの設定について説明します。

Windows 2000/XPのクライアントからWindows 2000/XPのサーバ共有プリンタを使用する場合、ネットワークを経由して、サーバから簡単にプリンタドライバをインストールできます。

### ネットワーク経由による方法

Windows 2000/XPのクライアントからWindows 2000/XPのサーバ共有プリンタを使用する場合、ネットワークインストールによってプリンタドライバのインストールをサーバから簡単に行うことができます。

#### ▶ お願い

サーバがWindows 2000/XP以外の場合は、ネットワークインストールでは正しくインストールできません。「ポート変更による方法」(96 ページ)でインストールしてください。

#### ▶ 準 備

設定の前に、サーバおよびクライアントが以下の条件を満たしていることを確認してください。

サーバ ..... Windows 2000/XPが動作するパソコンです。

あらかじめ共有プリンタの設定を行っておいてください。

クライアント ... Windows 2000/XPが動作するパソコンです。

#### ▶ 設 定

##### 1 Windows 2000の場合 :

〔スタート〕から〔プログラム〕-〔アクセサリ〕-〔エクスプローラ〕の順に選択する

Windows XPの場合 :

〔スタート〕から〔プログラム一覧〕-〔アクセサリ〕-〔エクスプローラ〕の順に選択します。

2 [マイネットワーク]の[ネットワーク全体]を表示し、[コンピュータの検索](Windows XPの場合は[検索])をクリックし、「コンピュータ名」に共有プリンタのサーバ名を入力して検索する

検索結果から共有プリンタのサーバをダブルクリックすると、利用可能な共有プリンタが表示されます。

3 設定を行う共有プリンタをダブルクリックし、画面の指示にしたがってインストールする  
ファイルがコピーされ、[プリンタ]フォルダに新しくプリンタが追加されたらプリンタドライバのインストールは完了です。

## ポート変更による方法

Windows 2000/XPのクライアントからサーバがWindows 2000/XP以外の共有プリンタを使用する場合は、ローカルのプリンタポートを仮に指定してCD-ROMからプリンタドライバのインストールを行ってください。その後、ポートを変更して共有プリンタに接続します。

この際、管理者権限でログオンしてください。

### ▷ 準 備

設定の前に、サーバおよびクライアントが以下の条件を満たしていることを確認してください。

サーバ ..... Windows 95/98/Me/NT4.0が動作するパソコンです。

あらかじめ共有プリンタの設定を行っておいてください。

クライアント ... Windows 2000/XPが動作するパソコンです。

## ▷ 設 定

### 1 プリンタドライバをインストールする



プリンタドライバのインストールについては、「第2章 プリンタドライバ（ローカル接続）のインストール」（27 ページ）を参照

インストール中に印刷先ポートの指定、およびテスト印刷を行うかどうかを尋ねられます。印刷先ポートは仮のポート（ローカルポート：LPT1など）を、テスト印刷は「いいえ」（テスト印刷をしない）を選択します。

#### ▷ お願い

2を行う前にテストページを印刷すると、「応答なし」エラーが表示され印刷ができません。そのときは、「印刷中止」をクリックしてください。

### 2 印刷先のポートを共有プリンタのネットワークパスに変更する

Windows 2000の場合：

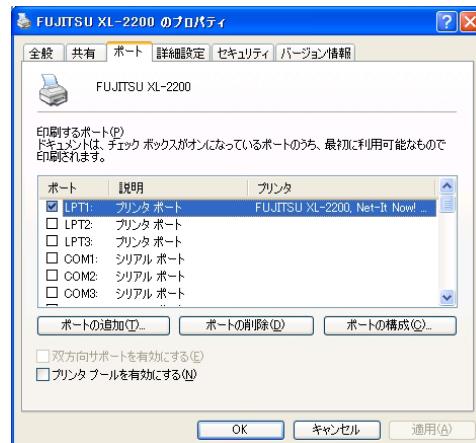
〔スタート〕から〔設定〕〔プリンタ〕の順で選択し、設定を行う  
プリンタを選択する

Windows XPの場合：

〔スタート〕から〔プリンタとFAX〕を選択し、設定を行うプリン  
タを選択する

〔ファイル〕メニューで〔プロパティ〕を選択し、〔ポート〕タブを  
クリックする

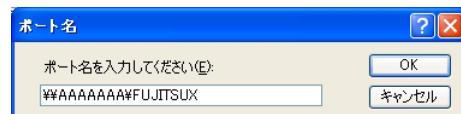
[ポートの追加]をクリックする



「Local Port」を選択し、[新しいポート]をクリックする

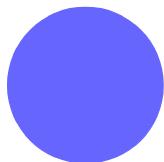


[ポート名]ダイアログに共有プリンタのネットワークパス(「¥¥サーバのネットワークコンピュータ名¥¥プリンタの共有名」)を入力する  
入力が終わったら、[OK]をクリックして設定を終了します。



# 第5章

## インターネット印刷の設定



この章では、IPPを使ってインターネット印刷をするための設定について説明します。

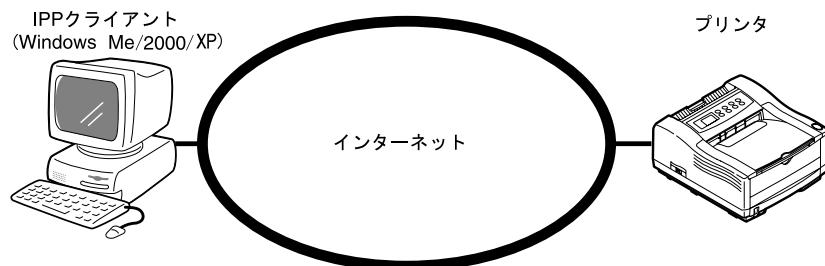
インターネット印刷を利用する .....	100
システム構成について .....	100
設定のながれ .....	101
IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスを設定する ...	101
その他の設定項目について .....	101
印刷先の設定とプリンタドライバのインストールを行う ....	102
プリンタドライバインストール前の設定について ...	102
Windows Meのインターネット印刷について ...	102
インストールを行う .....	103

# インターネット印刷を利用する

IPPを使って、Windows Me/2000/XPからインターネット印刷を利用する場合の設定方法を説明します。

## システム構成について

本プリンタは、IPP ( Internet Printing Protocol ) をサポートしています。Windows 2000/XPは、IPPプリンタに印刷するためのホストソフト ( IPPポートモニタ ) を装備しているので、[ プリンタの追加 ] ウィザードから、IPP対応プリンタを指定できます。また、Windows Meは、IPPポートモニタをインストールすることによりインターネット印刷ができます。IPPを利用すれば、インターネット、またはイントラネットを経由して遠隔地のプリンタに印刷できます。



- ・ トランSPORTプロトコル  
TCP/IP
- ・ 対象OS  
Windows Me  
Windows 2000  
Windows XP

## 設定のながれ

パソコン側で、印刷先の設定とプリンタドライバのインストールを行います。



設定方法については、「印刷先の設定とプリンタドライバのインストールを行う」(102 ページ) を参照してください。

## IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスを設定する

ネットワーク環境によっては、IPアドレスに加えて、サブネットマスクやゲートウェイアドレスの設定が必要な場合があります。ネットワーク管理者にご相談のうえ、必要な項目を設定してください。

アドレスの指定方法には、DHCPサーバから自動的に取得する方法と手動で指定する方法があります。設置環境に合わせて指定してください。



IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスの設定については、「IPアドレスを設定する」(18 ページ) を参照してください。

## その他の設定項目について

設定項目の詳細は、『XL-2200取扱説明書』「第8章 オペレータパネルの操作」の「共通メニュー画面の設定一覧」を参照してください。また、「Printia LASER Internet Service」を使うと、詳細な設定ができます。「第6章 Printia LASER Internet Service」(111 ページ) を参照してください。

# 印刷先の設定とプリンタドライバのインストールを行う

パソコン側で、印刷先の設定とプリンタドライバのインストールを行う手順についてOSごとに説明します。ご使用になるOSを確認し、該当するページを参照してください。

- Windows Me ..... 103ページ
- Windows 2000/XP .... 106ページ

## プリンタドライバインストール前の設定について

クライアントに「インターネットプロトコル (TCP/IP)」がインストールされていることを確認します。インストールされていない場合は、Windows Me/2000/XP添付のマニュアルを参照してインストールしてください。

インターネット印刷をプロキシサーバを経由して利用する場合に、印刷先の設定をすると「プリンタに接続できません」というエラーメッセージが表示されることがあります。この場合は、〔スタート〕 - 〔設定〕 - 〔コントロールパネル〕(Windows XPの場合は、〔スタート〕から〔コントロールパネル〕 - 〔ネットワークとインターネット接続〕)の順にクリックし、〔インターネットオプション〕を開いて、本プリンタのIPアドレスをプロキシサーバを経由しない設定にする必要があります。設定方法については、Windows Me/2000/XP添付のマニュアルを参照してください。

## Windows Meのインターネット印刷について

Windows Meの場合、インターネット印刷を利用するには、IPPポートモニタをインストールする必要があります。

Windows MeのCD-ROMをお持ちの場合：

CDをエクスプローラ等で参照し、¥ADD-ONS¥ipp¥WPNPINS.EXEを実行してください。

ブレインストールモデル等でWindows MeのCD-ROMをお持ちでない場合：エクスプローラ等で、ハードディスク上にあるWPNPINS.EXEを検索し、実行してください。

## インストールを行う

次の手順にしたがって、プリンタドライバをインストールしてください。

### Windows Meの場合

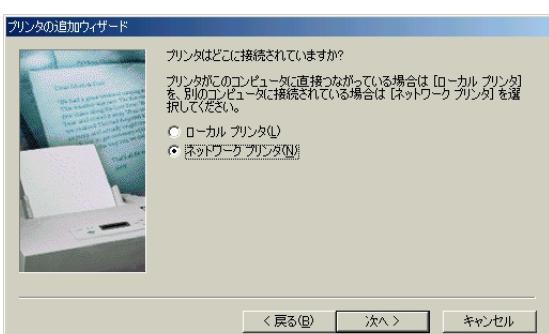
1 [スタート]から[設定]-[プリンタ]の順に選択する  
[プリンタ]ウィンドウが表示されます。



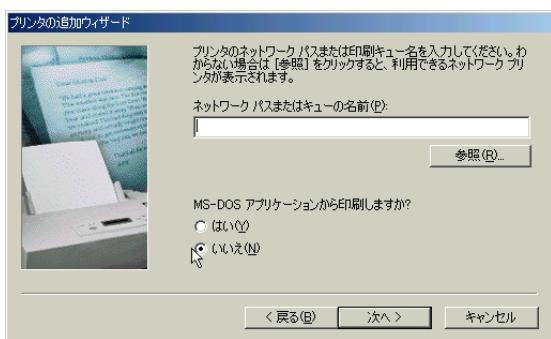
2 [プリンタの追加]を開く  
[プリンタの追加ウィザード]が起動します。



3 [次へ]をクリックする  
プリンタの接続方法を選択する  
画面が表示されます。



4 [ネットワークプリンタ]を選択し、[次へ]をクリックする  
プリンタの検索方法を指定する  
画面が表示されます。



5 <ネットワークパスまたはキューの名前>に以下のURLを入力し、[次へ]をクリックする

[http://\[本プリンタのIPアドレス\]/ipp](http://[本プリンタのIPアドレス]/ipp)



ホスト上でDNS設定がされていて、ホスト名指定が有効であれば、ホスト名を入力することもできます。

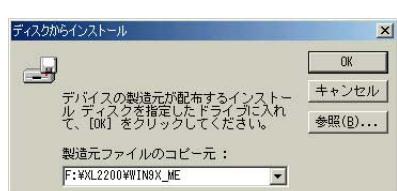
6

添付のプリンタソフトウェアCD-ROMをCD-ROMドライブにセットする



7

[ディスク使用]をクリックする



8

表示されたダイアログで「F:\XL2200\WIN9X\_ME」と入力し、[OK]をクリックする（ここでは、CD-ROMのドライブ名を「F:」として説明しています。）

プリンタを選択する画面が表示されます。



[参照...]をクリックして、「F:\XL2200\WIN9X\_ME」フォルダを指定することもできます。

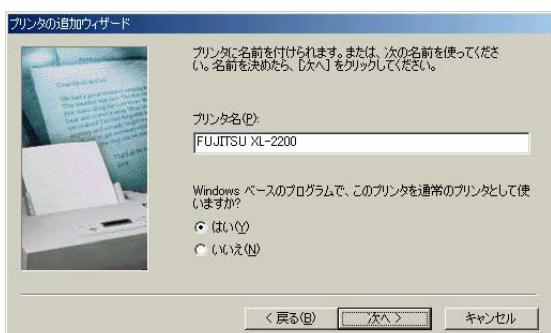


## 9 [FUJITSU XL-2200] を選択し、[次へ] をクリックする

通常使うプリンタを指定する画面が表示されます。



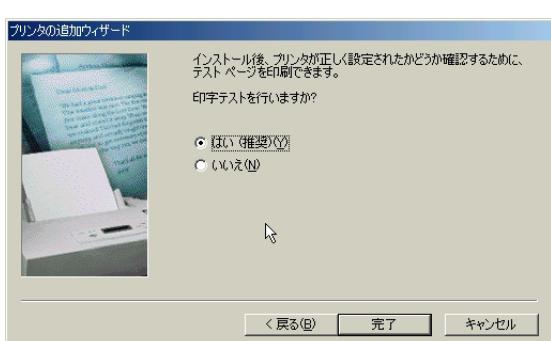
「デジタル署名が見つかりませんでした」というダイアログが表示されますが、[はい] をクリックして、インストールを続けてください。



## 10 プリンタの名前を入力する

5

11 本プリンタを通常使用する場合は[はい]を、使用しない場合は[いいえ]を選択し、[次へ]をクリックする



## 12 インストール後に、テストページを印刷する場合は[はい]を、印刷しない場合は[いいえ]を選択し、[完了]をクリックする

必要なファイルのコピーが開始されます。

コピーが終了すると、インストール完了の画面が表示されます。

## Windows 2000/XPの場合

ここでは、Windows 2000を例に説明します。Windows XPをご使用の場合も同様の手順でインストールを行ってください。



Windows XPをご使用の場合は、インストール前に、「Printia LASER Internet Service」の〔System Name〕をXL-2200等の名称に変更しておくことをお勧めします。

なお、変更していない状態(空白)では、プリンタとFAXフォルダのプリンタ名称が〔unknown〕と表示されます。この場合でも印刷は正常に行えますので安心してご使用ください。



「第6章 Printia LASER Internet Service」「System Nameの設定」(141 ページ)に記載されている「一般設定」を参照してください。

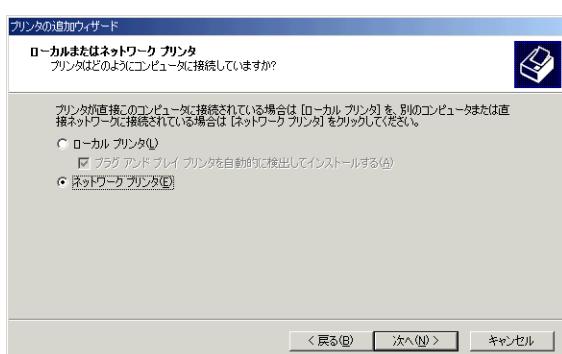
1 [スタート]から[設定]-[プリンタ]の順にクリックする  
[プリンタ]ダイアログが表示されます。



2 [プリンタの追加]を開く

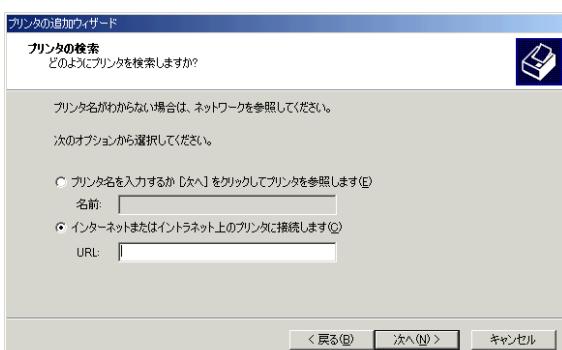


3 [次へ]をクリックする  
プリンタの接続方法を選択する  
画面が表示されます。



## 4 [ネットワークプリンタ] を選択し、[次へ] をクリックする

プリンタの検索方法を指定する画面が表示されます。



## 5 [インターネットまたはイントラネット上のプリンタに接続します] を選択し、[URL] に以下の URL を入力して、[次へ] をクリックする

5

[http://\[本プリンタのIPアドレス\]/ipp](http://[本プリンタのIPアドレス]/ipp)  
[プリンタの接続] ダイアログが表示されます。



ホスト上でDNS設定がされていて、ホスト名指定が有効であれば、ホスト名を入力することもできます。



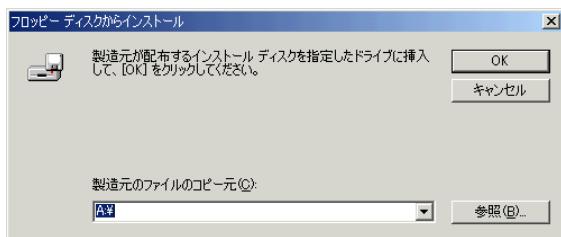
## 6 [OK] をクリックする

プリンタの製造元とモデルを選択する画面が表示されます。

## 7 添付のプリンタソフトウェア CD-ROM を、CD-ROM ドライブにセットする



8 [ディスク使用]をクリックする

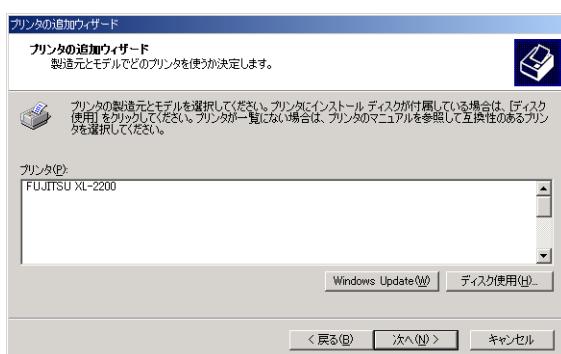


9 表示されたダイアログで「F:\XL2200\WIN2000」と入力し、[OK]をクリックする（ここでは、CD-ROMのドライブ名を「F」として説明しています。）

プリントを選択する画面が表示されます。



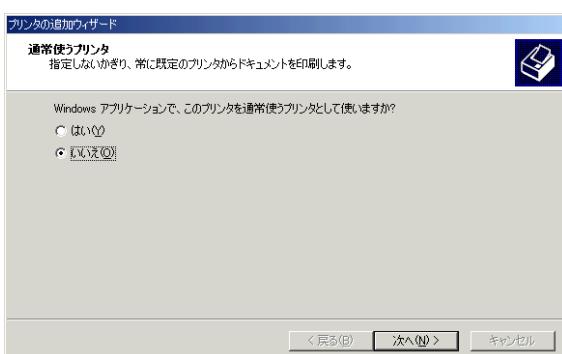
[参照...]をクリックして、「F:\XL2200\WIN2000」フォルダを指定することもできます。



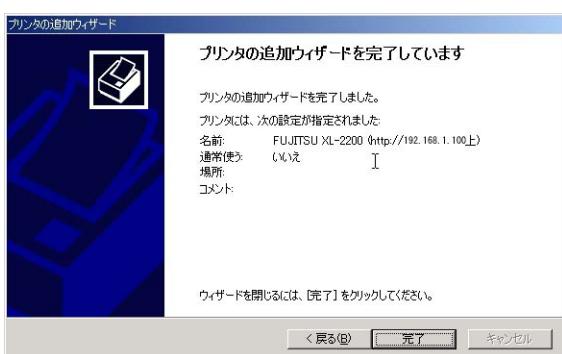
10 [FUJITSU XL-2200]を選択し、[OK]をクリックする



「デジタル署名が見つかりませんでした」というダイアログが表示されますが、[はい]をクリックすると、必要なファイルのコピーを開始します。



11 本プリンタを通常使用する場合は〔はい〕を、使用しない場合は〔いいえ〕を選択して、〔次へ〕をクリックする

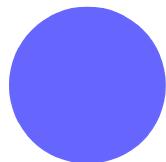


12 〔完了〕をクリックする  
インストールが完了します。



# 第6章

## Printia LASER Internet Service



この章では、Printia LASER Internet Service の使用環境や利用方法について説明します。

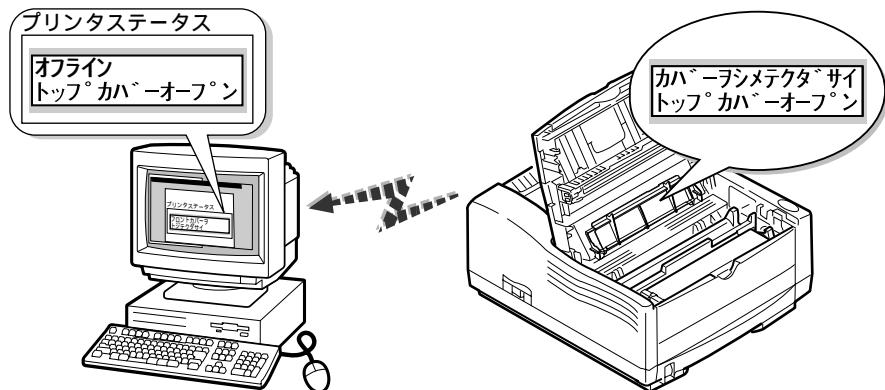
<b>Printia LASER Internet Serviceの概要</b> .....	112
Printia LASER Internet Serviceの画面構成.....	114
<b>Printia LASER Internet Serviceを利用する</b> ...	115
ブラウザを設定する .....	115
プロキシサーバを設定する .....	117
プリンタ側の設定を行う .....	119
Printia LASER Internet Serviceについて設定できる項目 ...	119
Printia LASER Internet Serviceを使用する....	121
Printia LASER Internet Serviceの機能一覧....	123
設定を変更する .....	140

# Printia LASER Internet Serviceの概要

本プリンタをTCP/IP環境に設置した場合、ネットワーク上のコンピュータのWWWブラウザを使用して、プリンタの状態を確認したり、プリンタの各種設定を行ったりすることができます。

この機能を、「Printia LASER Internet Service(プリンティアレーザインターネットサービス)」と呼びます。

Printia LASER Internet Serviceでは、プリンタにセットされている消耗品などの残量も確認できます。



プリンタの設定では、オペレータパネルで設定する項目のうちシステム設定、各ネットワークのポート設定などに関する項目を本サービスの設定画面で設定できます。

Printia LASER Internet Serviceを使用できる環境、OS、およびブラウザは、以下のとおりです。

## 使用できる環境について

Printia LASER Internet Serviceを利用するには、TCP/IPプロトコルを使用したネットワーク環境が必要です。

## OSについて

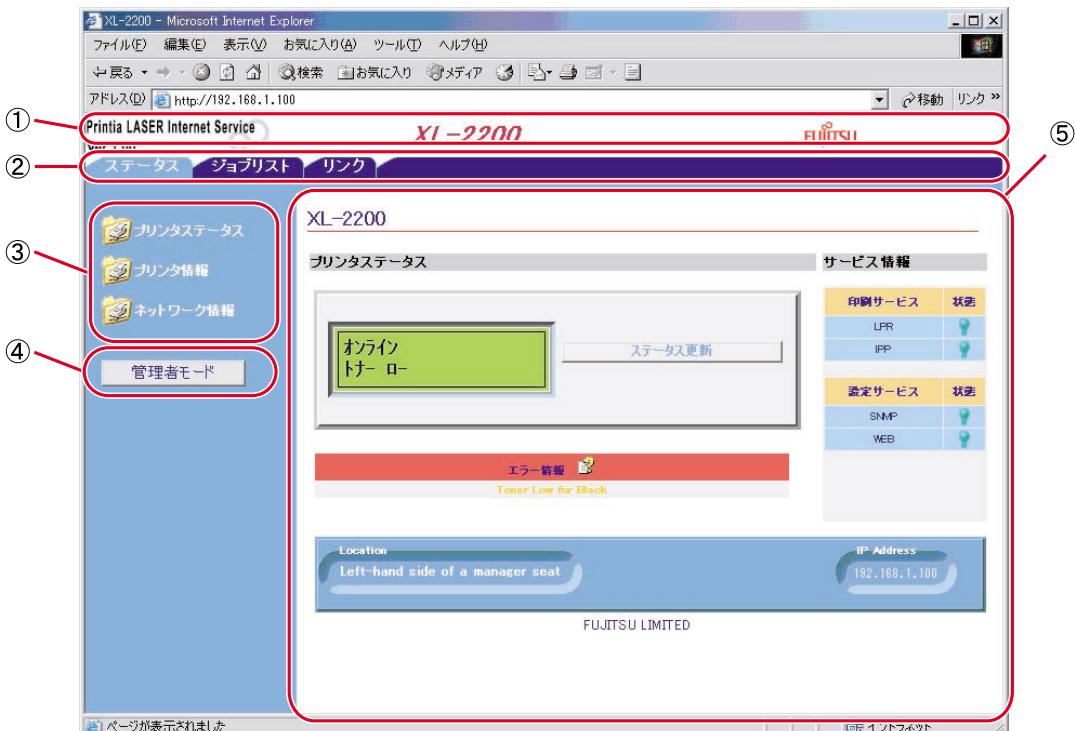
- Windows 95
- Windows 98
- Windows Me
- Windows NT4.0
- Windows 2000
- Windows XP

## ブラウザについて

- Netscape<sup>®</sup> Communicator 4.0以上
- Microsoft<sup>®</sup> Internet Explorer 4.0以上

## Printia LASER Internet Serviceの画面構成

Printia LASER Internet Serviceの画面構成について説明します。



- |        |  |
|--------|--|
| タイトル   | タイトルロゴとプリンタモデル名を表示します。                       |
| カテゴリタブ | 各カテゴリに移動するタブ(リンク)を表示します。                     |
| メニュー   | カテゴリ内のリンク先メニューを表示します。                        |
| 管理者モード | 管理者用のボタンをクリックし、ユーザ名とパスワードを入力すると管理者モードを表示します。 |
| 情報     | [カテゴリ]タブで選択したトップメニューの情報やメニューで選択した情報を表示します。   |



一部の項目では、ヘルプを参照できます。

をクリックすると詳しい説明を表示します。



『XL-2200取扱説明書』「オンラインヘルプを活用する」を参照

# Printia LASER Internet Serviceを利用する

Printia LASER Internet Serviceを利用する場合の設定と機能について説明します。

## ブラウザを設定する

本サービスを利用する前に、使用するWebブラウザで以下の設定を確認してください。

### Netscape Communicatorでの確認

ここではバージョン4.75で設定する場合を例に説明します。

- 1 [編集]メニューの[設定...]をクリックする
- 2 [カテゴリ]で[詳細]をクリックする
- 3 [JavaScriptを有効にする]がオンになっていることを確認する
- 4 [カテゴリ]の[詳細]の左にある[+]を選択する
- 5 [詳細]の下の[キャッシュ]を選択する
- 6 [キャッシュしたドキュメントとネットワーク上のドキュメントとの比較]で、[セッション毎]または[毎回]を選択する
- 7 [OK]をクリックする  
ダイアログを閉じます。

## Internet Explorerでの確認

ここではバージョン5.50で設定する場合を例に説明します。

- 1 [ツール] メニューから [インターネット オプション...] を選択する  
バージョン4.xでは、[表示] メニューから [インターネット オプション...] を選択します。
- 2 [全般] タブにある、[インターネット一時ファイル] の [設定...] をクリックする
- 3 [設定] ダイアログの [保存しているページの新しいバージョンの確認:] で、[ページを表示するごとに確認する] または [Internet Explorerを起動するごとに確認する] を選択し、[OK] をクリックする
- 4 [セキュリティ] タブをクリックする
- 5 [インターネットゾーン] の [このゾーンのセキュリティレベル] で [レベルのカスタマイズ] をクリックする
- 6 [Java] の [Javaの許可] で [Javaを無効にする] 以外に設定し、[OK] をクリックする
- 7 [インターネットオプション] ダイアログの [OK] をクリックする  
ダイアログを閉じます。



Internet Explorerのバージョン5では、パラメータとして不正な値が入力されると、[ページが見つかりません] というメッセージが表示されることがあります。その場合は、次のように設定してください。

Internet Explorerの [ツール] メニューの [インターネットオプション] を選択します。

[詳細設定] タブの [ブラウズ] の [HTTPエラーメッセージを簡易表示する] がオンの場合は、オフにします。

## プロキシサーバを設定する

Printia LASER Internet Serviceを利用する場合のプロキシサーバの設定について説明します。

Printia LASER Internet Serviceを使用する場合には、プロキシサーバを経由しないで直接接続することをお勧めします。

### Netscape Communicatorの場合

ここでは、バージョン4.75で設定する場合を例に説明します。

- 1 [編集]メニューの[設定]をクリックする  
[設定]ダイアログが表示されます。
- 2 [カテゴリ]のツリーの[詳細]の左にあるマークをクリックする  
[詳細]の下に[プロキシ]が表示されます。
- 3 [プロキシ]をクリックする  
右側のフレームに[プロキシ]ページが表示されます。



バージョン6.0/6.1/6.2/7.0で設定されている場合は、手順5の「ガイド」に進んでください。

- 4 [手動でプロキシを設定する]をオンにし、[表示]をクリックする
- 5 [次ではじまるドメインにはプロキシサーバを使用しない]にプリンタのIPアドレスを入力し、[OK]をクリックする  
  

 バージョン6.0/6.1/6.2/7.0の場合は、[プロキシなし]にプリンタのIPアドレスを入力し、[OK]をクリックしてください。
- 6 [設定]ダイアログで、[OK]をクリックする

## Internet Explorerの場合

ここでは、バージョン5.50で設定する場合を例に説明します。

- 1 [ツール] メニューの [インターネットオプション] をクリックする  
[インターネットオプション] ダイアログが表示されます。
- 2 [接続] タブをクリックする
- 3 [ローカルエリアネットワーク (LAN) の設定] の [LANの設定...] をクリックする
- 4 [プロキシサーバ] の [プロキシサーバを使用する] を選択し、[詳細] をクリックする
- 5 [次で始まるアドレスにはプロキシを使用しない] にプリンタのIPアドレスを入力し、[OK] をクリックする
- 6 [OK] をクリックして順にダイアログを閉じ、最後に [インターネットオプション] ダイアログの [OK] をクリックする



プロキシサーバを経由する場合、ブラウザでプリンタのIPアドレスを指定すると応答が遅くなり、画面が表示されない場合があります。その時は、ブラウザ側でプリンタのIPアドレスをプロキシサーバを使用しない経由しない設定にします。設定方法については、お使いのブラウザの説明書をごらんください。

## プリンタ側の設定を行う

Printia LASER Internet Serviceを使用する場合は、プリンタ本体にIPアドレスが設定されている必要があります。



IPアドレスの設定の方法は、「IPアドレスを設定する」(18 ページ)を参照してください。

## Printia LASER Internet Serviceについて設定できる項目

本体側でPrintia LASER Internet Serviceを起動したあと、Printia LASER Internet Serviceに関する以下の項目を設定できます。



「設定を変更する」(140 ページ)を参照

設定できる項目	工場出荷時
Refreshing Interval (ステータスウィンドウの更新間隔)	1分
パワーセーブに関する設定	有効
パワーセーブ移行時間	15分
エラー自動解除	オフ
トナー不足印刷継続	継続
ジャムリカバー	オン
タイムアウト印刷	20秒
System Contact	設定なし
System Name	設定なし
System Location	設定なし
プリンタ管理番号	設定なし
IPアドレスの取得方法	自動取得
IPアドレス	設定なし
サブネットマスク	設定なし
ゲートウェイアドレス	設定なし
DNSサーバアドレス(プライマリ)	設定なし
DNSサーバアドレス(セカンダリ)	設定なし
SMTP送信	無効
SMTPサーバ	設定なし
プリンタ Email アドレス	設定なし
返信先Emailアドレス	設定なし

設定できる項目	工場出荷時
SMTPポート番号	25
Email送信先設定	設定なし
Email警告送信設定	設定なし
Email署名	設定なし
プリンタTrapコミュニティ名設定	Public
プリンタTrapアドレス設定	なし
プリンタTrap送信条件設定	なし
ジョブキュー表示項目設定	ドキュメント名 ジョブ状態 コンピュータ名 ユーザー名
設定ページの印刷	設定なし
プリンタの再起動	設定なし
ネットワークの再起動	設定なし
プリンタの設定を再設定	設定なし
ネットワークカードの設定を再設定	設定なし
オペパネのロック	ロック解除
IPフィルタリングの設定	無効
IPフィルタリングの範囲設定	設定なし
管理者IPアドレスの保存	設定なし
パスワード設定	なし
サポートリンク5件 <sup>(*)</sup>	設定あり
その他のリンク5件	設定なし

\* : サポートリンクの工場出荷時の設定URL

ドライバダウンロード :

<http://www.fmworld.net/biz/fmv/driveselect/printer.html>  
テクニカルサポート :

<http://www.fmworld.net/biz/contact.html>

消耗品の注文 :

<https://www.coworco.com/servlet/LoginUser>

製品情報 :

<http://www.fmworld.net/biz/fmv/product/hard/printer1.html>

富士通のホームページ :

<http://jp.fujitsu.com/>

上記URL情報は工場出荷後に変更されることがあります。

その場合は、管理者モードに切り替えてURL情報を更新してください。



「設定を変更する」(140 ページ)を参照

## Printia LASER Internet Serviceを使用する

Printia LASER Internet Serviceを使用する場合は、次の手順にしたがってブラウザを起動してください。

- 1 パソコンを起動し、ブラウザを起動する
- 2 ブラウザのアドレス入力欄に、プリンタのIPアドレス、またはインターネットアドレスを入力し、[Enter]キーを押す



### ガイド

- ・ プリンタのIPアドレスがわからない場合は、FUJITSU LPRユーティリティでネットワークに接続された本プリンタのIPアドレスを検索するか、設定内容の一覧を印刷して確認してください。設定内容一覧の印刷方法は、「第1章 設定内容の一覧を印刷する」(17 ページ)を参照してください。
- ・ ネットワークがDNS(Domain Name System)を使用している場合は、ホスト名とドメイン名を組み合わせた「インターネットアドレス」を使用して、プリンタにアクセスできます。
- ・ DNSとは、インターネットでホスト名からIPアドレスを入手するための名前解決サービスです。ネットワークでDNSを使用しているかどうかや、プリンタのインターネットアドレスについては、ネットワーク管理者に確認してください。
- ・ プリンタのIPアドレスを指定した例  
(IPアドレスがaaa.bbb.ccc.dddの場合)  
http://aaa.bbb.ccc.ddd



- インターネットアドレスを指定した例  
(インターネットアドレスがXL-2200.aaa.bbb.fujitsu.com(ホスト名:XL-2200、ドメイン名:aaa.bbb.fujitsu.com)の場合)



Printia LASER Internet Serviceの画面が表示されます。



「Printia LASER Internet Serviceの画面構成」(114 ページ)を参照

## Printia LASER Internet Serviceの機能一覧

Printia LASER Internet Serviceの各機能の概要を、カテゴリタブ別に説明します。また、注意の必要な項目には「\*」を付け、詳細な説明をしています。

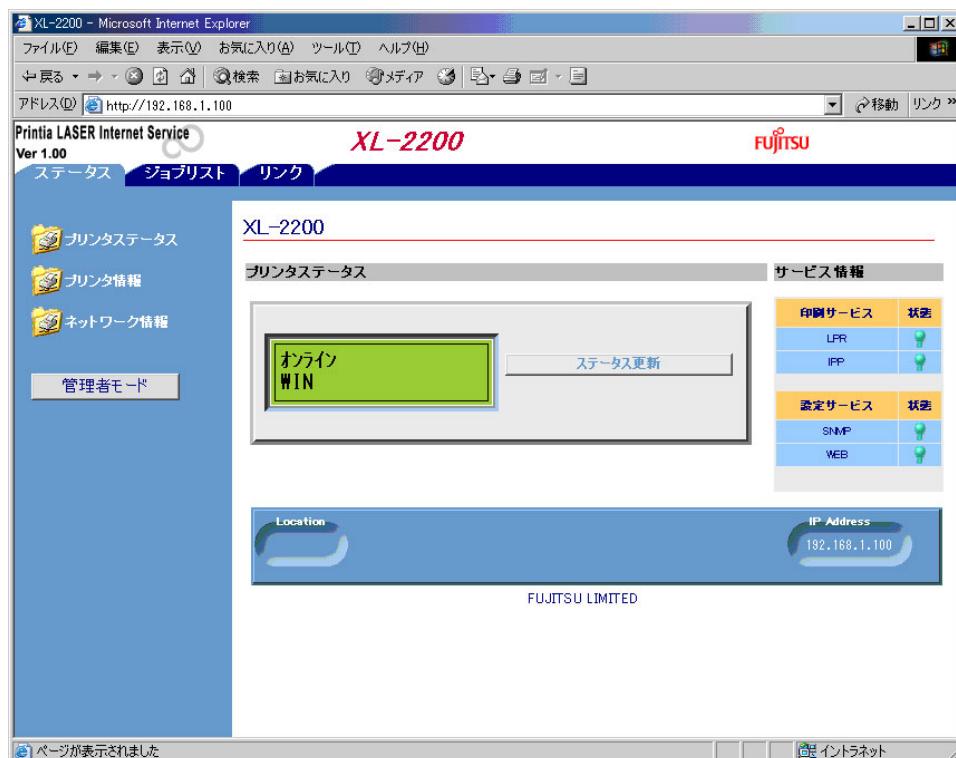
本Printia LASER Internet Serviceには、通常モードと管理者モードの2種類のモードがあります。

通常モードでは、ステータス、ジョブリスト、リンクの3種類のカテゴリタブを表示でき、管理者モードでは、ステータス、プリンタ、ネットワーク、ジョブリスト、メンテナンス、リンクの6種類のカテゴリタブを表示し、各カテゴリタブの設定を変更することができます。

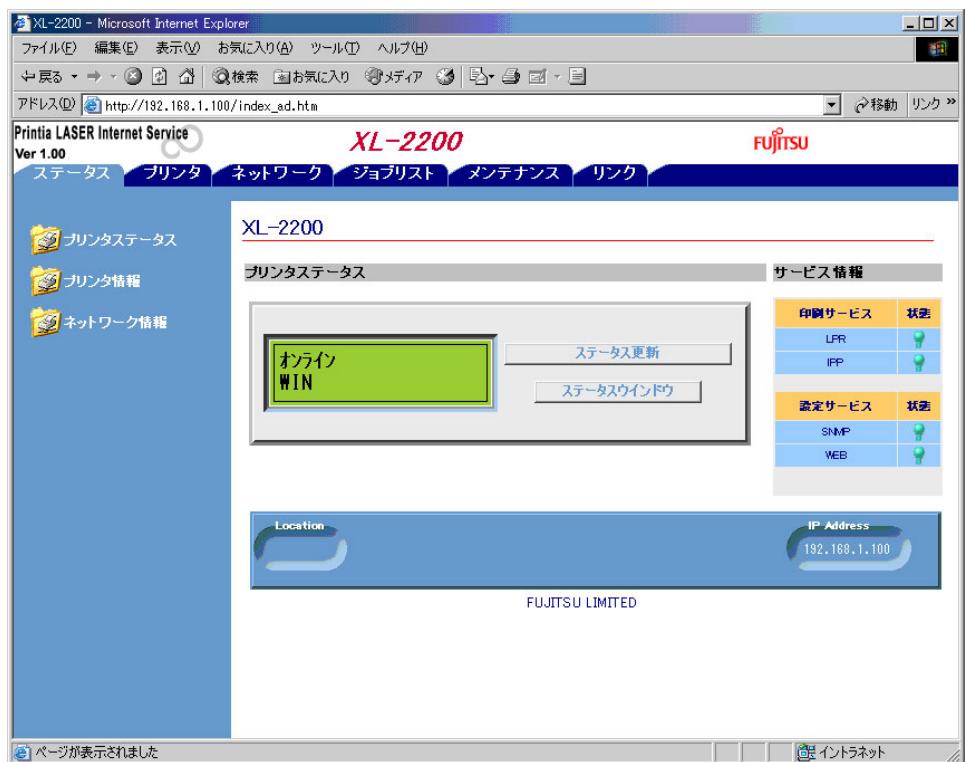


「設定を変更する」(140 ページ)を参照

### ▶ 通常モード時の画面

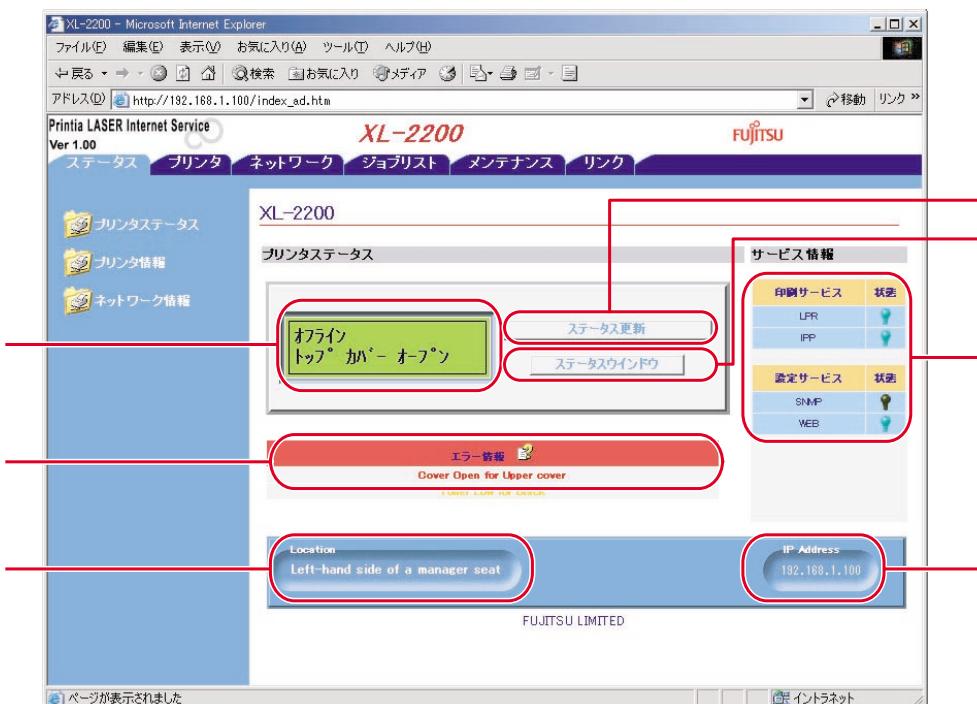


## ▷ 管理者モード時の画面



## ステータスタブ

このカテゴリタブでは、プリンタステータス、プリンタ情報、ネットワーク情報が確認できます。



6

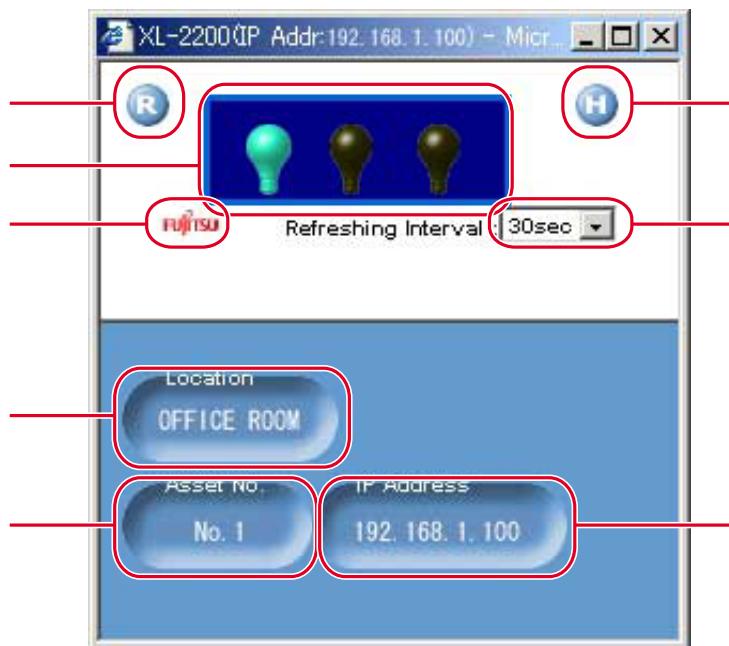
設定できる項目	説明
オペレータパネル ルウィンドウ	プリンタのオペレータパネルと同じ内容を表示します。
ステータス更新 ボタン	ステータスタブの情報を更新します。
ステータスウィ ンドウボタン	ステータスウィンドウ(127ページ)を開きます。
エラー情報	エラー情報を表示します。エラー情報が無い場合には表示されません。
サービス情報	<p> <a href="#">参照</a> 「エラー情報」(168 ページ)を参照</p> <p>XL-2200のネットワークサービスである LPR、IPP、SNMP、Web( Internet Service)を表示します。</p> <p>ランプ点灯(緑色)時にネットワークサービスが使用できます。</p>

設定できる項目	説明
Location	[ネットワークタブ] - [一般設定メニュー]の[ <i>System Location</i> ]にて設定された内容を表示します。  <a href="#">参照</a> [System Location] の設定方法は、「ネットワークタブ」(131 ページ)を参照
IP Address	プリンタの IP アドレスを表示します。

## ステータスウィンドウ

ステータスウィンドウから、プリンタステータスの詳細情報が参照できます。

〔ステータス〕タブ - 〔ステータスウィンドウ〕の順にクリックすると、ステータスウィンドウが開きます。

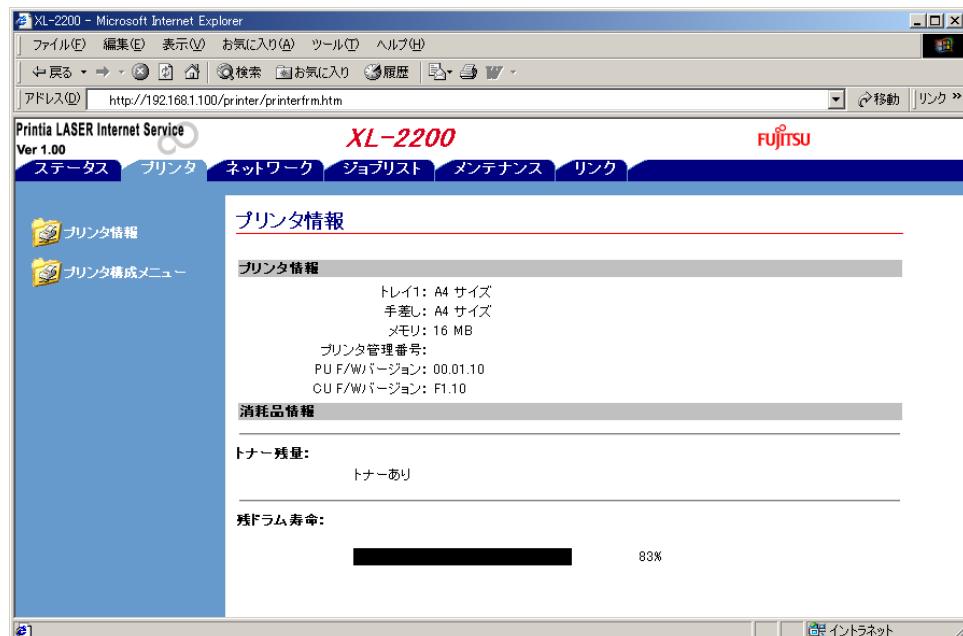


設定できる項目	説明
リフレッシュボタン	クリックすると、ステータスウィンドウ（プリンタの状態）を更新します。
ホームボタン	クリックすると、ステータスタブを開きます。

設定できる項目	説明
ステータスランプ	プリンタのステータスをランプの色で表現します。 緑(左): 点燈時 - 印刷可、消灯時 - 印刷不可 黄(中): 点燈時 - 注意レベルのエラー有り、クリックするとエラー情報が表示されます。 赤(右): 点滅時 - 警告レベルのエラー有り、クリックするとエラー情報が表示されます。
富士通ロゴ	クリックすると、富士通のホームページを開きます。
リフレッシュ間隔	ステータスウィンドウ(プリンタの状態)を更新する間隔を表示します。また、30秒、1分、5分、10分、1時間 およびOFF(自動で更新しない)を選択して設定できます。
Location	[ネットワーク]タブ - [一般設定]メニューの[System Location]にて設定された内容を表示します。
Asset No.	[ネットワーク]タブ - [一般設定]メニューの[プリンタ管理番号]にて設定された内容を表示します。
	 [System Location]と[プリンタ管理番号]の設定方法は、「ネットワークタブ」(131ページ)を参照
IP Address	プリンタのIPアドレスを表示します。

## プリンタタブ

このカテゴリタブでは、プリンタ情報やプリンタに関する情報が確認できます。

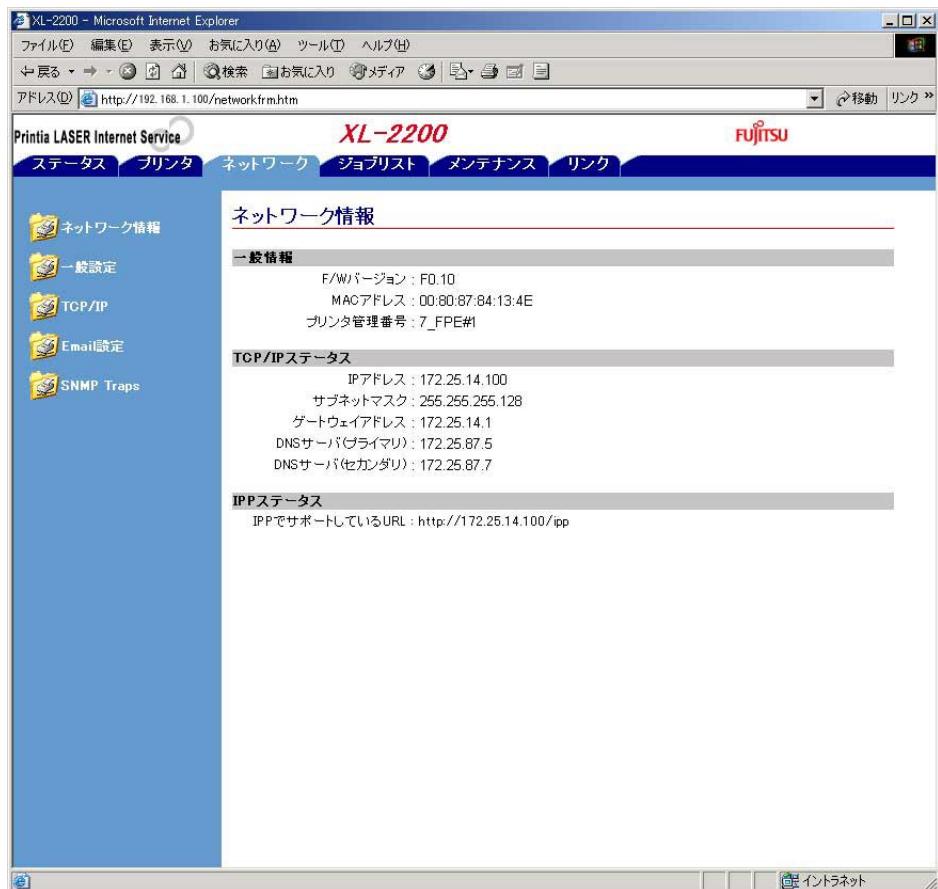


設定できる項目は次のとおりです。

メニュー	設定できる項目	説明
プリンタ構成	パワーセーブに関する設定	パワーセーブモードを使用するかしないかを設定します。
メニュー	パワーセーブ移行時間	パワーセーブモードに移行する時間を設定します。1分、5分、10分、15分、30分、60分、120分、240分から選択して設定できます。
	エラー自動解除	用紙サイズ、用紙タイプ、用紙厚の設定不一致によるエラーについて、自動的にプリンタを復旧させるかどうかを設定します。
	トナー不足印刷継続	トナー残量が少なくなった場合のプリンタの動作を設定します。 継続：印刷を続けて行います。しかし、トナーの残量が少ないため、きれいな印刷ができなくなる場合があります。トナーを注文することをお勧めします。 中止：印刷を停止し、プリンタをオフラインにします。
	ジャムリカバー	印刷中に紙詰まりが発生した場合、復旧後、紙詰まりが発生したページの再印刷を行なうかどうかを設定します。
	タイムアウト印刷	印刷ジョブの受信中に受信が途絶えた場合に、後続のデータを待つ時間を設定します。0=オフ、5～300(秒)の範囲で設定できます。

## ネットワークタブ

このカテゴリタブでは、ネットワーク情報、Eメール設定、SNMP設定が確認できます。



設定できる項目は次のとおりです。

メニュー	設定できる項目	説明
一般設定	System Contact	連絡先等の情報を入力します。1 ~ 255 文字の半角英数字を入力できます。
	System Name <sup>( *1 )</sup>	プリンタの名前等の情報を入力します。1 ~ 63 文字の半角英数字で入力できます。
	System Location	設置場所等の情報を入力します。1 ~ 255 文字の半角英数字で入力できます。
	プリンタ管理番号	プリンタの管理番号を入力します。1 ~ 8 文字の半角英数字で入力できます。
TCP/IP	IP アドレスの取得方法	IP アドレスの取得方法にて自動で取得するか手動で設定するかを設定します。
	IP アドレス	IP アドレスを設定します。
	サブネットマスク	サブネットマスクを設定します。
	ゲートウェイ アドレス	ゲートウェイアドレスを設定します。
	DNS サーバアドレス ( プライマリ )	DNS サーバアドレス ( プライマリ ) の設定をします。
	DNS サーバアドレス ( セカンダリ )	DNS サーバアドレス ( セカンダリ ) の設定をします。

メニュー	設定できる項目	説明
Email 設定 ( * 2 )	SMTP送信 SMTPサーバ	Eメールのサービスを使用するかしないかを設定します。 プリンタがEメールを送信する際に経由するSMTPサーバのアドレスを設定します。1~64文字の半角英数字を入力できます。
	プリンタ Email アドレス	送信元アドレス(本プリンタのアドレス)を設定します。1~64文字の半角英数字を入力できます。
	返信先Email アドレス	送信がエラーになった場合に、エラー通知メールを送信するアドレスを設定します。1~78文字の半角英数字を入力できます。
	SMTPポート番号	SMTPポート番号を設定します。(通常は、工場出荷時設定のまま使用してください)
	Email送信先設定	Eメール送信先のアドレスを5件まで設定できます。1~78文字の半角英数字を入力できます。
	Email警告送信 設定	設定した各アドレスについて、Eメールを通知する条件を設定します。
	Email署名	Eメールの署名を63文字×4行まで入力できます。
SNMP Traps	プリンタTrap コミュニティ名設定	Trap発行時のコミュニティ名を設定します。1~31文字の半角英数字を入力できます。
	プリンタTrap アドレス設定	Trap発行先アドレスを5件まで設定できます。
	プリンタTrap <sup>( * 3 )</sup> 送信条件設定	設定した各アドレスについて、Trapを通知する条件を設定します。

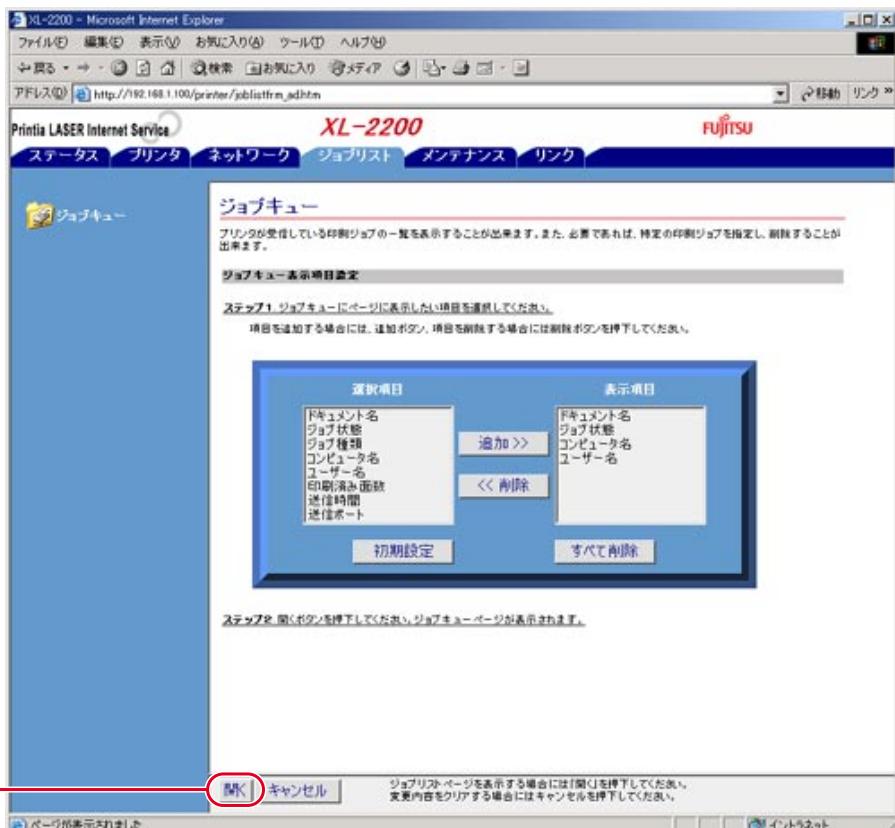
\* 1 : 「System Nameの設定」(141 ページ)を参照してください。

\* 2 : 「Eメールの設定」(143 ページ)を参照してください。

\* 3 : 「SNMPトラップ(プリンタTrap送信条件)」(148 ページ)を参照してください。

## ジョブリストタブ

このカテゴリタブでは、プリンタが受信している印刷ジョブの一覧およびジョブキューページを設定できます。また、ジョブキューページでは特定の印刷ジョブを指定し、削除することができます。



設定できる項目は次のとおりです。

メニュー	設定できる項目	説明
ジョブキュー	ジョブキューディスプレイ 項目設定	8種類のジョブキューページを選択して設定します。

ジョブキューページは、「開く」ボタンをクリックすると表示できます。



ジョブキューページを1度表示すると、2回目以降は[ジョブリスト]タブを選択すると自動的にジョブキューページも表示されるようになります。

### ジョブキューページ

ジョブキューページでは、プリンタが受信している印刷ジョブの一覧を確認できます。また、特定の印刷ジョブを指定し、削除することができます。



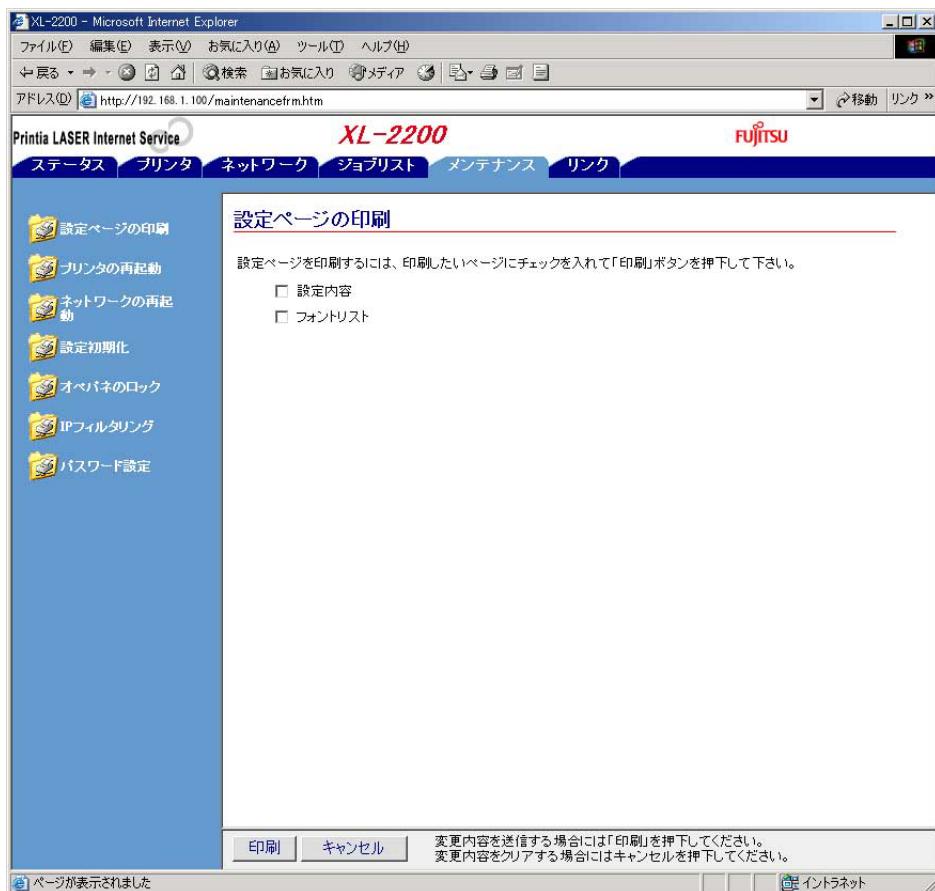
表示できる項目は次のとおりです。

表示項目	説明	備考
キャンセル	チェックボックスにチェックを入れ、ジョブキャンセルをクリックすると、ジョブ（印刷）をキャンセルできます。	
ドキュメント名	受信している印刷ジョブのファイル名を表示します。	例) Microsoft Word Test.doc
ジョブ状態	ジョブに対するプリンタの状態を表示します。	表示 : 意味 free : 未処理 preinterpreting : 先読み中 waiting : 編集待ち proccesing : 編集中 proccesed : 編集完了 printing : 印刷中 canceling : キャンセル中 finished : 終了
ジョブ種類	ジョブの種類を表示します。	表示 : 意味 local : 設定内容もしくは、フォントリスト normal : 通常印刷ジョブ unknown : 未定ジョブ
コンピュータ名	印刷ジョブの送信元のWindowsに登録しているコンピュータ名を表示します。	例) FMV-XXXXXX
ユーザー名	印刷ジョブの送信元のWindowsに登録しているユーザー名を表示します。	例) Fujitsu
印刷済み面数	印刷済みのページ数を表示します。	例) 5
送信時間	印刷ジョブの送信開始時間、日付を表示します。	例) 17:19:09 2002/11/27
送信ポート	印刷ジョブの送信ポート名を表示します。	例) http://192.168.1.100/ipp FJLPR01

## メンテナンスタブ

このカテゴリタブでは、プリンタやネットワークの再起動ができます。また、特定のIPアドレスからのみプリンタを使用できる（IPフィルタリング）ように設定できます。

 **参考** IPアドレスを使用してプリンタの使用を制限する場合は、「プリンタへのアクセス制限（IPフィルタリング）」（150ページ）を参照してください。



設定できる項目は次のとおりです。

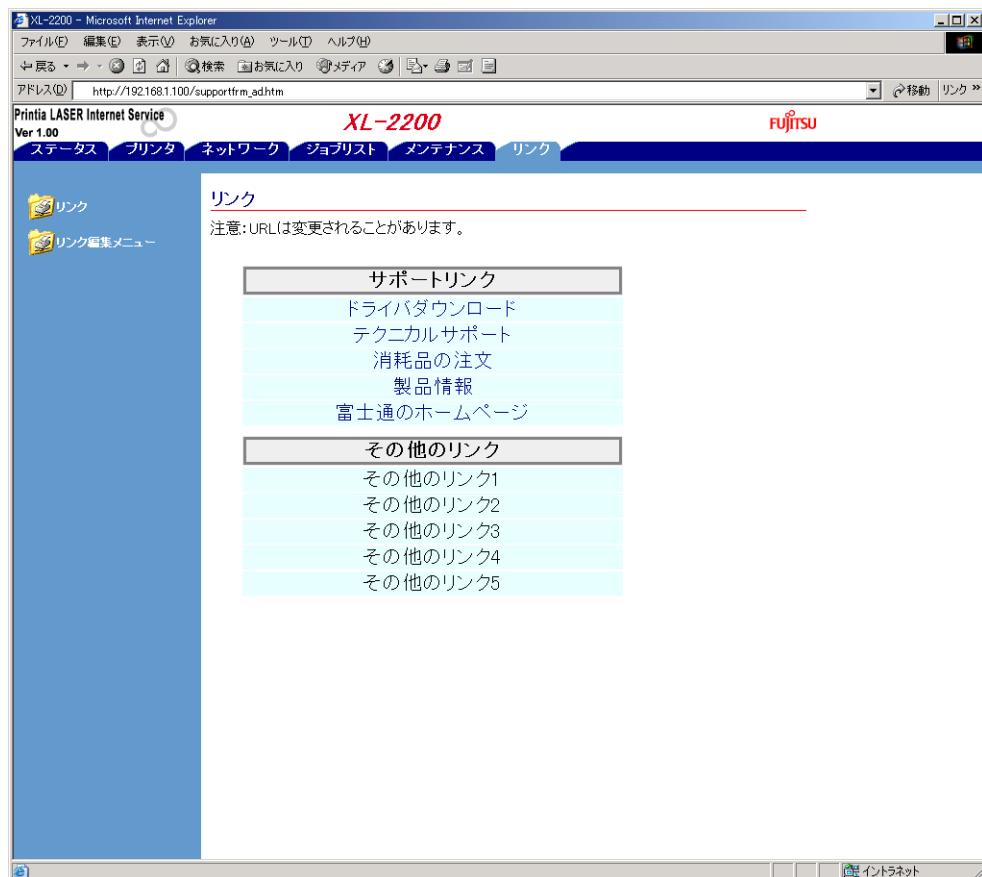
メニュー	設定できる項目	説明
設定ページの印刷	設定ページの印刷	設定内容、もしくはフォントリストを印刷します。
プリンタの再起動	プリンタの再起動	プリンタを再起動します。
ネットワークの再起動	ネットワークの再起動	プリンタのネットワークを再起動します。
設定初期化	プリンタの設定を再設定	プリンタの設定を工場出荷時設定に戻します。
	ネットワークカードの設定を再設定	プリンタLANカードの設定を工場出荷時設定に戻します。
オペパネのロック	オペパネのロック	プリンタのオペレータパネルを設定変更できないようにロックするかしないかを設定します。
IP フィルタリング <sup>(*1)</sup>	IP フィルタリングの設定	IP アドレスにて印刷 / 設定の制限をするかしないかを設定します。
	IP フィルタリングの範囲設定	制限する IP アドレスの範囲を設定します。
	管理者 IP アドレスの保存	管理者 IP アドレスを登録すると、IP フィルタリングの対象外となります。
パスワード設定 <sup>(*2)</sup>	パスワード設定	管理者のパスワードを変更します。1 ~ 15 文字の半角英数字を入力してください。

\* 1 : 「プリンタへのアクセス制限 (IP フィルタリング)」(150 ページ) を参照してください。

\* 2 : 「パスワードの変更」(140 ページ) を参照してください。

## リンクタブ

このカテゴリタブでは、プリンタに関するURLや管理者の設定したURLへのリンクを表示できます。



設定できる項目は次のとおりです。

メニュー	設定できる項目	説明
リンク編集メニュー	サポートリンク 5 件	URLを5件まで設定できます。URLは1~255文字の半角英数字を入力してください。
	その他のリンク 5 件	タイトルとURLを5件まで設定できます。タイトルは1~40文字、URLは1~255文字の半角英数字を入力してください。



[サポートリンク]と[その他のリンク]は、「メンテナントタブ」の[ネットワークカードの設定を再設定](137ページ)や「プリンタLANカードを初期化する」(16ページ)を行うと、工場出荷時の値に設定し直されます。URLを変更する場合には、再設定できるようにメモを取っておくことをお勧めします。(工場出荷時の設定については、120ページを参照してください。)

## 設定を変更する

Printia LASER Internet Serviceの利用時に必要な設定の変更方法について説明します。

### 管理者モードへの切り替え

Printia LASER Internet Serviceでは、管理者モードで設定画面を表示させ、必要な設定を行った後画面下の〔送信〕をクリックすることで設定が確定します。

管理者モードにするには、通常モードのステータスタブの画面で〔管理者モード〕をクリックし、入力画面でユーザー名とパスワードを入力してください。



ユーザー名やパスワードは、工場出荷時に次のように設定されています。管理上の安全のため、できるだけ早い時期にパスワードを変更してください。

- ・ユーザー名 「xladmin」(固定)
- ・パスワード 「なし」

### パスワードの変更

次の手順にしたがって、パスワードを変更してください。

- 1 管理者モードで設定画面を表示する
- 2 〔メンテナンス〕タブをクリックする
- 3 左側に表示されている「パスワード設定」をクリックする
- 4 新しいパスワードを入力する  
「新しいパスワードの入力」に新しいパスワードを入力したら、確認のため、「新しいパスワードの再入力」に再度同じパスワードを入力してください。
- 5 〔送信〕をクリックする  
パスワードの設定が変更します。

## パスワードの初期化

プリンタLANカードを初期化することにより、Printia LASER Internet Serviceの管理者モードのパスワードを初期化できます。

パスワードを忘れた場合には、プリンタLANカードを初期化してください。

プリンタLANカードの初期化の方法は、「プリンタLANカードを初期化する」(16 ページ)を参照してください。

### お願い

プリンタLANカードを初期化すると、Printia LASER Internet Serviceおよびオペレータパネルでの〔ネットワーク〕カテゴリで設定した内容もすべて初期化されます。

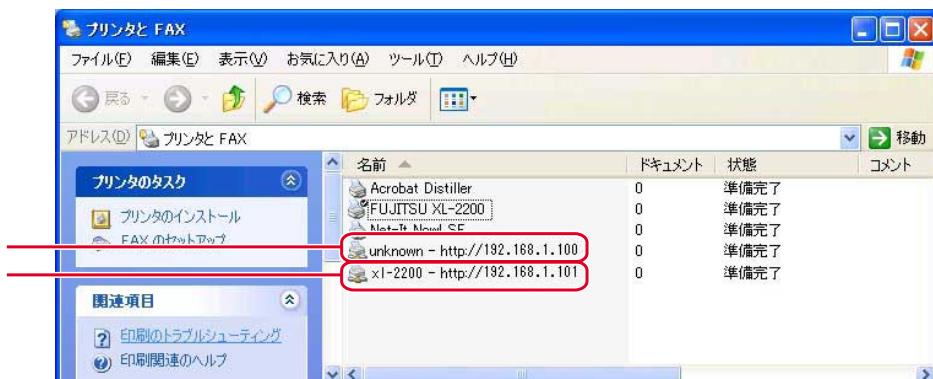
## System Name の設定

ネットワークタブの一般設定にある「System Name」には、プリンタ名等を設定してください。

### ガイド

Windows XP環境でインターネット接続によるインストールを行う場合は、事前に本情報をXL-2200等の名称に変更しておくことをお勧めします。

なお、変更していない状態(空白)では、<プリンタとFAX>フォルダのプリンタ名称が〔unknown〕と表示されますが、印刷には問題ありません。

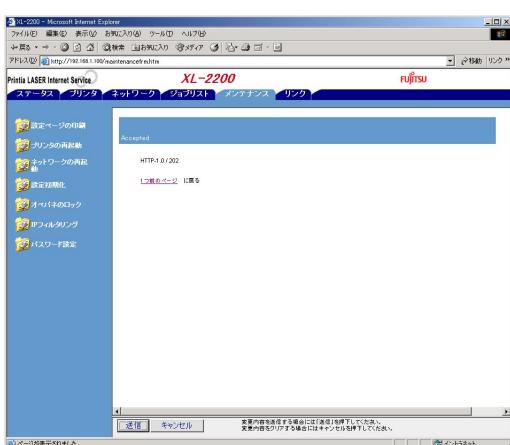


### System Name <プリンタとFAX> フォルダの表示

(設定なし) Unknown - http://(プリンタのIPアドレス)

xl-2200 xl-2200 - http://(プリンタのIPアドレス)

- 1 管理者モードで設定画面を表示する
- 2 [ネットワーク] タブをクリックする
- 3 左側に表示されている「一般設定」をクリックする
- 4 「System Name」を入力する



- 5 [送信] をクリックする  
System Name が設定されます。  
新しい設定値がプリンタ LAN カードに送信されると、次のような画面が表示されます。

- 6 [1つ前のページ] をクリックする  
設定された内容を確認してください。

## Eメールの設定

Eメールの設定により、プリンタのステータスが変化した時にEメールのメッセージを送信します。

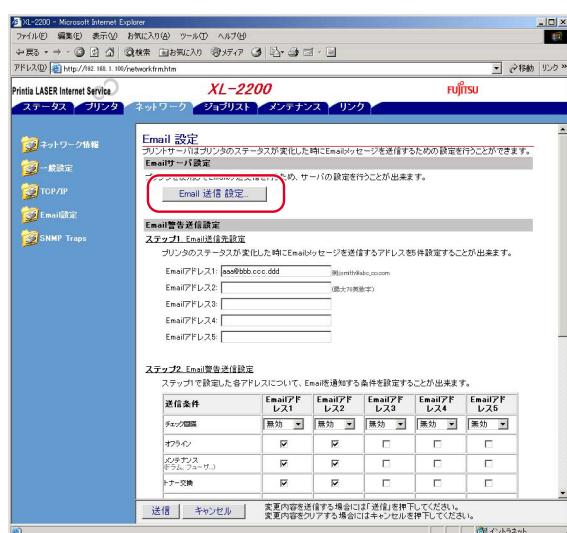
次の手順にしたがって、Eメールの設定を行ってください。

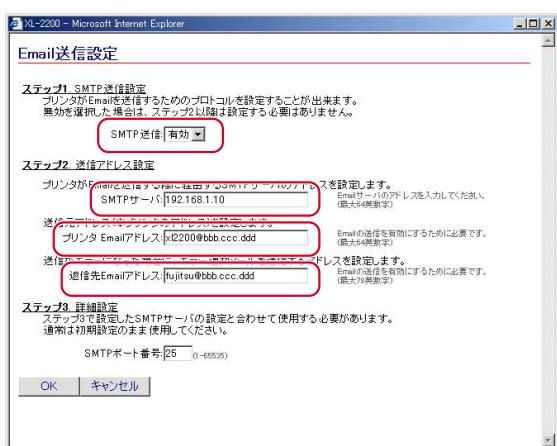
**1** 管理者モードで設定画面を表示する

**2** [ネットワーク] タブをクリックする

**3** 左側に表示されている「Email設定」をクリックする

**4** 「Email送信設定」のボタンをクリックする





## 5 「Email送信設定」をステップに従って設定する

### ステップ1 SMTP送信設定

SMTP送信 : 有効

### ステップ2 送信アドレス設定

SMTPサーバー :

メールサーバのIPアドレス  
(1~64文字の半角英数字で  
入力してください。)

プリンタEmailアドレス :

プリンタのメールアドレス  
(1~64文字の半角英数字で  
入力してください。)

返信先Emailアドレス :

送信がエラーになった場合  
に、エラー通知メールを送信  
するメールアドレス (1~78  
文字の半角英数字で入力し  
てください。ここでは、プリ  
ンタの管理者のメールアド  
レスを入力することをお勧  
めします。)

## 6 [OK] をクリックする

[ネットワーク] タブの設定画面に戻ります。

## 7 「Email警告送信設定」をステップに従って設定する

### ステップ1 Email送信先設定

プリンタのステータスが変化した時にEメールのメッセージを送信  
するアドレスを入力してください。

最大5件設定できます。(1~78文字の半角英数字で入力してくださ  
い。)

### ステップ2 Email警告送信設定

ステップ1で設定した各アドレスについて、Eメールを送信する条件  
を設定してください。

設定項目は次のとおりです。

設定項目	説明											
チェック間隔	<p>プリンタのステータスが変化し、以後Email警告送信条件が継続している状態のとき、設定したチェック間隔でEmail警告を繰り返し送信します。本設定は、チェック設定した送信条件に対してのみ有効となります。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>設定値</th> <th>Eメールの送信条件</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>無効 (デフォルト)</td> <td>ステータスが変化したときのみEメール送信</td> </tr> <tr> <td>30分</td> <td>ステータスが変化したときにEメール送信し、以後30分毎</td> </tr> <tr> <td>60分</td> <td>ステータスが変化したときにEメール送信し、以後60分毎</td> </tr> <tr> <td>24時間</td> <td>ステータスが変化したときにEメール送信し、以後24時間毎</td> </tr> </tbody> </table>		設定値	Eメールの送信条件	無効 (デフォルト)	ステータスが変化したときのみEメール送信	30分	ステータスが変化したときにEメール送信し、以後30分毎	60分	ステータスが変化したときにEメール送信し、以後60分毎	24時間	ステータスが変化したときにEメール送信し、以後24時間毎
設定値	Eメールの送信条件											
無効 (デフォルト)	ステータスが変化したときのみEメール送信											
30分	ステータスが変化したときにEメール送信し、以後30分毎											
60分	ステータスが変化したときにEメール送信し、以後60分毎											
24時間	ステータスが変化したときにEメール送信し、以後24時間毎											
オフライン	チェック設定の場合は、プリンタがオフラインのときにEメール送信します。											
メンテナンス ( ドラム、フューザ ... )	チェック設定の場合は、ドラム(プロセスカートリッジ)が寿命にちかいときや、ドラム(プロセスカートリッジ)が正しくセットされていないときにEメール送信します。											
トナー交換	チェック設定の場合は、トナーの残量が少ないときや、トナーセンサーに異常が発生しているときにEメール送信します。											
用紙補充	チェック設定の場合は、各用紙トレイ(トレイ1、トレイ2、手差しトレイ、給紙トレイ(MPF))に用紙がないとき、印刷時に用紙のないトレイを選択したときや、各用紙トレイが正しくセットされていないときにEメール送信します。											
用紙ジャム	チェック設定の場合は、装置内での紙詰まりが発生したときにEメール送信します。											
カバーオープン	チェック設定の場合は、トップカバーとトレイ2のカバーが開いているときにEメール送信します。											
スタッカエラー	本プリンタでは対象外です。											
ストレージエラー	本プリンタでは対象外です。											
復旧可能エラー	本プリンタでは対象外です。											

設定項目	説明
サービスコール要求	<p>チェック設定の場合は、プリンタのハードウェアが故障したりプログラムが正常に動かなかったときにEメール送信します。</p> <p>プリンタの電源を切り、再度入れ直してください。</p> <p>それでも復旧しない場合は、ご購入元または『XL-2200取扱説明書』に記載されている「ハードウェア修理相談センター」へご連絡ください。</p>

### ステップ3 Email署名

署名はプリンタからのEメールの送信メッセージの文末に付加する文字を任意に入力してください。

この欄は、連絡先、プリンタの詳細、消耗品の物品番号等を記述することができます。

全角日本語文字も入力可能ですが、正しく表示されない場合があるため、1~63文字の半角英数字での入力をお勧めします。

- 8 「Email送信設定」と「Email警告送信設定」の設定を確認し、  
〔送信〕をクリックする
- 9 〔1つ前のページ〕をクリックする  
設定された内容を確認してください。

Eメールのメッセージをトップカバーが開いた時を例にして説明します。

タイトル（メールソフトによって表示内容が異なります。）

送信者: "FastEther8100e" <XL-2200@aaa.bbb.ccc>  
宛先: Fujitsu-Taro@aaa.bbb.ccc  
件名: Report mail from FastEther8100e  
日時: 2003年4月2日 8:41

送信者名（プリンタLANカードの種類；固定）とプリンタのメールアドレス  
宛先のメールアドレス  
件名（Report mail from FastEther8100e；固定）  
日時

 ガイド 送信者と件名が固定となります。Email署名の記述により区別してください。

本文

IP Address: 192.168.1.100  
FastEther8100e F0.10  
Ethernet Address: 00:80:87:84:13:01  
Printer Name: XL-2200

[PRINTER STATUS]  
<40021> Cover Open for Upper cover  
<10002> Off Line

aaaaaa  
bbbbbb  
cccccc  
ddddd

プリンタのIPアドレス  
プリンタLANカードの種類とFirmware Version  
プリンタLANカードのMACアドレス  
プリンタの型名『XL-2200』

ステータス：プリンタのトップカバーが開いています。  
ステータス：オフラインです。

Email署名の1行目  
Email署名の2行目  
Email署名の3行目  
Email署名の4行目

## SNMP トラブル ( プリンタTrap送信条件 )

SNMP ネットワークモニタリングユーティリティを備えた機器 ( パソコン等 ) に通知するプリンタ Trap の送信条件を説明します。

プリンタ Trap の送信条件は次のとおりです。

送信条件	プリンタTrap ( Specific No. )	説明
Trap送信許可		チェック設定の場合は、プリンタのステータスが変化したときにプリンタTrapを通知します。
プリンタ再起動	0	チェック設定の場合は、プリンタが再起動したときにプリンタTrapを通知します。
不正Trap受信	0	チェック設定の場合は、コミュニティに "public" または "internal" 以外の SNMP パケットを受信したときにプリンタTrapを通知します。
オンライン	1	チェック設定の場合は、プリンタがオンラインになり印刷可能となつたときにプリンタTrapを通知します。
オフライン	2	チェック設定の場合は、プリンタがオフラインになったときにプリンタTrapを通知します。
用紙なし	5	チェック設定の場合は、印刷時に各用紙トレイ ( トレイ 1 、トレイ 2 、手差しトレイ、給紙トレイ ( M P F ) ) に用紙がなくなつたとき、印刷時に用紙のないトレイを選択したときや、各用紙トレイが正しくセットされなかつたときにプリンタTrapを通知します。
用紙ジャム	6	チェック設定の場合は、装置内での紙詰まりが発生したときにプリンタTrapを通知します。
カバーオープン	7	チェック設定の場合は、トップカバーとトレイ 2 のカバーが開いたときにプリンタTrapを通知します。

送信条件	プリンタTrap (Specific No.)	説明
プリンタエラー	16	チェック設定の場合は、プリンタのハードウェアが故障したりプログラムが正常に働かなかったときにプリンタTrapを通知します。 プリンタの電源を切り、再度入れ直してください。 それでも復旧しない場合は、ご購入元または『XL-2200取扱説明書』に記載されている「ハードウェア修理相談センター」へご連絡ください。

## プリンタへのアクセス制限 (IP フィルタリング)

IP アドレスを管理して、プリンタの使用を制限することができます。  
次の手順にしたがって、プリンタの使用を制限してください。

- 1 管理者モードで設定画面を表示する
- 2 [メンテナンス] タブをクリックする
- 3 左側に表示されている「IP フィルタリング」をクリックする



- 4 ステップ1. IP フィルタリングの設定で [有効] を選択する

### ガイド

IP フィルタリングを「有効」にすると、「ステップ2」で設定する範囲以外のIPアドレスのホストからのアクセスが一切できなくなります。

- 5 「ステップ2」で、プリンタへのアクセスを許可する IP アドレスの範囲を設定する

### ガイド

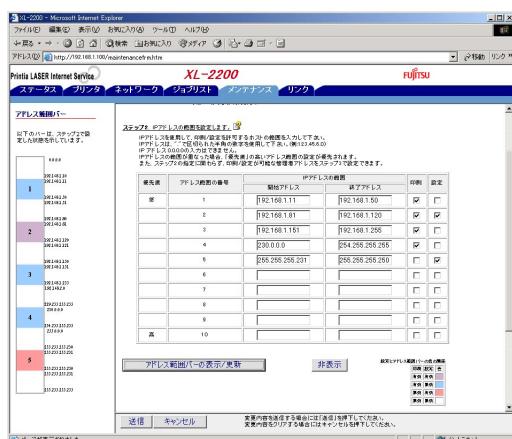
- ・ 印刷 / 設定を許可するホストの範囲を IP アドレスを使用して、入力してください。
- ・ IP アドレスは、“.” で区切られた半角の数字を使用してください。
- ・ IP アドレス 0.0.0.0 は、入力できません。
- ・ IP アドレスの範囲が重なった場合、「優先度」の高いアドレス範囲の設定が優先されます。
- ・ ステップ2の指定に関わらず、印刷 / 設定が可能な管理者アドレスをステップ3で設定できます。

## 6 印刷/設定を許可するかどうかを設定する

チェックをつけた機能が有効になります。

印刷 :印刷が可能です。

設定 :Printia LASER Internet Serviceからの設定および変更が可能です。



## 7 [アドレス範囲バーの表示/更新]をクリックする

設定を行ったIPアドレスの範囲が正しいかどうか確認します。

IPアドレスの範囲を修正したい場合は、該当するIPアドレスを入力し直してください。

再度IPアドレスの範囲を確認する場合は、[アドレス範囲バーの表示/更新]をクリックします。

8 「ステップ2」でアクセスを制限するIPアドレスの設定が完了したら、「ステップ3」で、「設定される管理者IPアドレス」の値を確認する



- 「設定される管理者 IP アドレス」に入力した IP アドレスは、IP フィルタリングの対象外となります。ただし、登録できる管理者の IP アドレスは 1 つだけです。
- プロキシ等を経由してプリンタにアクセスしている場合、「あなたのホスト IP アドレス」として、経由している機器のアドレスが表示されます。したがって、あなたのホストのアドレスと表示されている「あなたのホストの IP アドレス」が異なる場合があります。
- 「管理者 IP アドレス」として何も登録しない場合は、ステップ 2 の設定によっては、プリンタにまったくアクセスできなくなることがあります。
- 管理者の IP アドレスを登録たくない場合は、「設定する管理者の IP アドレス」の欄を空欄にしてください。



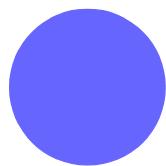
9 「ステップ 1」から「ステップ 3」の設定を確認し、[送信]をクリックする

10 [1 つ前のページ] をクリックする

設定された内容を確認してください。

# 第7章

## ネットワーク利用時のトラブル対処方法



この章では、ネットワークプリンタ使用時に発生するトラブルとその対処方法を説明しています。

プリンタ設置時のトラブル .....	154
プリンタ使用時のトラブル .....	158
共通のトラブル .....	158
FUJITSU LPRユーティリティ使用時のトラブル ...	162
LPR、IPPポート使用時のトラブル .....	164
Printia LASER Internet Service使用時のトラブル ..	165
メールの受信時のトラブル .....	167
エラー情報 .....	168
メッセージ表 .....	168

# プリンタ設置時のトラブル

症 状	チェック項目	対処方法
ネットワークに接続できない	プリンタLANケーブルが抜けている、またはゆるんでいませんか。	電源スイッチの〔○〕側を押して電源を切り、プリンタLANケーブルを差し込み直してください。
	プリンタLANケーブルは正しく接続されていますか。	プリンタの電源を入れてからプリンタLANケーブルを接続すると、ネットワークで確認できないことがあります。再度、電源スイッチの〔○〕側を押して電源を切り、プリンタLANケーブルを接続してから電源スイッチを〔1〕側に倒して電源を入れてください。
	プリンタLANケーブルの種類は正しいですか。	・ ツイストペアケーブルを使用してください。 ・ 100Mb/sで使用される場合は、カテゴリー5のツイストペアケーブルを使用してください。
	プリンタのEthernetタイプは正しいですか。	オペレータパネルの共通メニューの「NETWORK」-「HUB LINK」を〔AUTO〕にしてプリンタLANケーブルとハブユニットを接続してください。 プリンタLANカードのTESTスイッチを1秒以上押し続けてから指を離し、設定内容を印刷してください。 Network Information(2ページ目)の「General Information」-「Hub Link Status」が〔OK(***〕と記載されていれば正しく設定されています。〔Link Fail〕の場合は、↓に進んでください。)
		 <p>オペレータパネルの共通メニューの「NETWORK」-「HUB LINK」をハブユニットのEthernetタイプに合わせて設定し直してください。</p> <p>の手順を行い、プリンタのEthernetタイプを正しく設定してください。</p> <p> 取扱説明書「第8章 オペレータパネルの操作」を参照</p>

症 状	チェック項目	対処方法
ネットワークに接続できない	「NETWORK」-「HUB LINK」の設定変更後、プリンタの電源を切り、再度プリンタの電源をいれましたか。	「HUB LINK」の設定変更後に、プリンタの電源を再投入しない場合、ネットワークに接続できないことがあります。 「HUB LINK」の設定変更後は、かならず電源を再投入してください。ただし、設定変更後に〔オンライン〕-〔ネットワーク ショキカチュウ〕-〔オンライン〕と表示が切り替わるまで2~5分かかることがあります。その間は、電源を再投入しないでください。
	他のネットワーク機器が同じIPアドレスを手動設定していませんか。	プリンタがIPアドレスを自動取得設定していても、同一ネットワーク内の他のネットワーク機器が同じIPアドレスを手動設定していると、正しくネットワークに接続できず、IPアドレスが〔192.168.100.100〕になります。設定内容の一覧や他のネットワーク機器を確認の上、IPアドレスを正しく設定してください。
	IPアドレスなどのネットワーク環境が、正しく設定されていますか。	IPアドレスなどが変更されている可能性もあります。設定内容の一覧の印刷(プリンタLANカードのTESTスイッチを1秒間以上押してから指を離します)を行い、次の項目を確認してください。「IP ADDRESS」、「SUBNET MASK」、「GATEWAY ADDRESS」は正しく設定されていますか。また、ネットワーク環境から移動した場合、プリンタLANカードの初期化を行った後に、ネットワークを再設定することをお勧めします。設定が違っている場合は、正しく設定してください。



「設定内容の一覧を印刷する」(17 ページ)を参照  
 「プリンタLANカードを初期化する」(16 ページ)を参照  
 「IPアドレスを設定する」(18 ページ)を参照

症 状	チェック項目	対処方法
ネットワークに接続できない(ネットワーク障害が発生する)	プリンタのEthernetタイプは正しいですか。	<p>プリンタのEthernetタイプの設定がハブユニットの規格と一致しない場合、ネットワーク障害の原因となります。ハブユニットの規格を調べた上で、次のように対処してください。</p> <p>プリンタ LAN ケーブルを抜いてください。(ネットワーク障害は解消されます。)</p> <p>本プリンタの Ethernet タイプを正しく設定してください。</p> <p>プリンタの電源スイッチを〔○〕側に倒して、電源を切ってください。</p> <p>プリンタ LAN ケーブルを接続してください。</p> <p>プリンタの電源スイッチを〔1〕側に倒して、電源を入れてください。(ネットワーク障害は解消され、本プリンタも使用できます。)</p>
		 <a href="#">「ネットワークに接続するときの注意事項」(3 ページ) を参照</a>
IPアドレスが、プリンタの電源を入れるたびに変わってしまう	プリンタのIPアドレスをDHCPサーバから取得するように設定されていますか。	固定のIPアドレスを割り当てる場合は、オペレータパネルでIPアドレスのセットアップ方法をパネルに設定し、割り当てるIPアドレスを入力してください。
		 <a href="#">「IPアドレスを設定する」(18 ページ) を参照</a>
Windows NT4.0/Windows 2000/XPでプリンタドライバをインストール中に、ポートを追加できない	管理者権限を持つユーザ名でログインしていますか。	管理者の権限がないと、ポートを追加できません。ログインし直してください。

症 状	チェック項目	対処方法
Windows NT4.0でプリンタドライバをインストールできない	Windows NT4.0に [Microsoft TCP/IP印刷] を組み込んでいますか。	[スタート]メニューの[設定]から、[コントロールパネル]、[ネットワーク]の順にクリックして、[ネットワーク]ウィンドウを表示します。[サービス]タブの[ネットワークサービス]に [Microsoft TCP/IP印刷] が表示されるかどうかを確認してください。 表示されない場合は、[追加]をクリックし、[Microsoft TCP/IP印刷]を追加してください。なお、このときWindows NT4.0システムのCD-ROMが必要になります。
Windows 2000でプリンタドライバをインストールできない	Windows 2000に [インターネットプロトコル(TCP/IP)] を組み込んでいますか。	[スタート]メニューの[設定]から、[ネットワークとダイヤルアップ接続]、[ローカルエリア接続]、[プロパティ]の順にクリックします。[ローカルエリア接続のプロパティ]ダイアログが表示されるので、[インターネットプロトコル(TCP/IP)]が選択されているかどうかを確認してください。 選択されていない場合は、チェックボックスをクリックし、[インターネットプロトコル(TCP/IP)]を追加してください。

# プリンタ使用時のトラブル

## 共通のトラブル

症 状	チェック項目	対処方法
印刷できない	プリンタの電源が切れていませんか。	電源スイッチの〔I〕側を押して電源を入れてください。
	プリンタLANケーブルが抜けている、またはゆるんでいませんか。	電源スイッチの〔 〕側を押して電源を切り、プリンタLANケーブルを差し込み直してください。
	プリンタLANケーブルは正しく接続されていますか。	プリンタの電源を入れてからプリンタLANケーブルを接続すると、ネットワークで確認できることがあります。再度、電源スイッチの〔O〕側を押して電源を切り、プリンタLANケーブルを接続してから電源スイッチを〔I〕側に倒して電源を入れてください。
	プリンタLANカードが取り付けられていますか。	プリンタLANカードを取り付けてください。 <span style="color: #0000ff;">○</span> <a href="#">参照</a> 「プリンタLANカードを取り付ける」(11 ページ) を参照
	IPアドレスなどのネットワーク環境が、正しく設定されていますか。	IPアドレスなどが変更されている可能性もあります。 設定内容の一覧の印刷（プリンタLANカードのTESTスイッチを1秒間以上押してから指を離します）を行い、次の項目を確認してください。 「IP ADDRESS」、「SUBNET MASK」、「GATEWAY ADDRESS」は正しく設定されていますか。また、ネットワーク環境から移動した場合、プリンタLANカードの初期化を行った後に、ネットワークを再設定することをお勧めします。 設定が違っている場合は、正しく設定してください。 <span style="color: #0000ff;">○</span> <a href="#">参照</a> 「設定内容の一覧を印刷する」(17 ページ) を参照 「プリンタLANカードを初期化する」(16 ページ) を参照 「IPアドレスを設定する」(18 ページ) を参照

症 状	チェック項目	対処方法
印刷できない	IP フィルタリングにより印刷が制限されていますか。	印刷制限が設定されていないかどうかを確認してください。  「Printia LASER Internet Service」(111 ページ) を参照
印刷できない (Windows 95/98/Me の場合)	パソコン側にアダプタが認識されていますか。	[スタート] - [設定] - [コントロールパネル] - [ネットワーク] - [ネットワークの設定タブ] の順に選択し、[現在のネットワークコンポーネント] で [TCP/IP ***] (*** はアダプタ名) が表示されているか確認してください。  「TCP/IP プロトコルを設定する」「Windows 95/98/Me の場合」(46 ページ) を参照
	パソコン側の IP アドレス等が正しく設定されていますか。	[スタート] - [設定] - [コントロールパネル] - [ネットワーク] - [ネットワークの設定タブ] - [現在のネットワークコンポーネント] - [TCP/IP -> ***] (*** はアダプタ名) の [プロパティ] で [IP アドレス]、[サブネットマスク]、[ゲートウェイ] を正しく設定してください。  「TCP/IP プロトコルを設定する」「Windows 95/98/Me の場合」(46 ページ) を参照

症 状	チェック項目	対処方法
印刷できない (Windows NT4.0の場合)	パソコン側にTCP/IPが組込まれていますか。	[スタート] - [設定] - [コントロールパネル] - [ネットワーク] の順に選択し、[プロトコル] タブの [ネットワークプロトコル] で [TCP/IPプロトコル] が表示されているか確認してください。  「TCP/IPプロトコルを設定する」 「Windows NT4.0の場合」 (50 ページ) を参照
	パソコン側のIPアドレス等が正しく設定されていますか。	[スタート] - [設定] - [コントロールパネル] - [ネットワーク] - [プロトコル] タブ - [ネットワークプロトコル] - [TCP/IP プロトコル] の [プロパティ] で [IPアドレス]、[サブネットマスク]、[デフォルトゲートウェイ] を正しく設定してください。  「TCP/IPプロトコルを設定する」 「Windows NT4.0の場合」 (50 ページ) を参照
印刷できない (Windows 2000の場合)	パソコン側にTCP/IPが組込まれていますか。	[スタート] - [設定] - [コントロールパネル] - [ネットワークとダイヤルセットアップ] - [ローカルエリア接続] の順に選択し、[プロパティ] に [インターネットプロトコル(TCP/IP)] が表示されているか確認してください。  「TCP/IPプロトコルを設定する」 「Windows 2000の場合」 (52 ページ) を参照
	パソコン側のIPアドレス等が正しく設定されていますか。	[スタート] - [設定] - [コントロールパネル] - [ネットワークとダイヤルセットアップ] - [ローカルエリア接続] - [プロパティ] - [インターネットプロトコル(TCP/IP)] の [プロパティ] で [IPアドレス]、[サブネットマスク]、[デフォルトゲートウェイ] を正しく設定してください。  「TCP/IPプロトコルを設定する」 「Windows 2000の場合」 (52 ページ) を参照

症 状	チェック項目	対処方法
印刷できない (Windows XPの場合)	パソコン側にTCP/IPが組込まれていますか。	<p>[スタート] - [コントロールパネル] - [ネットワークとインターネット接続] - [ネットワーク接続] - [ローカルエリア接続] の順に選択し、[プロパティ] に [インターネットプロトコル(TCP/IP)] が表示されているか確認してください。</p> <p> <a href="#">「TCP/IPプロトコルを設定する」「Windows XPの場合」(54 ページ)を参照</a></p>
	パソコン側のIPアドレス等が正しく設定されていますか。	<p>[スタート] - [設定] - [コントロールパネル] - [ネットワークとインターネット接続] - [ローカルエリア接続] - [プロパティ] - [インターネットプロトコル(TCP/IP)] の [プロパティ] で [IPアドレス]、[サブネットマスク]、[デフォルトゲートウェイ] を正しく設定してください。</p> <p> <a href="#">「TCP/IPプロトコルを設定する」「Windows XPの場合」(54 ページ)を参照</a></p>
オペレータパネルでの設定ができない	「オペパネのロック」になってしまいませんか。	<p>オペパネのロックの設定がされていないかどうかを確認してください。</p> <p> <a href="#">「Printia LASER Internet Service」(111 ページ)を参照</a></p>
	パスワードを忘れてしまい、「Printia LASER Internet Service」の管理者モードの画面表示ができないため、「オペパネのロック」が解除できない状態ですか。	<p>どうしてもパスワードを思い出せない場合は、プリンタLANカードの初期化を行って、「Printia LASER Internet Service」の管理者モードの画面表示から、「オペパネのロック」を解除してください。プリンタLANカードの初期化の手順は、「プリンタLANカードを初期化する」(16 ページ)を参照してください。ただし、この場合はネットワークに関する設定がすべて工場出荷時の値に初期化されます。ネットワークの設定を初期化する前に、設定内容の一覧を印刷し、現在の設定内容を確認しておくことをお勧めします。</p>

## FUJITSU LPRユーティリティ使用時のトラブル

症 状	チェック項目	対処方法
印刷できない (「FUJITSU LPR ユーティリティ」のメインウィンドウの状態欄が「未接続」である)	FJLPR Port の IP アドレスは正しく設定されていますか。	メインウィンドウで、使用しているプリンタを選択してから[リモートプリントメニュー] - [プリンタの再設定]の順に選択し、[IP アドレス]がプリンタの IP アドレスを正しく設定してください。   「FUJITSU LPRユーティリティの機能」「プリンタの再設定」(69 ページ)を参照
メインウィンドウの[プリンタ]欄の名称と[スタート] - [設定] - [プリンタ] (Windows XP では、[プリンタとFAX]) フォルダの名称が一致していますか。	メインウィンドウの[プリンタ]欄の名称と[プリンタ]フォルダの名称が一致していない場合は、FUJITSU LPR ユーティリティにてプリンタを削除し、[プリンタの追加]にて再設定を行うか、[プリンタ]フォルダの名称をメインウィンドウの[プリンタ]欄と同じ名称に変更してください。	 「FUJITSU LPRユーティリティの機能」「プリンタの追加」(64 ページ)を参照
[スタート] - [設定] - [プリンタ] (Windows XP では、[プリンタとFAX]) フォルダからプリンタが削除されてしましましたか。	[プリンタ] フォルダからプリンタが削除されている場合は、FUJITSU LPR ユーティリティでのプリンタも削除し、設定し直してください。	 「FUJITSU LPRユーティリティをインストールする」(57 ページ)を参照

症 状	チェック項目	対処方法
IPアドレスの検索 / 設定ができない	プリンタのオペレータパネルの設定項目「SNMP」が[DISABLE]になつていませんか？	プリンタのオペレータパネルの設定項目「NETWORK」-「SNMP」が[DISABLE]であれば、[ENABLE]に変更してください。  <a href="#">『XL-2200取扱説明書』「第8章 オペレータパネルの操作」を参照</a>
ジョブの自動転送ができない	転送先プリンタのオペレータパネルの設定項目「SNMP」が[DISABLE]になつていませんか？	転送先プリンタのオペレータパネルの設定項目「NETWORK」-「SNMP」が[DISABLE]であれば、[ENABLE]に変更してください。  <a href="#">『XL-2200取扱説明書』「第8章 オペレータパネルの操作」を参照</a>
プリンタのステータス表示ができない	プリンタのオペレータパネルの設定項目「SNMP」が[DISABLE]になつていませんか？	プリンタのオペレータパネルの設定項目「NETWORK」-「SNMP」が[DISABLE]であれば、[ENABLE]に変更してください。  <a href="#">『XL-2200取扱説明書』「第8章 オペレータパネルの操作」を参照</a>



FUJITSU LPR ユーティリティ使用時の他の問題については、  
「[共通のトラブル](#)」(158 ページ) を参照してください。

## LPR、IPPポート使用時のトラブル

症 状	チェック項目	対処方法
印刷できない (Windows NT4.0の場合)	「Microsoft TCP/IP印刷」サービスが設定されていますか。	[スタート] - [設定] - [コントロールパネル] - [ネットワーク] の順に選択し、[サービス] タブの [ネットワークサービス] で [Microsoft TCP/IP印刷] が表示されるか確認してください。 サービスが設定されていない場合は、設定してください。   <a href="#">「TCP/IPプロトコルを設定する」「Windows NT4.0の場合」(50 ページ)を参照</a>
印刷できない (Windows 2000/XPの場合)	IPアドレスでプリンタを正しく指定していますか。	プリンタのIPアドレスにて、各オク텟の先頭を「0」にしていませんか。 「192.169.002.010」ではなく「192.169.2.10」のように設定してください。
印刷できない (Windows MeでのIPP印刷の場合)	IPPポート (Microsoft インターネット印刷サービス) がインストールされていますか。	[スタート] - [設定] - [コントロールパネル] - [アプリケーションの追加と削除] の順に選択し、現在インストールされているプログラムに Microsoft インターネット印刷サービスが表示されているか確認してください。 IPPポートがインストールされていない場合は、インストールしてください。   <a href="#">「Windows Meのインターネット印刷について」(102 ページ)を参照</a>

# Printia LASER Internet Service使用時のトラブル

症 状	チェック項目	対処方法
Printia LASER Internet Serviceに接続できない	プリンタの電源が切れていませんか。	電源スイッチの〔 I 〕側を押して電源を入れてください。
	プリンタLANケーブルが抜けている、またはゆるんでいませんか。	電源スイッチの〔 〕側を押して電源を切り、プリンタLANケーブルを差し込み直してください。
	インターネットアドレスは正しく入力されていますか。	インターネットアドレスをもう一度確認してください。それでも接続できない場合は、IPアドレスを使用して接続してください。
	IPアドレスは正しく入力されていますか。	IPアドレスが変更されている可能性もあります。 設定内容一覧の印刷(プリンタLANカードのTESTスイッチを1秒間以上押してから指を離します)を行い、次の項目を確認してください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・「IP ADDRESS SET」:【MANUAL】に設定されていますか</li> <li>・「IP ADDRESS」、「SUBNET MASK」、「GATEWAY ADDRESS」は正しく設定されていますか。</li> </ul> また、ネットワーク環境から移動した場合、プリンタLANカードの初期化を行った後に、ネットワークを再設定することをお勧めします。 設定が違っている場合は、正しく設定してください。 <p> <a href="#">参考</a> 「設定内容の一覧を印刷する」(17 ページ)を参照              「プリンタLANカードを初期化する」(16 ページ)を参照              「IP アドレスを設定する」(18 ページ)を参照</p>
	プロキシサーバを使用していますか。	Web ブラウザの設定で、プロキシサーバを使用しないように設定するか、接続したいアドレスをプロキシサーバを使用しないで接続するように設定してください。 <p> <a href="#">参考</a> 「プロキシサーバを設定する」(117 ページ)を参照</p>

症 状	チェック項目	対処方法
〔ステータス更新〕が機能しない 各カテゴリタブでメニューの項目を選択しても、情報の画面が更新されない	使用しているパソコンのOSやWebブラウザは適切ですか。	Webブラウザのメニューを使用して、更新してみてください。 また、使用しているパソコンのOSやWebブラウザが適切かどうかを確認してください。  <a href="#">「Printia LASER Internet Serviceの概要」(112 ページ)を参照</a>
パスワードを忘れて、設定を変更できない	-	どうしてもパスワードを思い出せない場合は、プリンタLANカードの初期化を行ってください。手順は、「プリンタLANカードを初期化する」(16 ページ)を参照してください。ただし、この場合はネットワークに関する設定がすべて工場出荷時の値に初期化されます。ネットワークの設定を初期化する前に、設定内容の一覧を印刷し、現在の設定内容を確認しておくことをお勧めします。



LPR、IPPポート使用時の他の問題については、「[共通のトラブル](#)」(158 ページ)を参照してください。

## メールの受信時のトラブル

症 状	チェック項目	対処方法
メールでエラーが通知されない	SMTPサーバは正常に作動していますか。	ネットワーク管理者に確認してください。
	SMTPサーバのIPアドレスが、正しく入力されていますか。	Printia LASER Internet Serviceで正しい値を入力してください。  「Printia LASER Internet Service」(111 ページ) を参照
	送信する通知項目が正しく設定されていますか。	Printia LASER Internet Serviceで、メールで通知したい項目をチェックしてください。  「Printia LASER Internet Service」(111 ページ) を参照
	送信先メールアドレスが正しく入力されていますか。	Printia LASER Internet Serviceで、正しい送信先を指定してください。  「Printia LASER Internet Service」(111 ページ) を参照

# エラー情報

Printia LASER Internet Service利用時に表示されるメッセージについて説明します。

トップページにおけるエラー情報、及び、ステータスウィンドウにおける表示メッセージは、エラーと警告に分けられます。（本情報は、E-Mailサービスで通知されるステータス情報と同一です。）

## トップページのエラー情報

- ・ エラー発生時：赤色のメッセージを表示
- ・ 警告発生時：黄色のメッセージを表示

## ステータスウィンドウの表示メッセージ（管理者モード）

ステータスウィンドウでは下記のとおりランプが点滅します。点滅しているランプをクリックするとメッセージが表示されます。

- ・ エラー発生時：赤（右側）ランプが点滅
- ・ 警告発生時：黄（真中）ランプが点燈

これらのメッセージは英語にて表示されますが、以下の内容を意味します。また、メッセージは優先度の高いものから表示されますので、優先度の低いメッセージは、優先度の高いメッセージの発生要因が解除されるまで表示されないことがあります。

優先度は以下の表中の順に従います。

## メッセージ表

優先度	種別	表示メッセージ	メッセージ内容
高	エラー	Service Call Required	プリンタに異常が発生しています。
	エラー	Cover Open for Upper cover	プリンタのトップカバーが開いています。
	エラー	Drum Missing for Black	ドラム（プロセスカートリッジ）が正しくセットされていません。
	エラー	Drum Life Error for Black	ドラム（プロセスカートリッジ）の寿命です。
	エラー	Paper Feed Jam	紙づまりです。
	エラー	Paper Input Jam	用紙給紙口付近の紙づまりです。

優先度	種別	表示メッセージ	メッセージ内容
↑ 高 ↓ 低	エラー	Paper Size Error	用紙サイズが異なっています。
	エラー	Recoverable Error	プリンタにエラーが発生しています。
	エラー	Toner Out for Black	トナー切れです。
	警告	Size Mismatch for Tray1	トレイ1の用紙サイズと印刷を指定した用紙のサイズが異なっています。
	警告	Size Mismatch for Tray2	トレイ2の用紙サイズと印刷を指定した用紙のサイズが異なっています。
	警告	Size Mismatch for EVF	MPF(給紙トレイ)の用紙サイズと印刷を指定した用紙のサイズが異なっています。
	エラー	Cover Open for Tray2	印刷できません。トレイ2のカバー(フロントカバー)が開いています。
	エラー	Paper Out for Tray1	印刷できません。トレイ1に用紙がありません。
	エラー	Paper Out for Tray2	印刷できません。トレイ2に用紙がありません。
	エラー	Paper Out for EVF	印刷できません。MPF(給紙トレイ)に用紙がありません。
	エラー	Paper Request for MP/Front Tray	印刷できません。手差しトレイに用紙がありません。
	警告	Cover Open Warning for Tray2	トレイ2のカバー(フロントカバー)が開いています。
	警告	Paper Out Warning	トレイ1もしくはトレイ2に用紙がありません。
	警告	Drum Life Near Error for Black	ドラム(プロセスカートリッジ)の寿命寸前です。
	警告	Drum Life Warning for Black	もうすぐドラム(プロセスカートリッジ)の寿命となります。
	警告	Toner Sensor Warning for Black	トナーセンサーに異常が発生しています。
	警告	Toner Near Out for Black	トナー切れ寸前です。
	警告	Toner Low for Black	トナーの残量が少なくなっています。

# 索引

## D

DHCP サーバ ..... 18, 44

## E

### E メール

- の設定 ..... 143

## F

FUJITSU LPR ユーティリティ ..... 6

- の機能 ..... 59  
- をアンインストールする ..... 70  
- をインストールする ..... 57  
- を使用しない場合 ..... 71  
- を使用する場合 ..... 57

## I

IPP ポートモニタ ..... 102

IP アドレス ..... 18  
- を取得する ..... 44  
- を設定する ..... 18, 44

自動再設定 ..... 68

IP フィルタリング ..... 150

## P

Printia LASER Internet Service

- を使用する ..... 115, 121  
概要 ..... 112  
画面構成 ..... 114  
機能一覧 ..... 123  
ジョブリストタブ ..... 134  
ステータスタブ ..... 125  
設定できる項目 ..... 119  
設定を変更する ..... 140  
ネットワークタブ ..... 131  
プリンタタブ ..... 129  
メンテナンスタブ ..... 136  
リンクタブ ..... 138

## S

SNMP トラブル ..... 148

System Name  
- の設定 ..... 141

## T

TCP/IP ..... 7

TCP/IP プロトコル ..... 46

## あ

アクセス制限 ..... 150

## い

一時停止 ..... 63

インターネット印刷 ..... 8  
- を利用する ..... 100  
プリンタドライバのインストール ..... 102

## か

管理者モード ..... 123  
- 時の画面 ..... 124

## し

### ジョブ

削除 ..... 61  
自動転送 ..... 67  
転送 ..... 61  
表示 ..... 61

ジョブリスト ..... 134

## す

ステータス ..... 62, 125

## せ

設定	
IP アドレス	21
IP アドレスの取得方法	20
ゲートウェイアドレス	23
サブネットマスク	22
設定内容一覧	17, 19, 24, 45

## た

ダウンロード	60
--------	----

## つ

通常モード	123
- 時の画面	123

## ね

ネットワーク	131
使用できる環境	2
接続するときの注意事項	3
接続例	6
ネットワーク環境	42
- で使用する	42
パソコン側の設定を行う	46
プリンタ側の設定を行う	43

## は

パスワード	
- の初期化	141
- の変更	140

## ふ

プリンタ	129
- の再設定	69
- の削除	66
- のステータス	62
- の追加	64
プリンタ LAN カード	9
- の特長	9
- を初期化する	16
- を設定する	9
- を取り付ける	11
各部の名称	10
プリンタ共有	81
プリンタドライバ	
- を設定する	28
プリンタポート	
- を設定する	56
プロキシサーバ	
- を設定する	117

## め

メンテナンス	136
--------	-----

## り

リンク	138
-----	-----

---

## ページプリンタ XL-2200 ネットワークガイド

B5WY-0511-02 Z0-00

発行日 2003年6月

発行責任 富士通株式会社

---

本書の一部または全部を無断で転載しないよう、お願ひいたします。

本書は、改善のため予告なし変更することがあります。

本書に記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権、その他の権利、  
損害については、当社はその責を負いません。

FUJITSU